

事務事業評価報告書
(平成15年度決算評価)

事業チェックシート編 - 2 -

教育委員会

平成16年9月

芦屋市

事業チェックシート（平成15年度決算評価）

- 1 平成15年度決算評価をしています。
- 2 教育委員会管理部，学校教育部，社会教育部が所管する91事務事業の事業チェックシートを掲載しています。
- 3 記載されている内容は平成16年8月時点です。

目次

事務事業別目次	2	~	3
管理部	4	~	31
学校教育部	32	~	81
社会教育部	82	~	185

事務事業一覧 報告書目次

NO	所管名	事業NO	事務事業名	ページ
教育委員会管理部				4 ~
1	管理部総務課	3120220	芦屋市奨学金	4 ~ 5
2		3120230	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費	6 ~ 7
3		3120240	義務教育児童生徒就学援助費(国庫補助対象外)	8 ~ 9
4		3120260	高等学校修学旅行費援助費	10 ~ 11
5		3120280	私立幼稚園就園奨励費補助金	12 ~ 13
6		3120290	私立幼稚園就園奨励補助金(保護者負担軽減)	14 ~ 15
7		3120300	朝鮮人学校就学扶助費	16 ~ 17
8	管理部施設課	3140020	精道小学校校舎建替整備事業	18 ~ 19
9		3140030	小学校施設整備事業	20 ~ 21
10		3140040	中学校施設整備事業	22 ~ 23
11		3140060	幼稚園施設整備	24 ~ 25
12		3140070	学校園施設警備業務	26 ~ 27
13		3140080	学校園施設保守点検業務	28 ~ 29
14		3140090	学校園施設補修	30 ~ 31
教育委員会学校教育部				32 ~
15	学校教育部学校教育課	2410150	カウンセリングセンター管理運営	32 ~ 33
16		2520020	障害児教育振興事業(学級運営費含む)	34 ~ 35
17		3110010	特色ある学校園づくり支援事業	36 ~ 37
18		3110020	学校園創立記念事業	38 ~ 39
19		3120030	国際理解教育事業	40 ~ 41
20		3120040	文化体育振興事業	42 ~ 43
21		3120060	学校防災教育の推進	44 ~ 45
22		3120070	適応教室実施事業	46 ~ 47
23		3120080	道徳教育の充実推進事業	48 ~ 49
24		3120090	セカンドスクール事業(小学校)	50 ~ 51
25		3120110	トライやる・ウィーク推進事業	52 ~ 53
26		3120120	安全教育	54 ~ 55
27		3120130	学校体育(大会経費含む)	56 ~ 57
28		3120140	標準教材品目整備	58 ~ 59
29		3120150	学校保健一般管理(助成含む)	60 ~ 61
30		3120170	学校給食関係事務	62 ~ 63
31		3120340	義務教育情報機器活用事業	64 ~ 65
32		3120360	いきいき学校応援事業	66 ~ 67
33		3130010	生徒指導対策事業	68 ~ 69
34	学校教育部障害児施設担当	2520030	みどり学級の運営事業	70 ~ 71
35	学校教育部打出教育文化セン	3120200	打出教育文化センター一般事業	72 ~ 73
36		3130040	打出教育文化センター教育研究推進と研修事業	74 ~ 75
37		3130050	打出教育文化センター出版刊行事業	76 ~ 77
38		3130060	打出教育文化センター管理運営	78 ~ 79
39	学校教育部芦屋高等学校	3120400	市立芦屋高校維持管理	80 ~ 81

事務事業一覧 報告書目次

NO	所管名	事業NO	事務事業名	ページ
教育委員会社会教育部				82 ~
40	社会教育部生涯学習課	2410210	校庭開放事業	82 ~ 83
41		2420020	子育てセンター運営事業	84 ~ 85
42		3210280	三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理	86 ~ 87
43		3230010	コミュニティ・スクール関係	88 ~ 89
44	社会教育部市民センター	3210210	市民センター管理運営	90 ~ 91
45	社会教育部文化財課	3260020	発掘調査の円滑化	92 ~ 93
46		3260030	市内文化財の保護	94 ~ 95
47	社会教育部スポーツ・青少年課	2410160	青少年育成事業(小・中学生レクリエーションキャンプ)	96 ~ 97
48		2410170	青少年育成事業(手作り教室等)	98 ~ 99
49		2410220	青少年保護対策事業(芦屋市留守家庭児童会事業)	100 ~ 101
50		3210130	成人式	102 ~ 103
51		3220010	青少年団体及びリーダー育成事業(青少年リーダーの	104 ~ 105
52		3240010	体育指導委員	106 ~ 107
53		3240020	スポーツリーダー認定講習会	108 ~ 109
54		3240030	スポーツリーダーバンク	110 ~ 111
55		3240040	体育の日の行事	112 ~ 113
56		3240050	市民ゴルフ大会	114 ~ 115
57		3240060	生活の中にひと汗運動	116 ~ 117
58		3240070	ニュースポーツレクリエーション啓発事業	118 ~ 119
59		3240080	競技スポーツ推進事業	120 ~ 121
60		3240110	スポーツ・フォー・エブリワン推進事業	122 ~ 123
61		3240160	海浜公園プール管理運営	124 ~ 125
62		3240180	スポーツ振興基金事業	126 ~ 127
63		3240200	体育館管理運営	128 ~ 129
64		3240210	中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場管理運営	130 ~ 131
65		3240220	テニスコートの運営管理	132 ~ 133
66		3240230	市民プール管理運営	134 ~ 135
67		3240290	スポーツ振興基金事業(市長杯・教育長杯事業)	136 ~ 137
68		3240300	スポーツ振興基金事業(大会出場支援事業)	138 ~ 139
69	社会教育部愛護センター	2420070	青少年愛護センター運営	140 ~ 141
70		2420080	愛護委員育成活動事業	142 ~ 143
71	社会教育部公民館	3120210	夏休みの事業	144 ~ 145
72		3210040	講演・講座・学級・教室等の開催	146 ~ 147
73		3210060	芦屋川カレッジ	148 ~ 149
74		3210070	芦屋川セカンド・カレッジ	150 ~ 151
75		3210080	常設展示事業・公民館ギャラリー	152 ~ 153
76		3210090	おしゃべり音楽会	154 ~ 155
77		3210110	芦屋市ITサポートセンターの運営	156 ~ 157
78		3210140	公民館図書室の運営	158 ~ 159
79	社会教育部図書館	3210150	図書館運営事業(収集整理利用)	160 ~ 161
80		3210170	図書館運営事業(視聴覚ライブラリー)	162 ~ 163
81		3210180	図書館運営事業(読書会・研究会・鑑賞会等の主催)	164 ~ 165
82		3210190	図書館運営事業(資料発行)	166 ~ 167
83	社会教育部谷崎潤一郎記念館	3210240	谷崎潤一郎記念館の管理運営	168 ~ 169
84		3250170	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業	170 ~ 171
85		3250190	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示事業	172 ~ 173
86		3250210	谷崎潤一郎及び記念館に関する資料等の出版事業	174 ~ 175
87	社会教育部美術博物館	3210260	美術博物館管理運営	176 ~ 177
88		3250110	富田碎花顕彰事業管理委託	178 ~ 179
89		3250230	美術博物館展示等委託事業	180 ~ 181
90		3250250	教育普及活動委託事業	182 ~ 183
91		3250270	公募展	184 ~ 185

(一般事業)	事業コード	3120220
平成15年度	事業名	芦屋市奨学金

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部	
総合計画	中	1	学校教育の充実	総務課		
政策施策	小	2	教育内容の充実	所管課長氏名	村松 幸夫	
体系	細			記入者氏名	村松 幸夫	
事業期間	昭和33年~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085 内線 3201	
根拠法令・要綱等	芦屋市奨学金給付規則			実施主体	教育委員会	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	高校生又は大学生等に奨学金受給者選考委員会の選考結果に基づき奨学金を給付					
事業の現状	・15年度給付人数及び給付額 310人 25,378,000円 (内訳) 公立高校 161人(特別給付6人含む) 11,346千円 私立高校 72人(特別給付3人含む) 6,736千円 大学 77人 7,296千円					
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	給付人数(人)			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	313人	294人	310人		
	単位コスト	115千円/年	112千円/年	82千円/年		
結果指標(2)	指標名	給付額				
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値	35,596千円	32,890千円	25,378千円			
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	経済的理由により、修学困難な者				
	対象カバー率	対象数(a)	310人	受益数(b)	310人	比率(b÷a)%
対象・意図	意図	(対象を主語にして) 修学困難な者に教育基本法第3条の規定に基づき、修学上必要な資金を給付する。				
大きな目的	教育の機会均等及び奨励					
アウトカム指	中間成果	指標名	支給率			
		考え方・式	支給件数 / 申請者の内支給要件に合う人 × 100			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	100%	100%	100%		
最終成果	指標名					
	考え方・式					
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値						
芦屋市の特色など補足する事項	高校については、生活保護法の適用を受けている世帯、準保護世帯について特別給付(加算)をしている。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	730	住民1人当り(円)	316	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	10.3%	2,376	2,372	2,923	-
	事業費	89.7%	35,596	32,890	25,378	18,192
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	37,972	35,262	28,301	18,192	
財源	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	37,972	35,262	28,301	18,192	
活動配分	職員	100.0%	0.40	0.40	0.40	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.40	0.40	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-1	-1		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている 内容 下記の改善内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 行政改革に基づく制度の見直し	改善内容 大学の給付廃止 高校生への特別給付廃止 給付金額の削減	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	給付から貸付制度への移行の検討					
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称					
課題・要望への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	15年度に大幅な見直しを行い,16年度から実施。 行政改革実施計画に基づく事務事業の見直しに伴い,大学生等への奨学金を廃止し,高校生への特別給付の廃止及び給付額の減額を行った。 17年度については,現行どおりで実施したい。 その後の在り方については,近隣各市の状況等も把握し,検討していく。			今後の方向性	1次評価	2次評価
2次評価委員会コメント				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
			統合/終期設定			
			廃止/休止			

(一般事業)	事業コード	3120230
平成15年度	事業名	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	村松 幸夫		
体系	細					記入者氏名	村松 幸夫		
事業期間	昭和57年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	学校教育法、芦屋市要保護及び準要保護児童生徒援助費給付要綱					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	経済的な理由により就学させることが困難な保護者に対し援助費を給付								
事業の現状	15年度支給人数及び援助費 延べ 1,624人 16,728,830円 (内訳) 小学生 1,101人 7,522,248円 中学生 523人 9,206,582円								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	支給人数(人)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1,285人	1,388人	1,624人				
	単位コスト	12千円/年	11千円/年	11千円/年					
	結果指標(2)	指標名	援助費(千円)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値		15,009円	15,686千円	16,729千円					
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	要保護者(生活保護法に規定する者)及び準要保護者(要保護者に準ずる程度に困窮している者)							
	対象カバー率	対象数(a)	1,624人	受益数(b)	1,624人	比率(b÷a)%	100%		
	意図 (対象を主語にして)	援助費を給付する。							
大きな目的	経済的な理由により就学させることが困難者に対する就学及び育成の円滑化。								
アウトカム指	中間成果指標	指標名	支給率(%)						
		考え方・式	支給件数/申請者の内支給要件に合う人×100						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%			
	最終成果指標	指標名							
		考え方・式							
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	507	住民1人当り(円)	219	平成16.4.1	住民基本台帳
事業費 (千円)	人件費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	事業費	14.9%		3,006	2,923	-	
	他部門経費	85.1%	15,009	15,686	16,729	21,313	
	減価償却費					-	
	合計	100.0%	15,009	18,692	19,652	21,313	
財源 (千円)	国・県	12.8%		2,742	2,509	3,196	
	市債等						
	その他						
活動配分 (人)	一般財源	87.2%	15,009	15,950	17,143	18,117	
	職員	100.0%		0.40	0.40	-	
	嘱託・臨時等					-	
合計	100.0%	0.00	0.40	0.40	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	5		
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 高い,または低い場合の理由	-1	-1		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めざるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 給付所得基準額の変更 <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	国の補助金交付率の低下					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	就学援助制度については,国庫補助対象事業でもあり,給付額の見直しは難しい。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント						

(一般事業)	事業コード	3120240
平成15年度	事業名	義務教育児童生徒就学奨励費(国庫補助対象外)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	村松 幸夫		
体系	細					記入者氏名	村松 幸夫		
事業期間	昭和57年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	芦屋市要保護及び準要保護児童生徒援助費給付要綱					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称		<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	経済的理由により就学困難な児童生徒について就学奨励を行うため援助費を給付 ・要保護世帯(生活保護世帯)の保護者に、国の補助支給対象外の校外活動費等を補助 ・準要保護世帯に、校外活動費等で国補助基準を超えた分を予算範囲内で補助(市単独事業)								
事業の現状	15年度支給人数及び援助額 延べ 168人 216,924円 (内訳) 小学校 104人 108,128円 中学生 64人 108,796円								
アウトプット	結果指標(1)	指標名	支給人数(人)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	94人	44人	168人				
	結果指標(2)	指標名	単位コスト						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	67千円	91千円	217千円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	要保護児童生徒の保護者等に対し、校外活動費等の一部を給付する。							
	対象カバー率	対象数(a)	168人	受益数(b)	168人	比率(b÷a)%	100%		
	意図(対象を主語にして)	援助費を給付する。							
大きな目的	経済的な理由により就学させることが困難な保護者に対する就学及び育成の円滑化								
アウトカム	中間成果	指標名	支給率(%)						
		考え方・式	支給件数 / 支給対象件数 × 100						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果	指標名	100%						
		考え方・式							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)		23	住民1人当り(円)		10	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	75.1%		1,165	656	-		
	事業費	24.9%	67	91	217	479		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	67	1,256	873	479			
財源	国・県							
	市債等							
	その他							
活動配分	一般財源	100.0%	67	1,256	873	479		
	職員	100.0%		0.15	0.10	-		
	嘱託・臨時等					-		
合計	100.0%	0.00	0.15	0.10	0.00			

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	2	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	0	
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	0	-2	
	受益者負担(0~ 1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めざるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容	<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
	実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容			
実施期限	平成	年	月		
(3)	対応内容				
実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性		市単独事業であるので既に見直しは行っているが,縮小又は廃止できるかを検討したい。	今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			現状維持		
			方法改善		
			民間委託等		
			縮小		
			統合/終期設定		
			廃止/休止		
2次評価委員会コメント		近隣各市の状況を調査し,縮小または廃止の方向で検討してください。			

(一般事業)	事業コード	3120260
平成15年度	事業名	高等学校修学旅行費援助費

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	村松 幸夫		
体系	細					記入者氏名	村松 幸夫		
事業期間	昭和56年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	芦屋市高等学校修学旅行費援助費給付要綱					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	経済的理由により、高等学校(市内の公立高等学校。定時制を含む。)における修学旅行参加困難な者に対して、25,000円を限度に援助費を給付。								
事業の現状	15年度支給人数及び援助費 45人 1,125,000円								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	給付件数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	64人	47人	45人				
	結果指標 (2)	指標名	給付額						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1,600千円	1,175千円	1,125千円				
単位コスト	25千円/年		25千円/年		25千円/年				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	芦屋市奨学金受給生							
	対象カバー率	対象数(a)	45人	受益数(b)	45人	比率(b÷a)%	100%		
	意 図 (対象を主語にして)	修学旅行費援助費の給付。							
大きな目的	経済的理由により修学旅行に参加困難な者に対する教育の機会均等。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	支給率(%)						
		考え方・式	支給件数/申請者の内支給要件に合う人×100						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%			
	最終成果 指 標	指標名							
		考え方・式							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	37	住民1人当り(円)	16	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内訳 (千円)	人件費	22.6%		233	328	-
	事業費	77.4%	1,500	1,175	1,125	1,350
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,500	1,408	1,453	1,350
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,500	1,408	1,453	1,350	
活動 配 分 (人)	職員	100.0%			0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	0	-1		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い、または低い場合の理由	-1	-1		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	本市では市内公立高等学校すべてを対象としている。(他市では市立高校や定時制高校のみに支給している場合が多い。)					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	市立芦屋高等学校の最後の修学旅行をもって廃止したい。(平成18年4月 援助の廃止)	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
		統合/終期設定				
		廃止/休止				
2次評価委員会コメント	廃止の方向で検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3120280
平成15年度	事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部				
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課					
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	村松 幸夫				
体系	細					記入者氏名	村松 幸夫				
事業期間	昭和47年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	芦屋市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱					実施主体	教育委員会管理部				
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称				<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容		
事業の概要	私立幼稚園が保育料等の減免をする場合に設置者に補助する。										
事業の現状	15年度対象人数及び補助額 163人 12,263,247円 (内訳) 3歳児 51人 3,475,955円 4歳児 58人 4,457,454円 5歳児 54人 4,329,838円										
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	対象人数								
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
		指標値	131人	153人	163人						
	単位コスト	80千円/年	80千円/年	76千円/年							
	結果指標(2)	指標名	補助額								
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値		10,453千円	12,169千円	12,264千円							
単位コスト											

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	私立幼稚園設置者										
	対象カバー率	対象数(a)	163人	受益数(b)	163人	比率(b÷a)%	100%					
	意図 (対象を主語にして)	減免した入園料及び保育料を補助する。										
大きな目的	私立幼児教育の機会均等及び奨励											
アウトカム指	中間成果指標	指標名	補助率(%)									
		考え方・式	補助件数 / 補助対象 × 100									
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)					
	指標値	100%	100%	100%	100%							
	最終成果指標	考え方・式										
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)						
指標値												
芦屋市の特色など補足する事項												

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	396	住民1人当り(円)	171	平成16.4.1	住民基本台帳	
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)					
	人件費	20.0%		3,156	3,068	-				
	事業費	80.0%	10,453	12,169	12,264	14,241				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
合計	100.0%	10,453	15,325	15,332	14,241					
財源 (千円)	国・県	23.3%		3,619	3,565					
	市債等									
	その他									
一般財源	76.7%	10,453	11,706	11,767	14,241					
活動配分 (人)	職員	100.0%		0.40	0.40	-				
	嘱託・臨時等					-				
	合計	100.0%	0.00	0.40	0.40	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-3	-3		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求められるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	国の補助基準単価が年々高くなっている反面,補助率の割合が低くなってきており,市負担が増加している。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	市補助額を国の単価に合わずでなく凍結又は減額を検討する。	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
		統合/終期設定				
		廃止/休止				
2次評価委員会コメント						

(一般事業)	事業コード	3120290
平成15年度	事業名	私立幼稚園就園奨励補助金(保護者負担軽減)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実	総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実	所管課長氏名	村松 幸夫		
体系	細			記入者氏名	村松 幸夫		
事業期間	昭和53年度~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085 内線 3201		
根拠法令・要綱等	芦屋市私立幼稚園就園奨励補助金交付要綱			実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	私立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、年間所得に応じて入園料及び保育料を補助する。(市単独事業)(国の補助対象外を対象にし不公平感をなくす。)						
事業の現状	15年度対象人数及び補助額 41人 2,472,083円 (内訳) 満3歳児 1人 4,708円 *補助金額 所得でAランクからDランクを設けている。 3歳児 13人 842,200円 (例 第1子3歳から5歳 4歳児 13人 825,900円 年額137,700円から56,500円) 5歳児 14人 799,275円						
アウトプット	結果指標(1)	指標名	対象人数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	27人	33人	41人		
	結果指標(2)	指標名	補助額				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	1,572千円	1,913千円	2,472千円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	私立幼稚園就園奨励費補助金対象外の私立幼稚園に通園する園児の保護者					
	対象カバー率	対象数(a)	41人	受益数(b)	41人	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	入園料及び保育料を補助する。					
大きな目的	保護者の経済的な負担の軽減を行い、幼児教育の振興と充実を図る。						
アウトカム	中間成果	指標名	補助率(%)				
		考え方・式	補助件数 / 補助対象 × 100				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果	指標名					
		考え方・式					
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	81	住民1人当り(円)	35	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	21.0%		676	656	-
	事業費	79.0%	1,572	1,913	2,472	3,069
	他部門経費					-
	減価償却費					-
内訳(千円)	合計	100.0%	1,572	2,589	3,128	3,069
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	1,572	2,589	3,128	3,069	
活動配分(人)	職員	100.0%		0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	2
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-1	-1
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 対象範囲の見直し <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 市負担金の軽減	改善内容 国の補助ランク以外の廃止をした。	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	国の補助金制度と同額の補助額を交付すべきか。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	市単独事業であるので国の制度と同じ補助額の見直しの検討	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント			

(一般事業)	事業コード	3120300
平成15年度	事業名	朝鮮人学校就学扶助費

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			総務課			
政策施策	小	2	教育内容の充実			所管課長氏名	村松 幸夫		
体系	細					記入者氏名	村松 幸夫		
事業期間	平成4年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2085	内線	3201
根拠法令・要綱等	芦屋市朝鮮人学校就学援助費交付要綱					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	市内に居住する朝鮮人学校の初級部及び中級部に在籍する児童・生徒のうち、経済的理由により就学させることが困難な保護者に対して、援助費を給付								
事業の現状	芦屋市要保護及び準要保護児童生徒援助費給付要綱に規定する額と同額の金額を援助する。								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	支給人数(人)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	0人	0人	0人	-	-		
	結果指標(2)	指標名	援助費						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	0円	0円	0円	-	-		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	要保護者(生活保護法に規定する者)及び準要保護者(要保護者に準ずる程度に困窮している者)							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		比率(b÷a)%				
	意図 (対象を主語にして)	援助費を給付する。							
大きな目的	経済的な理由により就学させることが困難者に対する就学及び育成の円滑化。								
アウトカム指	中間成果指標	指標名	支給率						
		考え方・式	支給件数 / 支給対象 × 100						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果指標	指標名							
		考え方・式							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
芦屋市の特色など補足する事項	近隣各市に比べ制度利用が少ない。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	0	住民1人当り(円)	0	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内訳 (千円)	人件費	#DIV/0!	0	0	-	
	事業費	#DIV/0!	0	0	217	
	他部門経費				-	
	減価償却費				-	
	合計		0	0	0	217
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
活動配分 (人)	一般財源	0	0	0	217	
	職員	#DIV/0!	0.00	0.00	-	
	嘱託・臨時等				-	
合計		0.00	0.00	0.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	3		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	0		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input checked="" type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-3	-3		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	ここ数年申請者がいない。周知方法の見直しの検討。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	制度利用がここ数年ないが,現状の制度は維持していきたい。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	制度利用がここ数年ないため有効性評価が低くなっていますが,制度は現状維持とします。				

(投資事業)	事業コード	3140020
平成15年度	事業名	精道小学校校舎建替整備事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部 施設課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	長岡 義則		
政策施策	小	4	学校園施設の整備充実			記入者氏名	長岡 義則		
体系	細					電話番号	0797 38 - 2086	内線	3211
事業期間	平成14年度から平成19年度		投資臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法, 公害財特法, 公立学校施設整備費国庫補助要綱・他								
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				
事業の概要	老朽化校舎等の全面改築及び運動場の整備を図る。								
事業の現状	・地質調査・改築の実施設計(建築課に依頼) ・旧校舎等の解体及び新校舎等の建設工事(建築課に依頼) ・国庫負担(補助)事務 ・初度備品納入計画・発注事務 ・引越し事務 ・検収・支出事務								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	事業進捗率						
		考え方・式	事業進捗率 = 執行済み事業費 / 計画事業費						
	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	指標値	0%	0.08%	1.2%	3.74%	37.5%			
	結果指標 (2)	指標名	工事等契約金額						
考え方・式									
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値		1,680千円	23,635千円	61,000千円	717,000千円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	学校施設の利用者(児童526人、教職員36人、保護者、コミスク、地域住民等)		
	意 図 (対象を主語にして)	老朽化校舎等の全面改築及び運動場の整備を図ることにより、これからの教育環境に対応した教育施設にリニューアルされ利用者の利便性が増加し安全で安心な施設となる。		
大 き な 目 的	建替整備により、学習環境の改善が図られ建物の耐震性、耐久性や利用者の利便性などが向上する。			
アウトカム 成果指標 (事業完了)	中 間 成 果 指 標 (1)	指標名	指標値	考え方・式
		機能改善率	100%	機能改善率 = 全面建替 = 新設 / 既存 = 100%
	成 果 指 標 (2)	機能更新率	100%	機能更新率 = 全面建替 = 新設 / 既存 = 100%
最 終 成 果 指 標	施設設備の改善率	100%	改善率 = 全面建替 = 既存 / 新設 = 100%	
芦屋市の特色など補足する事項				

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		平成16.4.1住民基本台帳	1世帯当り(円)	653	住民1人当り(円)	282
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	歳出累計額(決算)	事業費総額(決算+計画)
内 訳 (千円)	人件費	12.3%	2,027	3,352	-	-
	事業費	86.5%	1,680	23,635	25,315	2,195,480
	他部門経費	1.2%	5,369	338	-	-
	減価償却費				-	-
合 計	100.0%	0	9,076	27,325	25,315	2,195,480
財 源 (千円)	国 庫					508,239
	市 債 等					1,426,450
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	0	9,076	27,325	25,315	260,791
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.17	0.30		
	嘱 託・臨 時 等					
合 計	100.0%	0.00	0.17	0.30		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 6点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	4		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容:				
有効性 4点	優先性, 緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	2	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	進捗状況(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から計画通り進捗していると言える <input type="checkbox"/> 当初計画から遅れが出ている				
効率性 3点	- 進捗改善余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 計画から遅れが出ている場合 <input type="checkbox"/> 改善策あり <input type="checkbox"/> 特になし	2	-1		
	コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
コスト削減取組(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:					
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	厳しい財政状況の中での事業実施であるが,利用者等からの施設建設に対する要望(設計, 工事, 近隣対策, 過渡期)等については,予算の範囲内で実現するよう協議調整を図り,予定工事期間内での事業完了に向けて調整をして行く。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性				今後の方向性	1次評価	2次評価
	討って返し方式(第1期~3期)の工事であるため,工事をしながら学校運営をしなければならず,児童の安全確保を最優先に,学校現場等と必要に応じ連絡を密にしながら工事を円滑に進めていけるよう調整をして行く必要がある。			拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
			縮小			
			統合/終期設定			
			廃止/休止			
2次評価委員会コメント	計画事業費の予算範囲に抑えるようさらなるコスト削減に努めてください。					

(投資事業)	事業コード	3140030
平成15年度	事業名	小学校施設整備事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部 施設課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	長岡 義則		
政策施策	小	4	学校園施設の整備充実			記入者氏名	長岡 義則		
体系	細					電話番号	0797 38 - 2086	内線	3211
事業期間	大正14年~		投資臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	地方財政法第8条、教委事務分掌規則第5条					委託先	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	各小学校の損耗や機能低下した施設設備の改良改修工事を行う。								
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・整備計画、設計・工事、発注・検査(検収)・支出事務 ・今年度は、精道小校舎外壁改修工事、 ・朝日ヶ丘・打出浜小A V調整卓改修工事、宮小プール給水管引替工事、 ・山小音楽室空調機設置工事、朝日ヶ丘・潮見小ガス配管改修工事、打出浜小図書室冷暖房設置工事、 ・浜風小ピオトープ設置工事等を行った。 								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	工事契約件数						
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	32件	37件	35件	20件	20件			
	結果指標 (2)	指標名	工事契約金額						
		考え方・式							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	42,839千円	44,182千円	31,399千円	36,820千円	38,000千円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	学校施設の利用者(児童、教師、保護者、コミスク、地域住民等)		
	意 図 (対象を主語にして)	施設設備をリフレッシュすることによって、教育環境が改善され利用者の利便性が向上する。		
大きな目的	施設設備の整備充実により、学習環境の保全・改善が図られ、建物の耐久性や利用者の利便性などが向上する。			
アウトカム 成果指標 (事業完了)	中 間 成果指標 (1)	指標名	指標値	考え方・式
		整備件数	35件	
	最 終 成 果 指 標	整備率	100%	整備件数 / 要望件数
		満足度	-	アンケート調査・聞き取り調査等による
芦屋市の特色など補足する事項				

3 事業費・活動配分(コスト)

		平成16.4.1住民基本台帳	1世帯当り(円)	3,388	住民1人当り(円)	1,465
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	歳出累計額(決算)	事業費総額(決算+計画)
内 訳 (千円)	人件費	12.6%	2,939	5,452	6,220	-
	事業費	78.1%	43,324	49,506	38,451	131,281
	他部門経費	9.3%		2,955	4,589	-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	46,263	57,913	49,260	131,281
財 源 (千円)	国・県		7,714			
	市債等	53.0%	27,900	26,900	26,100	
	その他	5.7%			2,825	
	一般財源	41.3%	10,649	31,013	20,335	131,281
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%	0.30	0.55	0.60	
	嘱託・臨時等					
	合 計	100.0%	0.30	0.55	0.60	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 6点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	3	2		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容: 学習環境の変化等に合わせた改良改修を年次計画を立てて実施するなどの見直しが必要				
有効性 4点	優先性, 緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	3	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	進捗状況(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から計画通り進捗していると言える <input type="checkbox"/> 当初計画から遅れが出ている				
効率性 3点	- 進捗改善余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 計画から遅れが出ている場合 <input type="checkbox"/> 改善策あり <input type="checkbox"/> 特になし	-1	-3		
	コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 高い,または低い場合の理由 団体名: 近隣各市 単位コスト <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:					
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・年々施設設備の老朽化が進行しているが、財政上から部分的な整備での対応にせざるを得ないのが現状であるが、本来は、年次計画を立てて中長期的な大規模施設整備が必要である。 ・経常経費(維持管理費)の削減のため、宮川小学校のガスシステムの変更							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	マイクロコージェネ(ガスエンジン給湯・冷暖房・発電設備)導入により維持管理にかかる経費を削減する。(宮小)					
		実施期限	平成	16	年	8	月	
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア								
平成17~19年度の方向性	当面の対応として、児童の安全確保を最優先に、経年劣化の状況や学校現場からの要望等を勘案して緊急性の高いものから計画的に整備をしていく。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
	縮小							
	統合/終期設定							
	廃止/休止							
2次評価委員会コメント	児童の安全確保を最優先に整備を進めてください。							

(投資事業)	事業コード	3140040
平成15年度	事業名	中学校施設整備事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部 施設課		
総合計画	中	1 学校教育の充実	所管課長氏名	長岡 義則		
政策施策	小	4 学校園施設の整備充実	記入者氏名	長岡 義則		
体系	細		電話番号	0797 38 - 2086	内線	3211
事業期間	昭和26年~		投資臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 臨時	
根拠法令・要綱等	地方財政法第8条、教委事務分掌規則第5条			実施主体	教育委員会	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	各中学校の損耗や機能低下した施設設備の改良改修工事を行う。					
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・整備計画、設計・工事、発注・検査(検収)・支出事務 ・今年度は、精道中西便所小便器節水システム設置工事、山中・潮見中ガス配管改修工事、 ・山中音楽室屋上防水工事、潮見中中学校舎トイレ他塗装工事等を行った。 					
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	工事契約件数			
		考え方・式				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	15件	15件	16件	10件	10件
	結果指標 (2)	指標名	工事契約金額			
		考え方・式				
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値	22,427千円	23,660千円	19,334千円	33,690千円	21,000千円	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	学校施設の利用者(生徒、教師、保護者、コミスク、地域住民等)				
	意 図 (対象を主語にして)	施設設備をリフレッシュすることによって、教育環境が改善され利用者の利便性が向上する。				
大 き な 目 的	施設設備の整備充実により、学習環境の保全・改善が図られ、建物の耐久性や利用者の利便性などが向上する。					
アウトカム 成果指標 (事業完了)	中 間 成果指標 (1)	指標名	指標値	考え方・式		
		整備件数	16件			
	最 終 成 果 指 標	整備率	100%	整備件数/要望件数		
		満足度	-	アンケート調査・聞き取り調査等による		
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		平成16.4.1住民基本台帳	1世帯当り(円)	1,688	住民1人当り(円)	730
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	歳出累計額(決算)	事業費総額(決算+計画)
内 訳 (千円)	人件費	18.1%	1,962	4,005	4,665	-
	事業費	74.9%	22,426	23,660	19,334	65,420
	他部門経費	7.0%		2,618	1,805	-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	24,388	30,283	25,804	65,420
財 源 (千円)	国・県					
	市債等	74.4%	19,200	20,300	19,200	
	そ の 他					
一 般 財 源	25.6%	5,188	9,983	6,604	65,420	0
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.20	0.40	0.45	
	嘱託・臨時等					
	合 計	100.0%	0.20	0.40	0.45	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 6点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容: 学習環境の変化等に合わせた改良改修を年次計画を立てて実施するなどの見直しが必要				
有効性 4点	優先性, 緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	3	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	進捗状況(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から計画通り進捗していると言える <input type="checkbox"/> 当初計画から遅れが出ている				
効率性 3点	- 進捗改善余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 計画から遅れが出ている場合 <input type="checkbox"/> 改善策あり <input type="checkbox"/> 特になし	-1	-3		
	コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:	総合評価	B	B		
平成15~16年度に実施した改善内容					課題	改善内容

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	年々施設設備の老朽化が進行しているが、財政上から部分的な整備での対応にせざるを得ないのが現状であるが、本来は、年次計画を立てて中長期的な大規模施設整備が必要である。			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	当面の対応として、生徒の安全確保を最優先に、経年劣化の状況や学校現場からの要望を勘案して緊急性の高いものから計画的に整備をしていく。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
2次評価委員会コメント	生徒の安全確保を最優先に整備を進めてください。	縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		

(投資事業)	事業コード	3140060
平成15年度	事業名	幼稚園施設整備

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会管理部 施設課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	長岡 義則		
政策施策	小	4	学校園施設の整備充実			記入者氏名	長岡 義則		
体系	細					電話番号	0797-38-2086	内線	3211
事業期間	昭和33年~		投資臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 投資	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	地方財政法第8条、教委事務分掌規則第5条					委託先	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託	先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容			
事業の概要	各園の損耗や機能低下した施設整備の改良改修を行う。								
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・整備計画、設計・工事、発注・検査(検収)・支出事務 ・今年度は、岩園幼稚園舎塗装工事、小槌幼管理諸室塗装工事、朝日ヶ丘幼稚園舎塗装工事、西山幼ガス配管改修工事 ・潮見幼稚園舎塗装工事、西山・潮見・宮川・朝日ヶ丘幼稚園保育室床面改修工事 ・伊勢・浜風幼遊戯室床面改修工事等を行った。 								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	工事契約件数						
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	25件	23件	11件	11件	10件			
	結果指標 (2)	指標名	工事契約金額						
		考え方・式							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	8,935千円	9,783千円	8,920千円	18,880千円	9,000千円				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	幼稚園施設の利用者(園児、教師、保護者、コミスク、地域住民等)							
	意 図 (対象を主語にして)	施設設備をリフレッシュすることによって、教育環境が改善され利用者の利便性が向上する。							
大きな目的	施設設備の整備充実により、学習環境の保全・改善が図られ、建物の耐久性や利用者の利便性などが向上する。								
アウトカム 成果指標 (事業完了)	中 間 成果指標 (1)	指標名	指標値	考え方・式					
		整備件数	11件						
	最 終 成果指標 (2)	整備率	100%	整備件数/要望件数					
		満足度	-	アンケート調査・聞き取り調査等による。					
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	歳出累計額(決算)	事業費総額(決算+計画)
内 訳 (千円)	人件費	20.7%	1,815	3,233	2,511	-	-
	事業費	73.7%	9,050	9,783	8,920	27,753	-
	他部門経費	5.6%			676	-	-
	減価償却費					-	-
合 計		100.0%	10,865	13,016	12,107	27,753	0
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	そ の 他						
一 般 財 源		100.0%	10,865	13,016	12,107	27,753	0
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.20	0.35	0.25		
	嘱託・臨時等						
	合 計	100.0%	0.20	0.35	0.25		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 6点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	2	2		
	市民ニーズ(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容: 学習環境の変化等に合わせた改良改修を年次計画を立てて実施するなどの見直しが必要				
有効性 4点	優先性, 緊急性(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	3	3		
	受益者(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	進捗状況(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から計画通り進捗していると言える <input type="checkbox"/> 当初計画から遅れが出ている				
効率性 3点	- 進捗改善余地(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 計画から遅れが出ている場合 <input type="checkbox"/> 改善策あり <input type="checkbox"/> 特になし	-2	-3		
	コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容:					
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	年々施設設備の老朽化が進行しているが、財政上から部分的な整備での対応にせざるを得ないのが現状であるが、本来は、年次計画を立てて中長期的な大規模施設整備が必要である。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
	実施期限	平成		年		月
	(2)	対応内容				
実施期限	平成		年		月	
(3)	対応内容					
実施期限	平成		年		月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	当面の対応として、園児の安全確保を最優先に、経年劣化の状況や園現場からの要望等を勘案して整備をしていく。	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
2次評価委員会コメント			統合/終期設定			
			廃止/休止			

(内部事務)	事業コード	3140070
平成15年度	事業名	学校園施設警備業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部 施設課
政策施策体系	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	長岡 義則
事業期間	小	4	学校園施設の整備充実	記入者氏名	朝生 充治
根拠法令・要綱等	細			電話番号	0797-38-2086
実施手法				内線	3212
委託				実施主体	教育委員会
事業の概要				経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時
事業の現状				補助金	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金
目的実現のための手段及び実施内容				民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 委託内容
アクティブ指標	指標名	有人警備業務委託(小学校8校, 中学校3校)			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	11施設	11施設	11施設	11施設
	単位コスト	2,143千円/1施設	2,143千円/1施設	2,143千円/1施設	2,609千円/1施設
アウトプット指標	指標名	機械警備業務委託(幼稚園9園, 小学校8校, 中学校3校, みどり学級)			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	21施設	21施設	21施設	21施設
	単位コスト	159千円/1施設	161千円/1施設	149千円/1施設	185千円/1施設

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	各施設の利用者(園児, 児童, 生徒, 教師, 従事職員, 地域住民) 学校園関係者数(6776人), 地域住民数(不明)			
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %	
	意図	休業中の学校園への部外者の侵入, 火災等の異常発生時に初期対応を速やかに行う。 (対象を主語にして)			
大きな目的	目的	施設および付随する設備が異常なく利用できることに貢献する。			
アウトカム指標	指標名	施設警備中の異常対応件数			
	考え方・式	委託業者からの報告書による。			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	12件	44件	14件	0~5件
	最終指標名				
	考え方・式				
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値				
芦屋の特色など					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	729	住民1人当り(円)	315	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	5.5%		1,555	-	
	事業費	94.5%	26,901	26,939	26,687	27,150
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	26,901	26,939	28,242	27,150
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	26,901	26,939	28,242	27,150
活動配分(人)	職員	100.0%		0.15	-	
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.15	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない				
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名: 近隣各市 活動配分: <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体より多い	-1	-2
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名: 近隣各市 単位コスト: <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
手段 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 委託料の時間単価見直し				
平成15~16年度に実施した改善内容		課題: 委託料の縮減	改善内容: 委託料の時間単価見直し	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有人警備を他市同様に機械警備のみにする事でコスト縮減が図れるので,今後その体制づくりに取組む必要がある。 ・ 中学校における朝練時の開鍵の方法等ソフト面の問題をクリアする必要がある。 				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
平成17~19年度の方向性	上記課題に対して,関係部署と協議を再開し,早期に実施と出来るようソフト面の整備ハード面の整備が急務である。 (関係部署: 学校・教職員課・教職員組合・コミスク〔地域開放団体〕) (ソフト面: 学校職員の勤務事項関係,鍵関係のマニュアル作成) (ハード面: 機械警備機器の導入整備)	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮小 統合/終期設定 廃止/休止			
2次評価委員会コメント	委託内容の見直しコスト削減に努めてください。				

(内部事務)	事業コード	3140080
平成15年度	事業名	学校園施設保守点検業務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部 施設課	
政策施策体系	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	長岡義則	
事業期間	小	4	学校園施設の整備充実	記入者氏名	朝生充治	
根拠法令・要綱等	細			電話番号	0797-38-2086	
実施手法				内線	3212	
委託先				実施主体	教育委員会	
事業の概要				経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	
事業の現状				補助金	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金	
アクティブ指標	指標名	保守点検契約業務数・施設数			委託内容	施設付帯設備の保守点検業務委託
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	市内、市立幼稚園・小学校・中学校における付帯設備の維持管理を行う。	
	指標値	29件	28件	28件		
	単位コスト	2,123千円/1施設	2,175千円/1施設	2,061千円/1施設		
アウトプット指標	指標名	保守点検契約業務数・施設数				
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	29件	28件	28件	30件	30件
	単位コスト	2,123千円/1施設	2,175千円/1施設	2,061千円/1施設	2,220千円/1施設	2,220千円/1施設

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内、市立幼稚園・小学校・中学校における施設設備利用者(園児・児童・生徒・教師・従事職員・地域住民)					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	20校園	受益数(b)	20校園	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	施設付帯設備の維持管理中に起こるトラブル・異常発生時に初期対応を速やかに行う。					
大きな目的	目的	施設付帯設備の保全管理を行い、安全で異常なく利用することに貢献する。					
アウトカム指標	指標名	保守管理業務中におけるトラブル発生件数					
	考え方・式	保守メンテ委託業者からの報告件数					
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値	18件	16件	34件			
	最終指標名						
	考え方・式						
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値						
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	428	住民1人当り(円)	185	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	9.4%				1,555		-		
	事業費	90.6%	15,566	16,797	15,018	17,260				
	他部門経費							-		
	減価償却費							-		
	合計	100.0%	15,566	16,797	16,573	17,260				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
	一般財源	100.0%	15,566	16,797	16,573	17,260				
活動配分(人)	職員	100.0%				0.15		-		
	嘱託・臨時等							-		
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.15	0.00				

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	3
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない			
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 同市内施設・近隣各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	1	0
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分:	<input type="checkbox"/> 把握していない		
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い		
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について				
<input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある				
コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い			
	高い, または低い場合の理由					
平成15~16年度に実施した改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている	<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
課題		簡易な点検等特殊な資格が必要としないものについては, 減らすことが出来ないか	改善内容	空調機の点検時に行っているフィルター清掃を出来るだけ現場職員で行えば少しは, コスト削減につながるかと考える。	総合評価	A B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		・施設が新しい建物については何ら問題点はないが, 建物が古い物については建物同様に付帯設備も古く維持管理上, ランニングコストが掛りすぎている。			
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1) 対応内容				
	実施期限	平成	年	月	
	(2) 対応内容				
その他考えられる改善のアイデア	実施期限	平成	年	月	
	(3) 対応内容				
	実施期限	平成	年	月	
平成17~19年度の方向性		部品等取替が可能な機器類については, 改修の順位をつけて更新し, ランニングコスト削減を考えたい。しかし, インitialコストが掛ることから, 各関係機関, 関係部署と協議し考えていきたい。	今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			現状維持		
			方法改善		
			民間委託等		
			縮小		
			統合/終期設定		
			廃止/休止		
2次評価委員会コメント					

(内部事務)	事業コード	3140090
平成15年度	事業名	学校園施設補修

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会管理部 施設課		
政策施策	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	長岡 義則		
体系	小	4	学校園施設の整備充実	記入者氏名	朝生 充治		
事業期間	大正14年～			電話番号	0797-38-2086	内線 3212	
根拠法令・要綱等	地方財政法第8条, 教育事務分掌規則第5条			実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校園の施設設備の補修工事等を行う。 ・各学校園の樹木剪定・補植工事を行う。 対象施設：幼稚園9園, 小学校8校, 中学校3校						
事業の現状	学校園現場からの要望事項を精査し, 調査・設計(予算内で設計) ・業者選定・工事発注・検査(検収)・支出事務を行う。 ・補修工事を 幼稚園9施設で27件実施, 小学校8施設で75件実施, 中学校3施設で26件実施した。 ・樹木工事を 幼稚園9施設で1件実施, 小学校8施設で12件実施, 中学校3施設で3件実施した。						
目的実現のための手段及び実施内容							
アクティブ指標	活動指標	指標名	調査件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	180件	120件	150件	172件	
		単位コスト	219,000円	344,000円	236,000円	170,000円	
アウトプット指標	結果指標	指標名	実施件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	151件	116件	144件	150件	
		単位コスト	261,000円	356,000円	246,000円	195,000円	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	学校園施設からの要望・地域住民からの苦情					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	150	受益数(b)	144	比率(b÷a)%	96%
	意図	施設設備の維持補修及び剪定補植を行う。 (対象を主語にして)					
大きな目的	学校園施設における環境整備, 施設設備の耐久性の向上						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	達成率(%)				
		考え方・式	実施件数÷調査件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	84%	97%	96%	87%		
	最終成果指標	指標名	苦情件数				
考え方・式							
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値	200件	128件	202件	192件		
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	915	住民1人当り(円)	396	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	5.7%	1,815	1,786	2,033	-
	事業費	94.3%	37,694	39,583	33,429	29,300
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	39,509	41,369	35,462	29,300
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	39,509	41,369	35,462	29,300
活動配分(人)	職員	100.0%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.20	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
	- 成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない			
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	団体名: 近隣各市	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない	-1	-2
	単位コスト(1~1)	<input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	活動配分	<input checked="" type="checkbox"/> 把握していない		
		<input type="checkbox"/> 他団体より少ない	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体より多い		
	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について				
<input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている		<input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある				
コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である				
	<input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
平成15~16年度に実施した改善内容		部材の単価比較	改善内容	同部材でも一流メーカー物をOEM物に置換えコストを抑えることが出来た。	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	緊縮財政の中, 長期的な改善計画が実現しにくい, 今後大規模的に改修をする時期に来ている。 建物の外装にしても通常15年で塗装するところ長い年月放置されたままになっているため, 下地まで傷みが著しい。				
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	ここ2・3年から4・5年先を考え, 予算の許す限り補修計画を立てて行かなければ小額で直せていたものが, 根本的に大掛かりとなり, 維持経費が高み小額では補修困難な状態に来ているものもあり, 営繕計画を立てていかないとだめである。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
2次評価委員会コメント	拡大・充実				
	現状維持				
	方法改善				
	民間委託等				
	縮小				
統合/終期設定					
廃止/休止					

(一般事業)	事業コード	2410150
平成15年度	事業名	カウンセリングセンター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会学校教育部
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐむ社会の実現	所管課長氏名	春名 片史
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	記入者氏名	石田 要
体系	細			電話番号	0797-38-2087 内線 3233
事業期間	昭和57年開設～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市教育委員会
根拠法令・要綱等	学校教育法			委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金
実施手法			<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金	委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 井上 敬明 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 青少年の教育相談

事業の概要	青少年の健全育成を図るため、児童・生徒・保護者及び教師の相談に対応する。
-------	--------------------------------------

事業の現状	芦屋市から委託を受けた教育相談専従班が、市民及び教師から教育相談や子育て全般の問題について直接面接したり、電話で対応する。 電話相談...火曜から金曜10時～17時 面接相談...火曜から土曜 13時～17時(金曜を除く) 電話相談員7人 カウンセラー5人 場所：青少年センター内
-------	--

アウトプット	結果指標 (1)	指標名	悩み相談件数(面接相談)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	458人	420人	493人		
	単位コスト	9,300円	10,200円	8,700円			
	結果指標 (2)	指標名	悩み相談件数(電話相談)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		440人	180人	270人			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	幼児, 児童, 生徒, 保護者, 教師					
	対象カバー率	対象数(a)	6,169人	受益数(b)	763人	比率(b÷a)%	12.4%
	意図(対象を主語にして)	幼児児童生徒, 保護者, 教師の教育問題を中心とした悩みの解消に寄与する。					

大きな目的	青少年の健全育成
-------	----------

アウトカム	中間成果	指標名	改善がみられた率				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		73.0%	75.0%	80.0%	85.0%
	最終成果	指標名	子育て不安を持つ親の割合				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					

芦屋市の特色など補足する事項	経済的に困難な家庭が増加し、親の悩みが子どもにつながってしまうケースが多くなってきている。
----------------	---

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	227	住民1人当り(円)	98	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	26.7%		1,639	2,355	-
	事業費	73.3%		7,147	6,452	6,016
	他部門経費					-
	減価償却費					-
内訳(千円)	合計	100.0%	0	8,786	8,807	6,016
	財源					
	市債等					
	その他					
財源(千円)	一般財源	100.0%	0	8,786	8,807	6,016
	活動					
	職員	80.0%		0.15	0.20	-
配分(人)	嘱託・臨時等	20.0%		0.10	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.25	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	4
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 相談件数763件		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 不登校児童生徒の増加等学校との連携の強化		
	優先性, 緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 西宮市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 75,400 <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	0	-2
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 学校との連携の強化, 改善内容: 不登校児童生徒への指導に対するアドバイス	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	不登校児童生徒は,増加傾向である。 一般相談の増加		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	芦屋市立小中高等学校	
	意見,要望内容	相談できる機関は,たくさんあればよい。	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	小学校不登校児童への学校指導
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	中学校生徒への学校指導
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	各小学校へカウンセラーを派遣する。		
平成17~19年度の方向性	教育相談業務は,色々な機関が行っているが専門のカウンセラーを設け,心理検査なども行える機関である。最近の悩み相談は,鬱病など精神面で悩みを抱えている親の問題,不登校児童生徒の問題等や思春期を迎えた生徒への対応の難しさなど問題が複合化しており,なかなか悩みの解消がすぐに表れるものではない。 今後,相談業務は悩みをしっかりと聞き,どのように対処していけばよいか,他機関とも連携を深めながら進めて行く必要がある。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	他の相談事業との統合を検討して下さい。		

(一般事業)	事業コード	2520020
平成15年度	事業名	障害児教育振興事業(学級運営費含む)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	5	障害者の社会参加の実現	所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育・療育体制の充実	記入者氏名	山田 耕治		
体系	細		障害児教育の振興	電話番号	0797-38-2087	内線	3235
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法			委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
委託	名称			委託内容			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の状態に応じた学習指導の充実, 指導計画の作成 ・教材備品の整備(点字教材等補助的な教材) ・交流キャンプの実施 						
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・点字用教科書, 教材の購入 ・障害児学級備品, 教材, 図書等の購入 ・なかよし交流キャンプの実施(1泊2日 障害児学級児童生徒+通常学級希望者参加) 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	障害児学級児童生徒数(小・中学校)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		46人	46人	47人	
	結果指標 (2)	指標名	なかよし交流キャンプ参加児童生徒数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	90人	98人	88人	100人	100人
単位コスト	5,000円/人	5,000円/人	5,000円/人	3,000円/人	3,000円/人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	小中学校障害児学級児童生徒(及び通常学級児童生徒・担任・保護者)					
	対象カバー率	対象数(a)	46人	受益数(b)	46人	比率(b÷a)%	100%
	意 図 (対象を主語にして)	学習活動や学校生活を送る上での, 障害や不足を軽減する。					
大きな目的	障害児(者)や高齢者に対し, 偏見なく優しく関わる人が増えること。児童生徒の自立と成長をめざすこと。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	1人当たり担任数(人)				
		考え方・式	障害児学級担任数/障害児学級児童生徒数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値		0.47人	0.52人	0.53人	1人	
	最終成果 指 標	指標名					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	175	住民1人当り(円)	76	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)		
	人件費	50.6%		2,474	3,431	-		
	事業費	49.4%		2,930	3,353	4,732		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
	合計	100.0%	0	5,404	6,784	4,732		
財 源 (千円)	国 県							
	市 債 等							
	そ の 他							
	一般財源	100.0%	0	5,404	6,784	4,732		
活 動 配 分 (人)	職 員	86.1%		0.31	0.31	-		
	嘱託・臨時等	13.9%		0.10	0.05	-		
	合計	100.0%	0.00	0.41	0.36	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	8	3
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 障害のある幼児児童生徒数 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 国の障害者教育の動向に合わせた見直し <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	4
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 介助ボランティアなどを募集する <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-1	-4
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 キャンプの扶助費	改善内容 扶助費の削減	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	交流キャンプの扶助費は事業の趣旨から考えて,これ以上の削減は負担が増えるため苦しい。配慮を要する児童生徒が増えており,個に応じたニーズもあり,教材備品費は増額が望まれる。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
		学校における教員(補助員)を増やしてほしい。 エレベーター等,校舎のバリアフリー化を進めてほしい。	
平成17~19年度の方向性	配慮を要する児童生徒が増えており,これらに応じた予算配当が望まれる。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	点字教科書など教材・備品は現状維持。なかよし交流キャンプについては廃止または他部門の類似事業との統合の必要があります。		

(一般事業)	事業コード	3110010
平成15年度	事業名	特色ある学校園づくり支援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	1	特色ある学校園づくり			記入者氏名	山本 哲也		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3233
事業期間	平成11年度～		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時	<input type="checkbox"/>	
根拠法令・要綱等	学校教育法			実施主体			教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営			<input type="checkbox"/> 一部委託			<input type="checkbox"/> 全部委託		
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託			名称			<input type="checkbox"/> 民間委託		
委託	委託内容								
事業の概要	特色ある教育の支援 学力向上のための教育的支援 教育ボランティア人材バンクの活用								
事業の現状	学校園の主体性・自立性の確立 学校園教育への地域の参画と協働 生きる力の育成と基礎・基本の定着								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	教育ボランティア登録者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	89人	95人	66人	80人	90人		
	結果指標(2)	指標名	教育ボランティア派遣者数(のべ人数)(有償)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	536人	726人	322人	400人	400人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市立幼稚園, 小・中学校の幼児児童生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	5,900人	受益数(b)	5,900人	比率(b÷a)%	100%		
	意図 (対象を主語にして)	児童生徒の学習の一層の充実 保護者などが学校園の様子の理解							
大きな目的	学校園教育の充実を図り, 保護者・市民に信頼される学校園づくりを目指す。								
アウトカム指	中間成果指標	指標名	保護者及び児童生徒の意欲の高まり度						
		考え方・式	アンケート等により調査(打出浜小学校)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果指標	指標値		79.0%	82.0%	90.0%	90.0%		
		指標名							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		

3 事業費・活動配分(コスト)

1世帯当り(円)		181	住民1人当り(円)		78	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	64.1%		3,858	4,509	-
	事業費	35.9%		2,906	2,520	3,170
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	0	6,764	7,029	3,170	
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	0	6,764	7,029	3,170	
活動配分 (人)	職員	88.9%		0.35	0.40	-
	嘱託・臨時等	11.1%		0.10	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.45	0.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	0
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 神戸市 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 3000円 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由 ボランティア報酬本市は旅費のみ	1	1
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容 報償費等の削減 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 一人当たりの報償費を削減	改善内容 ボランティア講師は趣旨を踏まえ,無償若しくは,低額で招聘	総合評価 A C

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	幼児児童生徒に対する成果の把握 保護者の満足度の把握		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	幼児児童生徒に対する成果の把握 アンケート調査等の実施
		実施期限	平成 17 年 3 月
	(2)	対応内容	保護者の満足度の把握 アンケート調査等の実施
		実施期限	平成 17 年 3 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	大学生など,学校園教育に関心のあるボランティアを導入し,より一層の充実を図る。 学校園教育における多くの分野で,保護者の支援を得て,学校園教育活動の充実を図る。		
	今後の方向性	1次評価	2次評価
	拡大・充実		
	現状維持		
	方法改善		
	民間委託等縮小		
2次評価委員会コメント	同様の趣旨で県補助事業である「いきいき学校応援事業」も実施しているが,その事業は,平成16年度限りの予定である。この補助がなくなった場合,限られた予算の中で,充実するための方策が必要。		
	県の事業廃止に伴い,抜本的な見直しが必要です。		

(一般事業)	事業コード	3110020
平成15年度	事業名	学校園創立記念事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	1	特色ある学校園づくり			記入者氏名	前川 和世		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3232
事業期間	不明		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等						委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
委託						委託内容			
事業の概要	学校園の創立を祝う式典を行う。 30・50・70・100年ごとに行う。								
事業の現状	記念冊子・記念講演・会場準備等を検討する会議をする。 記念冊子作成と配付をする。 1部は記念式典(学校長式辞・教育長と市長の祝辞・来賓紹介・祝電披露・児童の言葉や歌) 2部は記念講演や記念コンサート 1部と2部で2時間程度 昨年度は、山手小学校・岩園小学校の70周年								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	記念冊子数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		1,050冊	1,400冊				
	結果指標 (2)	指標名	実施校数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		2校1園	2校				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対 象	市立学校園の幼児・児童・生徒・教職員・保護者・関係機関・地域の方							
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b÷a)%					
	意 図	学校園の創立を祝う中で、愛校(園)心を育む。保護者・関係機関・地域の方との連携や信頼感を深める。 (対象を主語にして)							
大きな目的	目的	学校教育の啓発と沿革							
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	式典への参加人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		2,189人	3,014人	656人			
	最終成果 指 標	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	62	住民1人当り(円)	27	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	77.0%		1,783	1,841	-
	事業費	23.0%		773	551	416
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	0	2,556	2,392	416
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	0	2,556	2,392	416
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%		0.16	0.17	-
	嘱託・臨時等	0.0%		0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.00	0.16	0.17	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	2
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 式典の期間の見直しをした。		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	1
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-2	-1
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし, 過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 記念冊子ページ数の削減 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 創立記念冊子・記念講演等の謝金	改善内容 冊子や謝金の減額。	総合評価 B D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	費用をかけずに冊子を作成する。		
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	ページ数や写真枚数を減らす。
		実施期限	平成 16 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	創立記念冊子の内容・予算の検討 創立記念式典の継続	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	事業内容の見直しを行い, 経費は最少限で行うこと。		

(一般事業)	事業コード	3120030
平成15年度	事業名	国際理解教育事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実	記入者氏名	竹林 成太		
体系	細			電話番号	0797-38-2087	内線 3235	
事業期間	不明		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等				委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法				委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 小学校における英語活動		
事業の概要	中学校に外国人講師を配置する。 小学校での英語活動を実施する。						
事業の現状	3中学校に2人の外国人講師を配置している。一人の生徒が、できるだけ、外国人の授業を受けることができるよう配置 8小学校で英語活動を行なっている。(ただし、13年度は1校、14年度は3校、15年度は8校実施。) すべて2学期～3学期に行なっている。実施回数や時期は学校によって異なる。 総合的な学習で行なっているので3～6年生での実施である。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	国際理解授業 生徒数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	1,425人	1,343人	1,274人		
		単位コスト			7,564円/1人		
	結果指標 (2)	指標名	英語活動 児童数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		265人	910人	2,507人			
	単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立中学校生徒 市立小学校児童(3年生～6年生)					
	対象カバー率	対象数(a)	3,781人	受益数(b)	3,781人	比率(b÷a)% 100%	
	意 図 (対象を主語にして)	市立中学校生徒及び小学校児童が、ネイティブスピーカーに接し、生の英語に触れる機会を設ける。 中学生においては、より実践的な英語力を身につけ、小学生においては英語に関する興味や関心を高める。					
大きな目的	英語を習得して、国際理解への力を高める。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	小中学校での英語への興味、関心の向上率				
		考え方・式	(英語への興味・関心を感じた児童生徒数)÷全児童生徒数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	不明	不明	84%	84%	84%
	最終成果 指 標	指標名	国際理解や外国の文化への興味、関心の向上率				
		考え方・式	(国際理解や外国の文化への興味や関心が高まった児童生徒数)÷全児童生徒数				
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値	不明	不明	不明			
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	464	住民1人当り(円)	201	平成16.4.1 住民基本台帳
事 業 費 内 訳 (千円)	構 成 %	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	29.7%		4,699	5,342	-
	事業費	70.3%		11,369	12,635	13,344
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	0	16,068	17,977	13,344
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	0	16,068	17,977	13,344
活 動 配 分 (人)	職 員	91.1%		0.46	0.51	-
	嘱託・臨時等	8.9%		0.10	0.05	-
	合 計	100.0%	0.00	0.56	0.56	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3			
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である					
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 児童アンケート 84% <input type="checkbox"/> 未把握					
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 英語教育への必要性の高まりや,小学校での英語教育への拡大の動きがある。					
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4			
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える					
成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他自治体(市) <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	1	-1			
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組を行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 委託部分についてはコスト削減への取組を行なっている。					
平成15~16年度に実施した改善内容	外国人講師の授業を増やすこと。	改善内容	コストとの兼ね合いもあるので,困難な状況である。	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	中学校,小学校ともに,もっと外国人と触れ合う機会を増やす必要があるがそのためにはさらにコストがかかる。しかし,現在の財政状況では困難である。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望への対応	(1)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容					
		実施期限	平成	年	月		
平成17~19年度の方向性	現在の社会情勢から見ても,今後も英語教育の必要性は益々高まるとされる。したがって,財政状況が厳しいとはいえ,この事業の拡大が望まれる。市の財政状況が厳しい現実を考えると少なくとも現状を維持すべきと考える。				今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	3120040
平成15年度	事業名	文化体育振興事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	竹林 成太		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3235
事業期間	不明		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等						委託	先 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						委託内容	会場設営	
事業の概要	教育活動展, 自由研究発表大会, 中学校総合文化祭, 造形教育展を開催する。								
事業の現状	教育活動展(年1回開催, 幼小中-20校園対象) 自由研究発表大会(年1回開催, 小中-11校対象) 中学校総合文化祭(年1回開催, 中-3校対象) 造形教育展(年1回開催, 幼小中-20校園対象)								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	参加者, 見学者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値			8,627人				
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立幼稚園, 小学校, 中学校の園児児童生徒及びその保護者							
	対象カバー率	対象数(a)	17,742人	受益数(b)	8,627人	比率(b÷a)%	48.6%		
	意 図 (対象を主語にして)	市立の幼稚園, 小学校, 中学校の園児児童生徒及びその保護者及びその他の市民が, 市立学校園の文化的教育活動に触れることができる。							
大きな目的	市民が幼稚園, 小学校, 中学校の文化的教育活動への理解を深める。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	(参加者+見学者)率						
		考え方・式	(参加者数+見学者数)÷(市立幼稚園, 小学校, 中学校の児童生徒数及び保護者数)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		48.2%	48.6%	50.0%			

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	141	住民1人当り(円)	61	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	68.2%		3,060	3,717	-
	事業費	31.8%		2,316	1,730	2,453
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	0	5,376	5,447	2,453	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	0	5,376	5,447	2,453	
活 動 配 分 (人)	職 員	87.8%		0.31	0.36	-
	嘱託・臨時等	12.2%		0.10	0.05	-
	合 計	100.0%	0.00	0.41	0.41	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	2
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 幼稚園, 学校教育の変化に応じて内容も変わっている。		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他自治体 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	1	1
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めざるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 消耗品費の削減 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 参加, 見学率の向上	改善内容: 周知の方法	総合評価: C C

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	
市民, 関係者からの意見等	市民, 関係者の名称 意見, 要望内容
課題・要望等への対応	(1) 対応内容 実施期限: 平成 年 月
	(2) 対応内容 実施期限: 平成 年 月
	(3) 対応内容 実施期限: 平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	
平成17~19年度の方向性	低コストで広く市民に学校園の文化的教育活動を周知することのできる事業である。 現状維持が望ましい。 今後の方向性: 拡大・充実, 現状維持, 方法改善, 民間委託等, 縮小, 統合/終期設定, 廃止/休止
2次評価委員会コメント	見学者・参加者等を増やす啓発方法の検討をしてください。

(一般事業)	事業コード	3120060
平成15年度	事業名	学校防災教育の推進

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実	学校教育課			
政策施策	小	2	教育内容の充実	所管課長氏名	春名 片史		
体系	細			記入者氏名	谷川 久吉		
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2087 内線 3234		
根拠法令・要綱等				実施主体	教育委員会		
実施手法			<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託	先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称	<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要			児童・生徒の災害に対する心構えや自分の「命」を守る大切さなど日常からの意識を育成する。災害時の対応など児童生徒の安全を確保する体制づくりマニュアルの整備-				
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容		日常の教育活動の中で「命」の大切さを常に認識させ、日頃から災害等についての心構えを図る。避難訓練の実施、心のケア、地域と連携した防災教育の推進等の研修を通して、教職員の指導力の向上を図る。「いのち」を守る防災マニュアルの整備確認をし、災害時に対応できる体制を確保する。				
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	防災マニュアル配布冊数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	750冊	750冊	750冊	750冊	750冊
	結果指標 (2)	指標名	備品等転倒防止対策箇所数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		44件	0件	20件	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋市立学校の児童・生徒・教職員					
	対象カバー率	対象数(a)	5,576人	受益数(b)	5,576人	比率(b÷a)%	100%
	意図(対象を主語にして)	芦屋市立学校の児童・生徒の災害に対する意識が高まり、自分の「命」を守ることについて、再考し災害時における対応について学習する。教職員が防災対策の体制について確認する。					
大きな目的	日頃から「いのち」を大切にすることについて考えて生活する。災害発生時の行動や対応を身につける。						
アウトカム指	中間成果	指標名	避難訓練実施回数(小・中・高)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	不明	32回	31回	31回	32回
	最終成果	指標名	災害発生時の行動対応力が身につけている児童・生徒の割合(%)未調査のため不明				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	99	住民1人当り(円)	43	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	89.1%		2,742	3,431	-
	事業費	10.9%		529	420	816
	他部門経費					-
	減価償却費					-
内訳(千円)	合計	100.0%	0	3,271	3,851	816
	財源					
	市債等					
財源(千円)	その他					
	一般財源	100.0%	0	3,271	3,851	816
	活動					
配分(人)	職員	86.1%		0.26	0.31	-
	嘱託・臨時等	13.9%		0.10	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.36	0.36	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 池市教育委員会 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-2	-2
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 あらゆる災害を想定した訓練と意識の高揚を図ること	改善内容 防災に関する認識を,訓練に生かしていく	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	地域・保護者等と連携した研修や訓練の実施 非常災害時の行動マニュアルの確認		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	児童・生徒が安心して学校生活や家庭生活をおくることができるように,日頃から家族で,避難場所,連絡方法などについて確認するとともに,各地域での避難経路,協力体制など,日常的な意識づけをすすめていく。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント			

(一般事業)	事業コード	3120070
平成15年度	事業名	適応教室実施事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	後藤 武昭		
体系	細					電話番号	0797-23-8567	内線	-
事業期間	平成10年度~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	なし					委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託				
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容			
事業の概要	芦屋市立小学校及び中学校における不登校及び不登校傾向の児童生徒に対し、教育活動を通して指導及び援助を行い、基本的な生活習慣の確立、集団生活の訓練、基礎学力の補充により、児童生徒の自立性の育成を図るとともに、学校生活への意欲を育て、もって学校への復帰を目指すことを目的とする。								
事業の現状	通級児童生徒への指導（基本的習慣の育成、学習活動、体験活動等） 引きこもり傾向の児童生徒の家庭訪問指導								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	入級児童生徒数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	9人	9人	11人	12人	12人		
	結果指標 (2)	指標名	家庭訪問指導件数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	0人	0人	9人	10人	12人		
単位コスト		563,111円	599,000円	670,636円	435,833円	435,833円			
単位コスト		-	-	819,666円	523,000円	435,833円			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	芦屋市立小中学校に在籍し、病気等の特別な理由もなく年間30日以上欠席する児童生徒、または30日に満たなくとも将来的に30日に到達する恐れのある不登校児童生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	57人	受益数(b)	18人	比率(b÷a)%	31.6%		
	意 図 (対象を主語にして)	不登校児童生徒が学校復帰を果たす。または、基本的な生活習慣、集団生活を営む社会性を身につけ、社会的自立を果たす。							
大 き な 目 的	児童生徒の教育権の保証、成人の引きこもりを防ぐ。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	部分復帰の件数						
		考え方・式	通級児童生徒のうち、学校に行っていない状況を抜け出し、部分的でも学校に登校できるようになった不登校児童生徒人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	不登校児童生徒数						
		考え方・式	芦屋市内において、病気等の特別な理由もなく、年間に30日以上欠席した不登校児童生徒数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値		8人	8人	10人	12人	12人			
指標値		51人	57人	57人	38人	25人			
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	581	住民1人当り(円)	251	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	67.9%		12,403	15,289	-
	事業費	32.1%		6,977	7,217	1,292
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	0	19,380	22,506	1,292
財 源 (千円)	国 県	4.0%		1,000	900	900
	市 債 等					
	そ の 他					
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	96.0%	0	18,380	21,606	392
	職 員	54.5%		1.25	1.20	-
	嘱託・臨時等	45.5%		0.00	1.00	-
合 計		100.0%	0.00	1.25	2.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	4	
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 不登校児童生徒家庭の状況の多様化, 文部科学省の指針の変更			
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	4	4	
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している			
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	1	-1	
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり			
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 非常勤職員を時間委託指導員に変更し, コストを下げた。			
平成15~16年度に実施した改善内容	不登校児童生徒への積極的な関わりを作る 改善内容: 家庭訪問指導の開始及びそれに伴う指導員の研修の充実	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	社会環境の変容に伴う不登校状況の多様化と増加, それに伴う指導方法の研究 新たな不登校を出さない学校を目指したカウンセリングマインド研修の充実			
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	芦屋市教育委員会教育長		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	不登校児童生徒家庭への訪問指導の実施	
		実施期限	平成 実施中 年 月	
	(2)	対応内容	学校教職員に対する不登校児童生徒に対応する指導方法の研修会の開催	
		実施期限	平成 開催中 年 月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	通級児童生徒への体験活動の実施と, 学習指導の充実	
		実施期限	平成 実施中 年 月	
			芦屋市内の相談機関を打出教育文化センターに集め, 一元化した対応ができるようにする。(極めて重要である) 相談部門と指導部門を分離し, 専門化する。	
平成17~19年度の方向性	基本的には, 不登校児童生徒が0になれば必要なくなる事業である。しかし, 今の社会情勢を考えると施策を実施しなければ確実に増加していくと考えられる。従って, 質, 内容ともに拡大, 充実していく必要があると思われる。不登校児童生徒に対する指導は, 不登校のみならず, 生徒指導全般に通ずる重要なポイントであると考えられる。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	他の相談指導業務との連携を密にし, 成果があがるよう検討する必要があります。			

(一般事業)	事業コード	3120080
平成15年度	事業名	道徳教育の充実推進事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	植松 なおみ		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3241
事業期間	平成9年4月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法					委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	本市道徳副読本「みんないきいき」を全児童生徒に配布し、道徳教育の充実を図る								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	本市編集道徳副読本「みんないきいき」を全児童生徒に配布し授業に活用する。(備品として学校保管)年間指導計画(小低学年15, 中学年18, 高学年22, 中学校23時間)に位置づけて授業実践副読本の「指導の手引き」を作成し、教職員に配布。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	副読本の配布数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	4,822冊	4,867冊	1,118冊	590冊	590冊		
	結果指標 (2)	指標名	道徳授業時間						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	35時間/年	35時間/年	35時間/年	35時間/年	35時間/年		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立小中学校, 児童, 生徒								
	対象カバー率	対象数(a)	5,101人	受益数(b)	5,101人	比率(b÷a)%	100%			
	意 図 (対象を主語にして)	道徳の時間に副読本を活用し、児童生徒の道徳的実践力を高める。手引書を配布、活用し、授業における教師の指導力を高める。								
大きな目的	道徳性豊かな児童生徒の育成									
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	他社とのかわりや社会とのかわりの中での道徳的実践力を高める。(アンケートによる)							
		考え方・式	道徳の公開授業を増やすことで、保護者の理解も進み、児童生徒の道徳的実践力の向上につながる。							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	指標値			50パーセント	60パーセント	70パーセント				
	最終成果 指 標	指標名								
		考え方・式								
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値										
芦屋市の特色など補足する事項	本市独自の副読本の配布と、手引書作成、配布									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	170	住民1人当り(円)	74	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	83.7%		4,963	5,522	-
	事業費	16.3%		3,165	1,076	693
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	0	8,128	6,598	693
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	0	8,128	6,598	693
活 動 配 分 (人)	職員	90.0%		0.40	0.45	-
	嘱託・臨時等	10.0%		0.10	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.50	0.50	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	5	5		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 他社とのかわりや, 社会とのかわりの内容を増やす				
	優先性, 緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	1	-1		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: 学校備品として扱い, 不足分を補充する				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 保護者啓発が必要 副読本活用の推進	改善内容: 保護者公開授業を増やす 副読本活用の時間を増やす	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	道徳の授業がいっそう充実					
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称 意見, 要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	授業公開, 保護者参観授業, 研究会等の実施について, 各学校への指導を図る。			
		実施期限	平成	16	年	
	(2)	対応内容	平成		年	
		実施期限			月	
	(3)	対応内容	平成		年	
		実施期限			月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性				今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	教師の指導力向上につながる副読本の活用を検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3120090
平成15年度	事業名	セカンドスクール事業(小学校)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	谷川 久吉		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3234
事業期間	昭和63年度から実施			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	兵庫県自然学校実施要綱, 芦屋市立小学校セカンドスクール実施要綱								
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	学校教育活動の一環として、自然学校で指導することにより効果の上がる体験活動を実施する施設に宿泊し、周辺の自然についての学習や地域とのかかわりのある活動を通して児童の育成を図る校長で構成する事業推進委員会にて企画、立案する								
事業の現状	芦屋市立小学校8校の5年生児童を対象に、5泊6日の日程で、自然の家に宿泊する自然学校の期間、他の児童と寝食および活動を共にすることにより社会性を育む恵まれた自然の中で体験プログラムにそって、芦屋ではできない体験をする								
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	参加者数(5年生児童)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	571人	638人	588人	580人	580人		
	結果指標(2)	指標名	指導員, 救急員配置数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	51人	53人	48人	53人	50人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	芦屋市立小学校5年生								
	対象カバー率	対象数(a)	588人	受益数(b)	588人	比率(b÷a)%	100%			
	意図(対象を主語にして)	児童が学校から自然の家に学習の場を移し、学校や芦屋ではできない体験をする。5泊6日の間、芦屋や家族から離れ、児童と教師、指導員とともに自然の中での体験を通して心身ともに成長する								
大きな目的	児童が心身ともに逞しく、健全に育つ									
アウトカム指標	中間成果	指標名	児童の満足度							
		考え方・式	アンケート結果(自然学校を体験してよかったか)							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	最終成果	指標名	保護者の満足度							
		考え方・式	アンケート結果(自然学校を体験させてよかったか)							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	329	住民1人当り(円)	142	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内訳 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	26.9%		3,720	3,431	-		
	事業費	73.1%		9,544	9,306	10,059		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
財源 (千円)	合計	100.0%	0	13,264	12,737	10,059		
	国・県	35.9%		4,581	4,573	4,319		
	市債等							
	その他							
活動配分 (人)	一般財源	64.1%	0	8,683	8,164	5,740		
	職員	86.1%		0.38	0.31	-		
	嘱託・臨時等	13.9%		0.10	0.05	-		
合計	100.0%	0.00	0.48	0.36	0.00			

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 池市教育委員会 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	0	0
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 児童による選択プログラムの導入	改善内容 自然学校の活動プログラムの中に,児童が選択できるプログラムを検討し,導入している	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	この事業は,兵庫県の主要施策の1つであり,兵庫県内の小学校はすべて実施している。事業を進めるにあたって,個人にかかる費用は,保護者負担として,お願いしているので,かかる費用の削減など自然学校の目的を達成できるプログラムの検討や充実が課題である		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	兵庫県の主要施策であり,今後も芦屋の児童の健全な育成のために,さらに活動内容等をさらに充実させ継続していく	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	コスト削減の方策について検討してください。		

(一般事業)	事業コード	3120110
平成15年度	事業名	トライやる・ウィーク推進事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	石田 要		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3233
事業期間	平成10年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱	学校教育法 兵庫県地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施要綱					委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	校区トライやる・ウィーク推進協議会が運営し芦屋市中学校2年生に職場体験をさせ、生徒の健全育成、保護者や地域との交流を図る。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	兵庫県教育委員会からの補助事業である。 活動運営費、指導に要する資料代、会議費、介助補助員謝金、保険料 中学2年生411人 98箇所の事業所 5日間の職場体験活動を行う。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	体験生徒数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	479人	467人	413人	411人			
	結果指標 (2)	指標名	体験事業所数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	121事業所	100事業所	80事業所	89事業所			

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立中学校2年生及び地域住民							
	対象カバー率	対象数(a)	413人	受益数(b)	413人	比率(b÷a)%	100%		
	意 図 (対象を主語にして)	中学生が職場体験することで働くことの意義や進路を見出す機会とする。また、地域の人たちとの交流をすることで共に生きる心や感謝の心を育み、可能な限り自立し社会参加をするための「生きる力」を育成する。							
大きな目的	青少年の健全育成								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	生徒の満足度						
		考え方・式	良かったと答えた生徒数 / 全生徒数 × 100 (%)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	将来に希望を持つ青少年の割合						
		考え方・式	将来に影響があった生徒数 / 全生徒数 × 100 (%)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	195	住民1人当り(円)	84	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	57.9%		3,720	4,387	-					
	事業費	42.1%		4,006	3,184	3,600					
	他部門経費					-					
	減価償却費					-					
	合計	100.0%	0	7,726	7,571	3,600					
財 源 (千円)	国 庫	28.0%		2,543	2,117	2,200					
	市 債 等										
	一 般 財 源	72.0%	0	5,183	5,454	1,400					
活 動 配 分 (人)	職 員	89.1%		0.36	0.41	-					
	嘱託・臨時等	10.9%		0.10	0.05	-					
	合計	100.0%	0.00	0.46	0.46	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	4	2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 中学校2年生の参加者 413人 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: _____ <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり _____ <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 西宮市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 8000 <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由: _____	-1	-1		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めざるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	事業所が経済的な事情及び客が少ないことを理由に受入先の減少がある。					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称					
	意見、要望内容	生徒の要望				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	県の要綱に基づくものであり継続する。 受入れ事業所を増やしていくこと、市民へのアピールを改善する。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	市民・事業所に事業についての理解を得、受け入れ拡大の啓発を進めてください。					

(一般事業)	事業コード	3120120
平成15年度	事業名	安全教育

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実	記入者氏名	前川 和世		
体系	細			電話番号	0797-38-2087	内線	3232
事業期間	明治5年		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等				実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容			
事業の概要	安全教育に関する指導を行う。						
事業の現況 目的実現のための 手段及び実施内容	安全担当者を周知する。 安全教育や訓練等の年間計画を学校園に求める。 交通安全教室・訓練を実施する。 ブザーの個数と単価 (4,000個・297円)						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	安全教室の実施回数(幼・小)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	35回	29回	31回		
	結果指標 (2)	指標名	防災防犯訓練回数(幼・小・中・高)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		104回	108回		
単位コスト							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立学校園の教職員・幼児・児童・生徒					
	対象カバー率	対象数(a)	13,040人	受益数(b)	13,040人	比率(b÷a)%	100%
	意 図 (対象を主語にして)	教職員の安全管理意識が高まる。幼児・児童・生徒が事故や事件に巻き込まれない力を身につける。					
大きな目的	安全確保・安全な学校作り						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	交通安全教室・訓練参加人数				
		考え方・式	交通安全教室や訓練が増えたと安全確保が徹底する。				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	2550	2560	2579	2610		
	最終成果 指 標	指標名	事故数・事件数(不審電話含む)				
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値		20件・84件	16件・95件				
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	97	住民1人当り(円)	42	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	65.7%		1,763	2,475	-
	事業費	34.3%		45	1,291	49
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	0	1,808	3,766	49	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	0	1,808	3,766	49	
活 動 配 分 (人)	職 員	45.7%		0.16	0.21	-
	嘱託・臨時等	54.3%		0.10	0.25	-
	合 計	100.0%	0.00	0.26	0.46	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	4	4			
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である					
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している					
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 防犯訓練を増やしている。					
	優先性、緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3			
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える					
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし					
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 高い、または低い場合の理由	-2	-3			
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である					
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容					
平成15~16年度に実施した改善内容	安全管理について教職員の意識は、高まっているが、ハード面は弱い。	改善内容	防犯ブザーを購入した。	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	安全教育が充実するよう各学校園への指導を図る。					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称 意見、要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	安全教育の継続	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
		統合/終期設定				
		廃止/休止				
2次評価委員会コメント						

(一般事業)	事業コード	3120130
平成15年度	事業名	学校体育(大会経費含む)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	学校教育課		
政策施策	小	2	教育内容の充実	記入者氏名	春名 片史		
体系	細			電話番号	0797-38-2087	内線 3235	
事業期間			経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法			委託	先 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
事業の概要	体育指導者の指導力を高め、資質の向上を図る。 児童生徒に広くスポーツの機会を与え、心身共に健全な児童生徒の育成を図る。 市内生徒の体力・運動能力の実態を調査し、今後の方針や指導に役立てる。						
事業の現状	市立幼稚園・小学校教諭、市立保育所保育士を対象に学校体育実技講習会を開催する。 各種スポーツ大会への積極的参加と交流をすすめる、分担金等を支出する。 市内中学生を対象にスポーツテストを実施する。						
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	体育実技講習会受講者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	20人	22人	17人	20人	22人
	結果指標(2)	指標名	スポーツテスト実施数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	1,269人	1,238人	1,217人	1,270人	1,270人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	就学前児童・小中学校児童生徒および学校園教職員					
	対象カバー率	対象数(a)	6,136人	受益数(b)	1,234人	比率(b÷a)%	20.1%
	意図(対象を主語にして)	教職員の指導力を高める。児童生徒の運動への興味関心を高め、体力・運動能力を向上させる。					
大きな目的	スポーツを通し、心身共に健全な児童生徒の育成を図る。						
アウトカム指	中間成果	指標名	中学校運動部入部率				
		考え方・式	運動部入部人数 / 中学校生徒数 × 100 (%)				
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値		62.4%	62.4%	59%		
最終成果	指標名						
	考え方・式						
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	263	住民1人当り(円)	114	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	32.4%		2,742	3,300	-					
	事業費	67.6%		8,388	6,892	7,447					
	他部門経費					-					
	減価償却費					-					
	合計	100.0%	0	11,130	10,192	7,447					
財源(千円)	国・県										
	市債等										
	その他										
活動配分(人)	一般財源	100.0%	0	11,130	10,192	7,447					
	職員	100.0%		0.26	0.31	-					
	嘱託・臨時等	0.0%		0.00	0.00	-					
合計	100.0%	0.00	0.26	0.31	0.00						

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	5	3			
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である					
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している					
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している					
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3			
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり					
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	-1	-1			
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり					
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である					
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容					
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	講師の報償費を下げたこと	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	体力テストの結果,全国的な傾向でもあるが,児童生徒が伸び伸びと遊んだり運動する機会が減っており,体力低下・運動能力の低下が指摘されている。これからの日本を担う人材を考えると,こういった傾向に対する取り組みが急務であるが,新規事業にける予算もなく,悩みである。市のトップの英断を待ちたい。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(2)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成	年	月			
その他考えられる改善のアイデア	教育委員会だけではなく,子どもの健康や市のスポーツ振興を考える関係者が一同に会し,協議しあう場が必要である。							
平成17~19年度の方向性	研修会や体力テストに係る費用は現状維持。 国体も近づいているが,市民のスポーツへの関心や運動への積極的参加という部分に,子どもたちの健康や体力・運動能力の向上をにらんだ総合的施策が必要であるように思う。 市全体として考えていただきたい。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
					統合/終期設定			
					廃止/休止			
2次評価委員会コメント	運動部入部率の向上,体力・運動能力向上のための方法の検討をしてください。							

(一般事業)	事業コード	3120140
平成15年度	事業名	標準教材品目整備

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実	記入者氏名	山田 耕治		
体系	細			電話番号	0797-38-2087	内線	3235
事業期間				経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	学校教育法			実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	学習指導要領の内容にあわせ、教材を適正に配備する。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	学校からの要求をベースに、教育効果を高めたり、内容理解の促進を図るために教材備品を購入する。 例) 掛地図・英語カセット・ハードル・和太鼓等 国名の変化・社会の変化に応じたり、視覚に訴えるなどより効果的指導を図るため、新規購入のものも多い。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	標準教材備品購入件数(小中学校)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	70件	47件	39件	70件	
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内小中学校11校の児童生徒及び教師					
	対象カバー率	対象数(a)	11校	受益数(b)	11校	比率(b÷a)%	100%
	意 図 (対象を主語にして)	学習指導要領の内容にあわせ、小中学校の教材備品を適正に配備し、教育効果を高め内容の理解を図る。					
大きな目的	児童生徒に対する教育効果を高め、内容理解の促進を図る。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	教材備品充足率(%)				
		考え方・式	各教科(要望第1位)購入件数/全購入件数×100				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値		60%	74.3%	100%	100%	
	最終成果 指 標	指標名					
		考え方・式					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	464	住民1人当り(円)	201	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	32.4%		3,818	5,822	-
	事業費	67.6%		12,479	12,157	10,703
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	0	16,297	17,979	10,703	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	0	16,297	17,979	10,703	
活 動 配 分 (人)	職 員	91.7%		0.45	0.55	-
	嘱託・臨時等	8.3%		0.10	0.05	-
	合 計	100.0%	0.00	0.55	0.60	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	4		
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 要求件数 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 学習指導要領に併せた新しい教材購入等				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 予算の増額を強く要望する <input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-1	-2		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 契約検査課を通し執行している				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	財政面で毎年減額を迫られており,学校からの要求に十分に答えられていない。 どこかで削減に歯止めをかけないと,年々学校からの要望実態からかけ離れていくことになる。 各教科ごとの要望順位でいえば,第1位のものすら買うことが危うい状況にある。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	各小中学校				
	意見,要望内容	時代の変化に即応して考えると,児童生徒の理解を助ける教材備品が益々必要である。				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	16年度予算では,中学校は15年度並みの予算を要求し確保できた。			
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
	実施期限	平成	年	月		
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容				
	実施期限	平成	年	月		
平成17~19年度の方向性	市財政の方針を待たねばならないが,教育力の低下など学校批判に耐えるためには,その執行には慎重を期しながらも,増額を望みたい。 サッカーゴールの転倒による生徒の事故死等,学校の安全管理が厳しく問われている今日,老朽化した備品などは特に,要求に応じ買い換えていく必要性が高い。 社会科の掛地図や地球儀などは,世界で新しい国が誕生したり,市町村合併などで,新規のものが必要である。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	標準教材の活用状況を把握し,真に必要なものを購入してください。					

(一般事業)	事業コード	3120150
平成15年度	事業名	学校保健一般管理(助成含む)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	谷川 久吉		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3234
事業期間	平成15年4月~平成16年3月		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法, 学校保健法					委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		
委託						委託内容	心臓検診, 滅菌器具		
事業の概要	学校園における各種健康診断や検診の実施								
事業の現状	定期健康診断の実施(内科, 外科, 耳鼻科, 眼科, 歯科) 心臓検診の実施(1次~3次) 結核検診の実施 脊柱検査の実施 水質検査, 環境調査, 給食衛生検査の実施								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	定期健康診断の受診者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		5,979人	6,101人				
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	園児・児童・生徒及びその保護者							
	対象カバー率	対象数(a)	6,101人	受益数(b)	6,101人	比率(b÷a)%	100%		
	意 図 (対象を主語にして)	保護者が学校園に通う子どもの健康について現状を把握する							
大きな目的	園児・児童・生徒が健康を保ちつつ, 学校園生活をおくることができる。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	心臓検診で2次検診の受診者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	47人	49人	81人				
	最終成果 指 標	指標名	結核検診で精密検査受診者						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	75人	41人	30人				
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年度から文部科学省から通達で結核検診の方法が変わった。 結核対策検討委員会を設置し, 学校医からあがってきた検診対象者について検討している。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,534	住民1人当り(円)	1,096	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	39.6%	38,427	38,645	38,867	-
	事業費	60.4%	24,146	62,591	59,333	62,469
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	62,573	101,236	98,200	62,469
	国 庫	0.0%	36	39	33	30
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	62,537	101,197	98,167	62,439
	職 員	87.8%		0.36	0.36	-
活 動 配 分 (人)	嘱 託・臨 時 等	12.2%		0.10	0.05	-
	合 計	100.0%	0.00	0.46	0.41	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	5
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	1	1
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input checked="" type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 検診委託業者の検討	改善内容 コストの低い検診業者の選択	総合評価 A A

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	コストの削減		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	近隣各市の実施状況を把握し,効率及び経費の削減を図る。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
2次評価委員会コメント		統合/終期設定	
		廃止/休止	

(一般事業)	事業コード	3120170
平成15年度	事業名	学校給食関係事務

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実	記入者氏名	北尾 文孝		
体系	細			電話番号	0797-38-2087	内線	3243
事業期間	不明			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	学校教育法, 学校給食法, 就学困難な児童生徒に係る就学奨励について			実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護児童に対する給食費, 要保護生徒に対する昼食費の補助 ・ 安全・安心な給食実施のための機器・消耗品の補修・補充(人的配置) 						
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護児童に対しては給食費の, 要保護生徒に対しては昼食費の実費を補助している。 (補助月額 3600円 申請 417 認定 399 市内全児童数 3821人 全生徒数 1280人) ・ 安全な給食実施のため, 環境ホルモン溶出のおそれのない磁器食器により給食を実施している。 調理員が勤務できない場合, 予備の調理員を学校に派遣している。 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	補助支給人数(準要保護児童数, 要保護生徒数) 単位コストは年間児童1人当たり				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		353人	399人	412人	412人
	単位コスト		39,600円	39,600円	39,600円	39,600円	
	結果指標 (2)	指標名	給食磁器食器購入数(皿と碗の合計) 単位コストは平均購入額				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		3,334	3,217	3,405	3,200	3,000	
単位コスト	500円	500円	500円	500円	500円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	経済的困窮状態にある児童生徒及びその保護者					
	対象カバー率	対象数(a)	417件	受益数(b)	399件	比率(b÷a)%	95.6%
	意 図 (対象を主語にして)	児童生徒が学校において安心して給食や昼食をとることができる。					
大きな目的	経済的に就学が困難な家庭であっても, 子どもを安心して学校に通学させることができる。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	就学援助を希望する保護者に対しどれだけ補助できているか。 補助率(%)				
		考え方・式	受給者(人) ÷ 希望者(人) × 100				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値		93%	96%	97%	98%	
	最終成果 指 標	指標名	就学援助を希望した保護者の満足度				
		考え方・式					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値	不明	不明	不明	不明			
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	914	住民1人当り(円)	395	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	12.8%		6,655	4,517	-
	事業費	87.2%		30,314	30,879	27,555
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	0	36,969	35,396	27,555
	国 県	6.4%		2,590	2,275	2,275
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	93.6%	0	34,379	33,121	25,280
	職 員	80.4%		0.66	0.41	-
嘱託・臨時等	19.6%		0.10	0.10	-	
合 計	100.0%	0.00	0.76	0.51	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	5	4
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 尼崎市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 3700円/人 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由 芦屋市は準要保護児童数の割合が少ない。	-1	-1
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 磁器食器の破損率が高い	改善内容 他市町の磁器食器の調査研究	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	経済的困窮家庭が増加している。 磁器食器の破損率が高い。 買い替え時期を過ぎて,使用している調理器具の買い替えが出来ない。			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	学校給食理事会		
	意見,要望内容	安心な食器が望ましい。		
課題・要望等への対応	(1) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
	(2) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
	(3) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護基準の見直し ・補助単価の引き下げ 			
平成17~19年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度は現状維持 ・学校での給食指導を徹底し,磁器食器の破損率を下げる。 ・財政的な面から,できるだけ補修しながら機器を使いつづける。 	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	磁器食器の扱いについての指導を徹底してください。			

(一般事業)	事業コード	3120340
平成15年度	事業名	義務教育情報機器活用事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	北尾 文孝		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3243
事業期間	不明		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input checked="" type="checkbox"/>	臨時		
根拠法令・要綱等	学校教育法					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託	先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託			名称	<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	文部科学省の指針にそったコンピュータ及びネットワークの整備 コンピュータ及びネットワークを活用した授業の推進								
事業の現状	年次計画に沿って、文部科学省の設けた平成17年度をめどに整備を進めている。 コンピュータ室には40台、教室に普通学級数分のコンピュータを導入し、校内LANを整備する。 整備状況 PC整備済み校 H14(潮見中, 潮見小, 宮川小) H15(山手中, 朝日ヶ丘小) H16(精道中, 山手小, 岩園小, 打出 H17(浜風小) 精道小は建替に伴って整備 (校内LANはH16に精道小を除き整備を完了) 年間授業活用時間 中学校 約30時間 小学校 約20時間								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	コンピュータ設置台数(累計)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	380台	402台	467台	590台	690台		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	児童・生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	5,038人	受益数(b)	5,038人	比率(b÷a)%	100%		
	意 図 (対象を主語にして)	児童・生徒が、必要な時にコンピュータやネットワークを利用できるようにすること							
大 き な 目 的	児童・生徒がコンピュータやネットワークを利用することで、情報社会を生きる力を身につけること。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	コンピュータ1台あたりの児童・生徒数						
		考え方・式	児童生徒数(人) / 整備台数(台)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	10.99人	12.5人	10.8人	8.6人	7.6人			
	最終成果 指 標	指標名	コンピュータ使用に係る児童生徒の環境満足度						
		考え方・式							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	不明	不明	不明	不明	不明				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,168	住民1人当り(円)	505	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	8.1%		3,720	3,657	-
	事業費	91.9%	48,086	49,852	41,602	42,676
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	48,086	53,572	45,259	42,676
財 源 (千円)	国・県	3.4%	2,052	1,542	1,543	2,571
	市債等					
	その他					
一般財源	96.6%	46,034	52,030	43,716	40,105	
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%	0.36	0.36	0.36	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.36	0.36	0.36	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3	
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 情報社会の進展に即して指導内容を見直している。			
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	1	-2	
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少			
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 物品決定とリース契約の2段階で見積り合せをしている。			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 教員のコンピュータを活用する能力の向上 改善内容: 打出教育文化センターと連携した研修の実施	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	ネットワークの回線が,現在のブロードバンドのコンテンツを伝送するには少し不十分。 教師のコンピュータを使って授業を進める能力の向上			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	学校間及びインターネットとの接続回線の増強	
		実施期限	平成 年 月	
	(2)	対応内容	インターネット上のコンテンツを活用する授業の創造	
		実施期限	平成 年 月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
平成17~19年度の方向性	小中学校のコンピュータ及びネットワーク整備は計画通り進める。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	機器整備に合わせ教師の能力向上に努めてください。			

(一般事業)	事業コード	3120360
平成15年度	事業名	いきいき学校応援事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 学校教育課		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	山本 哲也		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3233
事業期間	平成14年4月～平成17年3月		経常臨時	<input type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時		
根拠法令・要綱等	学校教育法					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 _____ <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 _____								
事業の概要	地域の方や保護者などから協力を得て、学習の補助、校外学習の引率などの支援を受けての学習活動の充実								
事業の現状	地域の方や保護者などからの協力を得るための募集 各学校へ派遣 総合的な学習の時間などにおける補助								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	いきいき学校応援団導入実績数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		537人	1,710人	2,000人			
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市立小・中学校の児童生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	5,000人	受益数(b)	5,000人	比率(b÷a)%	100%		
	意 図 (対象を主語にして)	児童生徒の学習の一層の充実 保護者などが学校の様子の理解							
大 き な 目 的	学校教育の充実を図り、保護者・市民に信頼される学校づくりを目指す。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	児童生徒の意欲の高まり度						
		考え方・式	アンケート等により調査(統一した調査は未実施)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名							
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
芦屋市の特色など補足する事項	特になし 県下一斉実施								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	100	住民1人当り(円)	43	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	70.0%		1,862	2,717	-
	事業費	30.0%		1,119	1,166	1,265
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	0	2,981	3,883	1,265
	国 庫	14.9%		417	579	632
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	85.1%	0	2,564	3,304	633
	職 員	80.8%		0.15	0.21	-
配 分	嘱 託・臨 時 等	19.2%		0.10	0.05	-
	合 計	100.0%	0.00	0.25	0.26	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	0		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-1		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
効 率 性 3点	成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input checked="" type="checkbox"/> 特になし	0	-3		
	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由				
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	今後,ボランティア招聘は増加する一方であると考えられるが,それに伴う予算化				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	平成16年度限りの事業	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	平成16年度事業終了。				

(一般事業)	事業コード	3130010
平成15年度	事業名	生徒指導対策事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	春名 片史		
政策施策	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上			記入者氏名	石田 要		
体系	細					電話番号	0797-38-2087	内線	3233
事業期間	平成8年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法					委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託					委託内容	問題行動児童生徒への指導経費		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 名称								
事業の概要	芦屋市生徒指導連絡協議会の運営 小学校中学校児童生徒の生徒指導に関わる教師の勤務時間外の会議費用、家庭訪問、校外巡視、関係機関との連絡経費								
事業の現状	芦屋市生徒指導連絡協議会が開催する会議費 生徒指導に関わる時間外の緊急会議等 生徒指導に関わる時間外の緊急家庭訪問等 生徒指導に関わる時間外の校外巡視等 生徒指導に関わる時間外の関係機関との連絡調整等								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	巡回及び連絡会等の会回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		45回	48回				
	結果指標 (2)	指標名	家庭訪問回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		66回	71回				
	単位コスト		4,500	3,900					
	単位コスト		3,000	2,600					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内児童生徒							
	対象カバー率	対象数(a)	5,036人	受益数(b)	586人	比率(b÷a)%	11.6%		
	意 図 (対象を主語にして)	問題行動の発見、情報収集、不登校児童生徒への対応							
大きな目的	青少年の健全育成								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	問題行動件数(認知件数)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	136件	272件	277件				
	最終成果 指 標	指標名	問題行動指導人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	221人	500人	586人				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	125	住民1人当り(円)	54	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	90.5%		3,720	4,387	-
	事業費	9.5%		557	459	444
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	0	4,277	4,846	444
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
	一般財源	100.0%	0	4,277	4,846	444
活 動 配 分 (人)	職 員	89.1%		0.36	0.41	-
	嘱託・臨時等	10.9%		0.10	0.05	-
	合計	100.0%	0.00	0.46	0.46	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	3	3	
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 不登校児童生徒の増加に伴い家庭訪問の増加			
	優先性、緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 芦屋市生徒指導連絡協議会の開催 <input type="checkbox"/> 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 西宮市・尼崎市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由	-2	-3	
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容	市内の中等教育学校との連携 改善内容: 芦屋市生徒指導連絡協議会に県立芦屋国際中等教育学校の参加 私立学校との連携	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	市内の私立学校との連携がなかなかとれない。生徒指導上の問題が起きた場合、各学校ごとで行っている。				
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	芦屋市カウンセリングセンター			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	中学校生徒への学校指導		
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	小学校不登校児童への学校指導		
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	家庭の指導量の低下により問題行動の増加、不登校児童生徒の増加が考えられる。また、保護者が学校に対する要求も以前とは考えられないことも言うようになった。それに伴い教師の負担は大きくなり、勤務時間外での家庭訪問、問題行動に対する指導も増加している。今後、地域の方々とのお会合により地域に根ざした学校づくりも必要となる。勤務時間外での会合も増加してくると考えられる。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	小学校と中学校及び家庭との連絡を密にし、不登校生徒の指導・対応を検討してください。				

(一般事業)	事業コード	2520030
平成15年度	事業名	みどり学級の運営事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会学校教育課 みどり学級		
	中	5	障害者の社会参加の実現	所管課長氏名	益山 浩		
	小	2	教育・療育体制の充実	記入者氏名	益山 浩		
	細			電話番号	0797-32-0030 内線		
事業期間	昭和56年		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	芦屋しみどり学級運営要綱			委託			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由者の教育と訓練を行う。 ・学級は、乳幼児部、幼稚部、小学部、中学部、成人部で構成する。 ・芦屋市教育委員会が教育行政と福祉行政を一元化して学級を担当している。 						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、乳幼児部・幼稚部・小学部には在籍者なし。成人部11名と中学部2名が在籍する。 ・職員11名で、学級生の教育・訓練・看護・介護・学級バスによる送迎(9名)等を行っている。 ・パソコン技能やデジタルカメラの操作など新しい技術の習得にも力を入れている。 ・必要に応じて、ボランティアの協力を得ている。 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	学級生の在籍者数(人)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	14人	13人	13人	13人	13人
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	地域・在宅で、教育・訓練を必要とする肢体不自由者(児)					
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	13人	比率(b÷a)%		
	意 図 (対象を主語にして)	乳幼児から成人まで一貫した教育・訓練を行う。各人に応じた特別技能の育成、心身の充実を目指す。社会性を身に付け、行動範囲を広げる。地域との交流を図る。					
大 き な 目 的	肢体不自由者の生涯に渉る教育・訓練を行う。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	社会性・行動の変化率(%)				
		考え方・式	技能の習得等で社会性・行動に良い変化があった学級生の割合				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	23.8%	23.8%	38.46%		
		指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
芦屋市の特色など補足する事項	「住宅付き生涯学級」構想により学級が発足したが、現在は学級バスによる通級者が大部分である。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,648	住民1人当り(円)	712	平成16.4.1 住民基本台帳
事 業 費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	90.0%	53,420	53,718	57,480	-
	事業費	4.9%	3,233	3,108	3,116	2,925
	他部門経費					-
	減価償却費	5.1%	3,258	3,258	3,258	-
	合 計	100.0%	59,911	60,084	63,854	2,925
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	そ の 他					
活 動 配 分 (人)	一般財源	100.0%	59,911	60,084	63,854	2,925
	職員	50.0%	5.00	5.00	5.00	-
	嘱託・臨時等	50.0%	4.00	4.00	5.00	-
合 計	100.0%	9.00	9.00	10.00	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	2			
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である					
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している					
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容					
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3			
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 高い,または低い場合の理由	0	-2			
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少					
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である					
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている 内容:事務事業費の縮小					
平成15~16年度に実施した改善内容	15年度は理学療法士が不在であり,理学療法が行えなかった。 19年度以降の運営のあり方の検討。	改善内容	16年度は理学療法士が配置され,適切な対応ができています。 今後の運営について,検討を進めている。	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	平成19年度以降の学級の運営のあり方について,16年度中に決定する必要がある。 スクールバスが,排ガス規制により平成18年度中に使用できなくなるため,代替車が必要である。							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称							
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	今後の運営のあり方をみどり学級運営委員会,教育委員会等で検討し,新たに検討委員会も発足させる。					
		実施期限	平成	16	年	月		
	(2)	対応内容	市としての基本的な方向を決定する。					
		実施期限	平成	17	年	3月		
	(3)	対応内容						
		実施期限	平成		年	月		
その他考えられる改善のアイデア								
平成17~19年度の方向性	18年度までは,ほぼ現行通りの運営を続け,19年度より方向付けられた形で運営する。					今後の方向性	1次評価	2次評価
						拡大・充実		
						現状維持		
						方法改善		
						民間委託等		
						縮小		
					統合/終期設定			
					廃止/休止			
2次評価委員会コメント	平成16年度中に,教育委員会で,施設のあり方,運営主体,方法について検討し結論を出してください。							

(一般事業)	事業コード	3120200
平成15年度	事業名	打出教育文化センター一般事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 打出教育文化センター		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	上月 敏子		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	上月 敏子		
体系	細					電話番号	0797-38-7130	内線	
事業期間	平成2年10月		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	地公法39条 教特法19, 20条		打出教育文化センター条例			委託内容			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金			
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託			
事業の概要	・市立学校園の幼児・児童の情緒不安, 対人関係, 学習障害などに対するプレイセラピーによる教育相談 ・国・近畿・県・阪神各教育研究所連盟にかかる負担金								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・プレイセラピーによる相談は, 週3日(火・木・金)午後各4コマ ・平成15年度の相談件数は, 15組30名。延べ540回。幼児・児童が自分のペースで遊戯や遊びを中心とした活動をすることで心の安定を得, 発達を促す。対象は, 小学校入学前~小学校高学年の幼児・児童及びその保護者 ・全校教育書連盟, 近畿地区教育研究所連盟, 県内研究所連盟, 阪神地区教育研究所協議会に所属し, 内容や進め方を学ぶ。研修の交流や情報交換, 発表会, 講師による研修の延べ24回参加								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	プレイセラピー実施回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	540回	540回	540回	540回	540回		
		単位コスト	20,920	12,711	14,113				
	結果指標 (2)	指標名	プレイセラピーによる教育相談を受けた実人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値		40人	36人	30人	35人	35人			
	単位コスト	282,425	190,667	254,033					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	幼稚園~小学校 情緒不安, 学習障害等悩みのある幼児児童とその保護者					
	対象カバー率	対象数(a)	3912人	受益数(b)	30人	比率(b÷a)%	0.80%
	意 図 (対象を主語にして)	幼児・児童とその保護者が, 心の安定を得, 落ち着いた学校園生活を送ることができる。					
大きな目的	保護者の学校園への信頼度の増加。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	教育相談を受け心の安定を得た人の数				
		考え方・式	聞き取り調査				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					
	最終成果 指 標	指標名	保護者の学校園への信頼度				
		考え方・式					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値						
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	197	住民1人当り(円)	85	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内 訳 (千円)	人件費	71.1%	9,093	4,658	5,420	-
	事業費	28.9%	2,204	2,206	2,201	2,209
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	11,297	6,864	7,621	2,209
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	11,297	6,864	7,621	2,209
活 動 配 分 (人)	職 員	83.3%	0.60	0.40	0.50	-
	嘱託・臨時等	16.7%	3.35	0.10	0.10	-
	合 計	100.0%	3.95	0.50	0.60	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3	
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 幼児児童の成長に関しての相談内容が多様化してきている			
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-2	
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 各市教育相談所 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-3	
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし, 過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input checked="" type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 教育相談システムの見直し 市立学校園や関係機関との連携 改善内容: 一組がプレイセラピーを受ける回数を子どもの実態によって減らすことで, より多くの要望に応えるよう努めている。	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・教育相談の件数が増加の傾向にある。必要に応じて学校園と連絡をとりながら, 待たずに相談できる体制の工夫				
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	
その他考えられる改善のアイデア	・プレイセラピーによる相談日を増やす。 ・1人にかかる相談回数を子どもの実態によって減らす。				
平成17~19年度の方向性	・教育相談を受ける幼児・児童及び保護者の人数が増えるように, システムを変更していく。 ・他の研究所との連携を深め, 新しいテーマの研修や講師の情報をさらに増やしていく。 ・近畿・県・阪神各教育研究所連盟が中心となって行う研修会や発表会に指導主事が積極的に参加し, 芦屋市の研修に生かす。		今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			現状維持		
			方法改善		
			民間委託等		
			縮小		
			統合/終期設定		
			廃止/休止		
2次評価委員会コメント	カウンセリングセンター, 適応教室等との統合について検討してください。				

(内部事務)	事業コード	3130040
平成15年度	事業名	打出教育文化センター教育研究推進と研修事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 打出教育文化センター		
政策施策	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	上月 敏子		
体系	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上	記入者氏名	上月 敏子		
事業期間	平成2年10月	条令公布	経常臨時	☑ 経常	□ 臨時		
根拠法令・要綱等	芦屋市立打出教育文化センター条例 同施行規則			電話番号	0797-38-7130 内線		
実施手法	☑ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 補助金 □ 負担金			実施主体	教育委員会		
委託先	□ 外郭団体委託 名称		□ 民間委託 委託内容				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質の向上を実現するために、各分野の研修講座等を実施する。 ・研究員を委嘱し、現代の教育課題についての研究を深めるための援助、支援を行う。 ・新規採用教員に対して、教員としての使命・専門性の指導力の向上に向けての研修を実施する。 						
事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・研究部会...学級経営部会、情報教育部会、総合的な学習部会、基礎・基本研究部会 計4部会 29名、延べ21回 ・研修講座(対象:幼・小・中・高)...発達障害(LD, ADHD, 自閉症等)の理解と支援、子どもの人権-児童の虐待理科実験、心の教育、各教科指導、プレゼンテーションセンスアップ講座など一般研修 28講座、延べ655名 ・情報研修...30講座 276名参加。主に、ワード、エクセル、ホームページ作成、パワーポイント ・新規採用教員研修...授業公開し、講師による助言・指導を行い、指導力の向上を図る。計5回(新規採用教員8名) ・教科等研究会、教育講演会 延べ参加者404名 						
アクティブ指	活動指標	指標名	講座数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	38回	38回	58回	58回	58回
アウトプット指	結果指標	指標名	延べ受講者数(実人数)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	490人(178人)	703人(266人)	931人(255人)	950人(260人)	950人(260人)
		単位コスト	23,220(63,921)	19,139(50,583)	15,912(58194)		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員					
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	356人	受益数(b)	255人	比率(b ÷ a) %	72%
	意図	(対象を主語にして) 教職員一人一人の教育者としての指導力・資質・意欲が向上することを目的とする。					
大きな目的	教職員一人一人が、専門性・指導力を身につけ、資質の向上を図り、保護者の信頼を得る。						
アウトカム指	中間成果指標	指標名	研修参加率(%)				
		考え方・式	研修受講者数 / 芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員数 × 100				
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値	49%	71%	72%	75%	75%	
最終成果指標	指標名	「役に立った」と思う受講者の割合、実際に授業で生かした教師の数					
	考え方・式						
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	不明	不明	不明	-	-		
芦屋の特色など							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	382	住民1人当り(円)	165	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	81.0%	8,791	11,244	11,996	-
	事業費	19.0%	2,587	2,211	2,818	3,583
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	11,378	13,455	14,814	3,583
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	11,378	13,455	14,814	3,583
活動配分(人)	職員	92.0%	0.80	1.10	1.15	-
	嘱託・臨時等	8.0%	0.30	0.10	0.10	-
	合計	100.0%	1.10	1.20	1.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入			
	-成果向上余地(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし			
効率 率	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名 _____ 活動配分 _____ <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	2	-2
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名 _____ 単位コスト _____ <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
性 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 社会や教育の動向に合わせて講座を企画し,受講者数の増を図った。	<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題 教職員の研修参加の増 社会や時代のニーズに合った研修や幼児 児童・生徒の実情に対応した研修の企画	改善 内容 ・広報活動を強化 ・魅力ある研修の企画	総合 評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある講座内容の検討と参加・体験・演習を入れて身に付く研修, コンピュータを活用した授業の研修等の実施 ・情報モラル・メディアリテラシーなど時代に対応した研修の企画 ・各学校での授業研究会・教材研究会に参加し, 研修の実施 					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	教科等研究会との連携を図ることによる, 中学校教室の研修参加増を図る。					
	情報教育研修を山側と海側の小・中学校で行うことにより, 参加者の増を図る。					
	各幼・小・中学校への研修広報活動を行う。					
平成17~19年度の方向性	参加型演習など, 魅力ある研修の企画に努める。			今後の方向性	1次評価	2次評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の動向や受講者ニーズに合った研修内容や方法の工夫を図る。 ・教職員に授業に生かす情報活動能力をつけるとともに, 情報モラルやスキルの研修もを行い, 日常の授業に生かすようにする。 ・具体的に参加して, 身につく研修, 年代別に対象者をしぼった研修など焦点化を図る。 			拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
			縮小			
			統合/終期設定			
			廃止/休止			
2次評価委員会コメント	受講率の向上に努めて下さい。					

(内部事務)	事業コード	3130050
平成15年度	事業名	打出教育文化センター出版刊行事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会学校教育部 打出教育文化センター	
政策施策	中	1	学校教育の充実	所管課長氏名	上月 敏子	
体系	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上	記入者氏名	上月 敏子	
事業期	間	平成2年10月 条例公布		電話番号	0797-38-7130	内線
根拠法令・要綱等	地公法39条	教特法19,20条	打出教育文化センター条例	実施主体	教育委員会	
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	・市立学校園の幼児児童生徒の学力向上に関する出版物や、打出教育文化センターの研修に関する出版物の刊行 教員数(教諭・臨時講師)356人					
事業の現状	・打出教育文化センター研修講座の概要や事業報告のための「所報」を700部印刷し、芦屋市立幼稚園・小学校・中学校をはじめ、市内及び阪神間関係諸機関に配布 ・講座のまとめ、図書案内、事業概要					
目的実現のための手段及び実施内容						
アクティブ指標	活動指標	指標名	発行部数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
		指標値	800部	700部	700部	1300部
		単位コスト	9,195	11,079	9,576	
アウトプット指標	結果指標	指標名	出版物を読んだ教職員の数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
		指標値	362+50	364+50	356+50	351+50
		単位コスト	17,854	18,732	16,510	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員と関係機関				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	356+50	受益数(b)	356+50	比率(b÷a)%
	意図	芦屋市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教職員が、保育や授業に活用する。 (対象を主語にして)				
大きな目的	目的	教職員が研修に意欲的になり、市民や保護者の信頼を得る。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	研修に意欲を示した数(教員の数)			
		考え方・式	延べ受講者数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
		指標値	490	703	931	950
	最終成果指標	指標名				
		考え方・式				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
		指標値				
芦屋の特色など						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	173	住民1人当り(円)	75	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	98.7%	7,072	7,648	6,618	-
	事業費	1.3%	284	107	85	261
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	7,356	7,755	6,703	261
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	7,356	7,755	6,703	261
活動配分(人)	職員	85.7%	0.75	0.75	0.60	-
	嘱託・臨時等	14.3%	0.30	0.10	0.10	-
	合計	100.0%	1.05	0.85	0.70	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	3
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない		
	- 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 4点	活動配分(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市の教育研修所 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 活動配分: <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体より多い 多い, または少ない場合の理由	-3	-3
	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い, または低い場合の理由		
	手段(1~3) 直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: <input type="checkbox"/>		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 内容の見直し 改善内容: 具体的に教育活動に生かせる出版物の作成 ・「算数・数学教材」「発達障害パンフレット」作成 総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・小学校・中学校の児童生徒に, 小学校・中学校の系統を考慮基礎・基本の力をつけるための教材の作成 ・発達障害の理解と指導のためのパンフレットの作成			
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
	(2) 対応内容			
	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	対応内容	児童・生徒に基礎・基本の力をつける教材の作成		
	対応内容	多様な幼児児童生徒に応じた教育を進めるために教育相談ガイドブックの作成		
平成17~19年度の方向性	・幼児児童生徒の教育に資する刊行物の出版を考える。 ・内容の質の向上を図る。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	センター事業の成果を把握し, 授業に活かせる内容にするよう努めてください。			

(一般事業)	事業コード	3130060
平成15年度	事業名	打出教育文化センター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会学校教育部 打出教育文化センター		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	上月 敏子		
政策施策	小	3	教職員の資質と実践的指導力の向上			記入者氏名	上月 敏子		
体系	細					電話番号	0797-38-7130	内線	
事業期間	平成2年10月 条例公布		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時		
根拠法令・要綱等	地公法39条 教特法19, 20条					実施主体	教育委員会		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	
事業の概要	・打出教育文化センターの維持管理 ・貸室業務								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・電気設備, 消防設備, 清掃・窓口業務, 空調設備, 自動扉保守, 池管理 ・貸室による歳入 259,350円 ・保守点検回数(消防・窓ガラス・空調・植栽・池ろ過・電気設備)計19回・夜間警備週2回・清掃週4回								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	貸室利用状況(貸室数)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	310	291	374	380	380		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	貸室利用者数							
	対象カバー率	対象数(a)	2073	受益数(b)	374	比率(b÷a)%	18%		
	意 図 (対象を主語にして)	芦屋市民とその関係者が, 安全で美しい施設において, 様々な文化的活動を行い, コミュニティの場として活用する.							
大 き な 目 的	市民のいこいの場とする.								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	利用者数, 貸室希望者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							
	最終成果 指 標	指標名	市民・センター利用者の満足度						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							
芦屋市の特色など補足する事項	この施設は, 打出分室・大会議室・小会議室・和室・日本庭園があり, 様々な文化的, 教育的な利用が考えられる。 教育研修センターとしてのあり方を維持すると共に, 市民とリンクする芦屋独自の価値ある場としてとらえたい。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	433	住民1人当り(円)	187	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	58.6%	9,949	9,823	9,837	-
	事業費	41.4%	8,969	8,594	6,955	7,267
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合 計	100.0%	18,918	18,417	16,792	7,267
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	1.5%	212	195	260	
	一 般 財 源	98.5%	18,706	18,222	16,532	7,267
活 動 配 分 (人)	職 員	51.7%	0.85	0.75	0.75	-
	嘱託・臨時等	48.3%	0.05	0.70	0.70	-
	合 計	100.0%	0.90	1.45	1.45	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	3	2
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 指定団体の減免率の見直しを行った		
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	0
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由: _____	-2	-1
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 貸室を積極的に行うなど <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 ・経費の節減 ・貸室利用の広報活動	改善内容 ・清掃回数を週6回 4回 ・貸室件数のアップ ・貸室指定団体減免率5割減 3割減	総合評価 B D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> 貸室件数の増 維持運営のコスト削減 水道、ガス、電気使用料金の節約 			
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	打出小槌町自治会		
課題・要望等への対応	意見、要望内容	土曜日夜の使用を希望する 文化祭でバザーを開きたい ピアノコンサートの希望 自治会の道具を置く場所の希望		
	(1) 対応内容	は管理上できない 防音設備・ピアノが設置されていない 公園緑地課へ連絡をとってほしい		
	実施期限	平成	15年 6月	
	(2) 対応内容			
実施期限	平成	年 月		
(3) 対応内容				
実施期限	平成	年 月		
その他考えられる改善のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 庭園管理のボランティア導入。 土曜日夜の貸室を自治会の自主管理とする。 			
平成17~19年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 経費の節約に努める。 貸室件数のアップを目指す。 	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
統合/終期設定				
廃止/休止				
2次評価委員会コメント	民間活力導入の検討をしてください。			

(一般事業)	事業コード	3120400
平成15年度	事業名	市立芦屋高校維持管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会 芦屋市立芦屋高等学校		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	山口 俊春		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	山口 俊春		
体系	細					電話番号	32-1131	内線	
事業期間	昭和37年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	学校教育法, 高等学校設置基準					委託先	<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称						
事業の概要	校舎・校庭等の維持管理を行い, 教育環境の整備・充実を図る。								
事業の現状	警備に要する委託料 2,340千円(2件) 1学年 37人 64名 2学年 37人 75名 管理に関する委託料 494千円(4件) 3学年 27人 48名 計187名 運動場用地借上料 13,918千円(1件) 維持補修工事費 796千円 教諭数 23名 その他、日常業務として校舎・校具等の補修・維持管理に努める。								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	生徒数の推移(定数240名)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	193名	200名	187名	182名	112名		
	結果指標(2)	指標名							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	全校生徒(定数240)及び教職員							
	対象カバー率	対象数(a)	240人	受益数(b)	187人	比率(b÷a)%	78%		
	意図 (対象を主語にして)	最小の経費で, 安全・快適な学校環境を提供する。							
大きな目的	維持管理に要する経費を削減し, 尚且つ安全・快適な学校環境を整備する。								
アウトカム指	中間成果	指標名	維持管理経費						
		考え方・式	維持管理に要する経費の削減						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果	指標名	維持管理コスト						
		考え方・式	維持管理に要する経費を, 全国平均(187, 433円/生徒1人)にする。						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	237596	219404	201904	197146	187000				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,251	住民1人当り(円)	541	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	48.2%	25,573	23,983	23,361	-
	事業費	51.8%	31,450	28,674	25,096	26,444
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	57,023	52,657	48,457	26,444	
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	57,023	52,657	48,457	26,444	
活動配分 (人)	職員	100.0%	2.50	2.90	2.90	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	2.50	2.90	2.90	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	0	2	
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容			
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	4	
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 全国平均 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	0	0	
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 廊下等の消灯を行い節電を徹底している <input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 国有地を運動用地としての借地料の課題 改善内容: 関係所管課で今後の方向性について協議 教諭数: 教諭4名減員	総合評価	D	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	平成16年度入学生をもって新入生の募集を停止する予定。 国有地の借地料と原状回復工事費の比較			
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容		
		実施期限	平成	年
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成	年
	(3)	対応内容		
		実施期限	平成	年
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	維持管理に要する経費の削減に向けた取り組みを今年度中に検討する。 また,廊下等の消灯を行い節電を徹底する。 最小の経費で,安全・快適な学校環境を提供する。 平成19年3月31日付けで閉校	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	閉校に合わせ準備を進めてください。			

(一般事業)	事業コード	2410210
平成15年度	事業名	校庭開放事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	教育委員会社会教育部 生涯学習課		
	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現			所管課長氏名	石濱 正昭		
	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			記入者氏名	石濱 正昭		
	細					電話番号	0797-38-2091	内線	3271
事業期間	平成4年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	校庭開放事業実施要綱					委託	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	運営管理業務	
事業の概要	放課後などに、芦屋市立小学校の校庭を児童に開放する事業								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	校庭開放事業 期間及び時間【各校に校庭開放管理人を置く】 <平日> 午後4時～6時まで(ただし、11月は午後5時まで) 第2・4週の土曜日 午前9時～12時まで <土曜日> 午後4時～6時まで(ただし、11月は午後5時まで) 第1・3・5週の土曜日(各学校ごとに開放しない週があります) ・実施しない日 春休み・夏休み・冬季(12月～2月)・創立記念日・代休日・休日 ・実施しない日 春休み・夏休み・冬休み・創立記念日・休日								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	チラシ配布回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1件	1件	1件	1件	1件		
	結果指標 (2)	指標名	校庭開放日数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	148日	149日	147日	144日	144日		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内在住の児童								
	対象カバー率	対象数(a)	3,751人	受益数(b)		比率(b÷a)%				
	意 図 (対象を主語にして)	児童が健康で明るく楽しい仲間づくりができる								
大きな目的	芦屋市立小学校の校庭を開放することにより、児童が健康で明るく楽しい仲間づくりができ、児童の遊び場が確保できる									
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	校庭開放に参加した児童							
		考え方・式	校庭開放に参加した延べ児童数							
	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
	指標値		20,040人	20,721人	22,000人	23,100人				
	最終成果 指 標	指標名	屋外で遊ぶこどもの割合(調査対象:小学5年生)							
考え方・式		友達と外で遊ぶこどもの割合(平成15年度芦屋市立小中学校学習状況及び生活・意識調査から「週に3,4回遊ぶ」)								
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値			38.5%							
芦屋市の特色など補足する事項										

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	130	住民1人当り(円)	56	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)		
	人件費	55.3%	3,095	2,586	2,792	-		
	事業費	44.7%	2,185	2,263	2,254	2,587		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
	合計	100.0%	5,280	4,849	5,046	2,587		
財 源 (千円)	国・県							
	市債等							
	その他	0.1%		16	7			
	一般財源	99.9%	5,280	4,833	5,039	2,587		
活 動 配 分 (人)	職員	50.0%	0.20	0.20	0.20	-		
	嘱託・臨時等	50.0%	0.20	0.20	0.20	-		
	合計	100.0%	0.40	0.40	0.40	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 20,721人 <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 安全面に配慮し,校庭開放管理人を配置している。				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	-2	-4		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	現在、校庭開放管理人（有償）を配置しているが、将来的には、地域ボランティアでの運営を検討する					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	校庭開放中に、地域のお年寄りに来てもらい駒まわしや竹とんぼ教室などを開催してはどうか					
平成17~19年度の方向性	現在、校庭開放管理人（有償）を配置しているが、将来的には、地域ボランティアでの運営を検討する			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	地域ボランティアでの運営を検討して下さい。					

(一般事業)	事業コード	2420020
平成15年度	事業名	子育てセンター運営事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会社会教育部 生涯学習課		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現	所管課長氏名	石濱 正昭		
政策施策	小	2	子育て支援のネットワーク化	記入者氏名	藤原 礼子		
体系	細			電話番号	0797-38-2091 内線 3271		
事業期間	平成4年度から		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	芦屋市子育てセンター設置要綱						
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 子育てホットライン						
事業の概要	核家族化や少子化などにより、子育てに不安を感じたり、悩みを持っている親の相談に対応する。また、親同士・子ども同士がお互いに遊びを通してふれあひながら交流を深める。親以外の者と関わることにより、地域社会のなかで生きていける力が育つように乳幼児期の子育てを支援する。						
事業の現状	平成15年度においては、 ・子育て相談 691件(内ホットライン71件) ・なかよしひろば開催 296回 延参加者18,412人 ・なかよしグループ 15グループ ・季節の行事や講演会 14回 参加者3,327人 ・子育て情報誌の発行 年4回 ・アドバイザー(嘱託)2名 ・アシスタント(臨職日々雇用)9人						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	延利用者				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	32,165人	35,191人	38,115人	39,067人	40,020人
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	就学前児童を持つ世帯数					
	対象カバー率	対象数(a)	5,426世帯	受益数(b)	ひろば参加者1,356人	比率(b÷a)% 25%	
	意 図 (対象を主語にして)	就学前の子どもを持つ親の子育てに関する不安が解消される。子育てに関する知識を得たり、方法が解かるようになる。同じように子育て中の親との交流を深める。乳幼児期の子どもの社会性を育てる。					
大きな目的	乳幼児期における子育て支援						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	なかよしひろばの年間延参加者(人)				
		考え方・式	平成15年度実施の子育て支援に関するアンケート調査におけるひろば参加経験者が回答数の約25%であったことを受けて。				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	18,629人	19,304人	18,412人	20,500人	24,000人	
	最終成果 指 標	指標名	なかよしひろば年間延参加者				
考え方・式		子育てセンター事業の認知度を現在の60%弱から約65%まで高める。					
芦屋市の特色など補足する事項	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値			3,168	3,364	3,526	
子育てセンターとして独自の建物を持たず、既設の幼稚園施設等を利用して、なかよしひろばの開設や、自主活動グループ"子育てグループ"の支援を行っている。 平成14年度からは緊急雇用創出事業補助金の対象事業として子育てホットラインを開設している。平成16年度で同補助金事業が終了するため、平成15年度から、子育て支援ボランティア育成事業を実施し、子育てホットライン事業をボランティアで実施出来るように準備を進めている。							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	413	住民1人当り(円)	178	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	59.8%	9,413	9,469	9,556	-
	事業費	40.2%	4,109	6,743	6,432	7,169
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	13,522	16,212	15,988	7,169
財 源 (千円)	国・県	22.6%	2,500	3,840	3,610	
	市債等					
	その他					
活 動 配 分 (人)	一般財源	77.4%	11,022	12,372	12,378	7,169
	職員	9.1%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等	90.9%	2.00	2.00	2.00	-
合計	100.0%	2.20	2.20	2.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価			
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	7	7			
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である					
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 年間参加者数 38115名					
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容 児童虐待防止ネットワーク,幼稚園,保健センター等と連携を行っている。					
	優先性,緊急性(1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる					
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3			
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定					
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える					
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし					
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-3	-5			
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input checked="" type="checkbox"/> 徴収可能)					
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である					
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容					
平成15~16年度に実施した改善内容	子育てを支援するボランティアを育成している。	改善内容	芦屋市家庭教育推進協議会と連携し,子育て支援ボランティア養成講座を開講している。	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	子育てセンター事業の認知度が60%弱なので60%を上回るように高める。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	お困りです課にe-MAILで投書があった				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	子育てセンターのホームページを開設し,他の子育て支援事業とリンクさせる。			
		実施期限	平成	16	年	7
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成		年	
(3)	対応内容					
	実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	市長部局,教育委員会とそれぞれ違った形で子育て支援を行っている。ひとつにまとめることが望ましい。上記とも関連するが,要観察の必要なケースがあった場合に,他の部署との連携の強化を進める。					
平成17~19年度の方向性	認知度を高めるため子育てセンターのホームページを開設する。	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
2次評価委員会コメント	市長部局,教育委員会とそれぞれ違った形で子育て支援を行っており,事業の整理統合が必要です。また運営主体はボランティア,NPOに任せる等の検討をし,コスト削減に努めてください。	統合/終期設定				
		廃止/休止				

(内部事務)	事業コード	3210280
平成15年度	事業名	三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部生涯学習課		
政策施策	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	石濱 正昭		
体系	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	石濱 正昭		
事業期間	細			電話番号	0797-38-2091	内線 3271	
根拠法令・要綱等	平成13年～			実施主体	市		
実施手法	経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/>	経常	<input type="checkbox"/>	臨時		
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容	管理業務	
事業の概要	芦屋市役所三条分室及び芦屋市立三条デイサービスセンターの維持管理(元三条小学校)						
事業の現状	三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理(三条デイサービスセンターは保健福祉部所管) ・施設補修 三条分室 三条コムスク事務室、会議室 ・各設備等保守点検 文化財課事務室、倉庫 ・清掃 グリーンベルト関係会議室など ・夜間機械警備						
アクティブ指標	活動指標	指標名	施設の巡回点検件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		6件	6件	6件	6件
アウトプット指標	結果指標	指標名	補修件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値		1件	1件	1件	1件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	三条分室及び三条デイサービスセンター				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)		受益数(b)		比率(b ÷ a) %
	意図	施設、設備を良好に維持管理する (対象を主語にして)				
大きな目的	利用者が安心快適に利用できるようにすることにより、利用者の増加を目指す					
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	利用者の満足度			
		考え方・式	施設に対する苦情件数。			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値		1件	0件	0件	0件
最終成果指標	指標名	利用者数				
	考え方・式	利用者の満足度が向上することによる利用者数の増加、未調査のため実績不明				
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値						
芦屋の特色など						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	240	住民1人当り(円)	104	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	47.0%		4,230	4,374	-
	事業費	49.3%		3,463	4,590	4,152
	他部門経費	3.6%			338	-
	減価償却費	0.0%			0	-
	合計	100.0%	0	7,693	9,302	4,152
財源(千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
	一般財源	100.0%	0	7,693	9,302	4,152
活動配分(人)	職員	81.8%		0.45	0.45	-
	嘱託・臨時等	18.2%		0.00	0.10	-
	合計	100.0%	0.00	0.45	0.55	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3		
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言えない						
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効率性 4点	活動配分(1~1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名 活動配分 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	-2	-3		
	単位コスト(1~1)	<input type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名 単位コスト <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
手段 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容						
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	B	B		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	三条コミスクの利用頻度は高いが、その他の施設は低い(三条デイサービスセンターを除く)					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	「指定管理者制度」の検討					
平成17~19年度の方向性	三条デイサービスセンター, コミスク関係施設, 文化財課が使用しているが, 芦屋市役所三条分室という名称から市管財課が管理の方が効率的な維持管理ができるのではないかと。民間活力の導入も検討していく。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度導入の検討をしてください。					

(一般事業)	事業コード	3230010
平成15年度	事業名	コミュニティ・スクール関係

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	生涯学習課			
政策施策	小	3	地域活動との連携・支援	所管課長氏名	石濱 正昭		
体系	細			記入者氏名	原田 逸郎		
事業期間	昭和53年~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-38-2091 内線 3272		
根拠法令・要綱等				実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	・地域の中心である学校を拠点とした、住民の自主的な社会教育活動を振興し、住民が連帯して自らの手でまちづくりを という自治意識の高揚を図ると共に、学校自体が住民の生涯教育の一環を担うことも絡め、学校を地域に開放している ・コミュニティ・スクールの自主的な運営に対する援助及び助成を行う						
事業の現状	市内9小学校区の各コミュニティ・スクールの自主的な運営のための経費の一部を補助した コミュニティ・スクールの活動に対する助言を行った 活動の拠点として小学校の施設を開放した						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	コミュニティ・スクール登録団体数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	298団体	307団体	315団体	315団体	315団体
	結果指標 (2)	指標名	コムスク事業数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	131事業	135事業	137事業	132事業	132事業

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	コミュニティ・スクール					
	対象カバー率	対象数(a)	9	受益数(b)	9	比率(b÷a)%	100%
	意 図 (対象を主語にして)	コミュニティ・スクールの運営を、地域の住民が自主的に運営できるよう側面から援助・助成する					
大 き な 目 的	地域住民の組織的な教育活動をより活発にする						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名					
		考え方・式					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	コムスク事業参加者数				
		考え方・式	自主的な社会教育団体としての活動の拡充・強化がなされる				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	274	住民1人当り(円)	118	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	56.8%	5,924	5,876	6,027	-
	事業費	43.2%	5,817	5,066	4,580	4,543
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
	合計	100.0%	11,741	10,942	10,607	4,543
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他	0.3%			33	
	一般財源	99.7%	11,741	10,942	10,574	4,543
活 動 配 分 (人)	職 員	36.8%	0.40	0.35	0.35	-
	嘱託・臨時等	63.2%	0.50	0.50	0.60	-
	合計	100.0%	0.90	0.85	0.95	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	3	3	
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 市民参画の視点から住民自らの主体的な生涯学習の事業企画・運営を行っている			
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	1	1	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している			
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	-1	-1	
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり			
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている			
平成15~16年度に実施した改善内容	職員の間わりを出来るだけ抑制する 改善内容: 各コミスクの行事への職員の参加を総会等の重要なものに限定した	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	住民自らがコミスクを運営していくものであることを再認識してもらう コミスク参加者数の確認					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	意見、要望内容				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	行政に対する要求について、行政が対応すべきこととコミスクで対応すべきこととの分けを、要求ごとに明確にする			
		実施期限	平成 17 年 3 月			
	(2)	対応内容	事業報告書に参加者人数の確認を各代表者へ依頼			
		実施期限	平成 16 年 7 月			
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成 年 月			
その他考えられる改善のアイデア	参加者アンケート等により満足度を把握する					
平成17~19年度の方向性	各コミスクの事業について、自主的に運営がなされており、その事業も年々充実していることから、現状のまま行政側の間わりを出来るだけ抑制した側面からの支援にとどめ、各事業がより自主的に且つ充実したものにす			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
2次評価委員会コメント	(中間成果指標の記入がないため有効性評価が低くなっています。指標設定を検討して下さい。)自主運営できるような機会あるごとに働きかけ、検討を進めてください。					

(一般事業)	事業コード	3210210
平成15年度	事業名	市民センター管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 市民センター		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	小山 忠寛		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	川田 正美		
体系	細			電話番号	0797-31-4995	内線	91503
事業期間	昭和38年11月~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	芦屋市民センター運営条例(市民会館条例, 市立公民館設置条例等)			委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 委託内容		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			事業の概要			
委託	公立文化施設・社会福祉施設の維持管理						
事業の現状		生涯学習・社会福祉活動の場の提供及び芸術・文化に関するイベント・セミナー等の開催支援					
目的実現のための手段及び実施内容		施設管理 敷地面積 7,312㎡, 延床総面積 11,079㎡ 受付 利用件数 39,962件					
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	貸室数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	28,866室	28,943室			
	結果指標 (2)	指標名	利用人数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	14,548人	15,194人	15,839人	16,200人	16,350人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	市民センター施設及びその利用者					
	対象カバー率	対象数(a)	89,625人	受益数(b)	15,839人	比率(b÷a)%	17.7%
	意図	市民センターの施設, 設備を良好に維持し, 来館者が安全・快適に利用できるようにする。 (対象を主語にして)					
大きな目的	市民の生活文化の向上と教育の振興						
アウトカム指	中間成果	指標名	利用率(%)				
		考え方・式	利用室数 / 全室数 × 100				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	50.4%	52.5%	54.5%	55.7%	56.2%	
	最終成果	指標名					
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	3,697	住民1人当り(円)	1,598	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳 (千円)	人件費	6.8%		10,405	9,680	-					
	事業費	93.2%	145,578	163,808	133,572	139,825					
	他部門経費					-					
	減価償却費					-					
	合計	100.0%	145,578	174,213	143,252	139,825					
財源 (千円)	国・県										
	市債等										
	その他										
活動配分 (人)	一般財源	100.0%	145,578	174,213	143,252	139,825					
	職員	100.0%			1.00	-					
	嘱託・臨時等					-					
合計	100.0%	0.00	0.00	1.00	0.00						

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	2		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している				
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	4	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している				
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	0	-1		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について				
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	市民会館は昭和38年,ルナ・ホールは昭和45年に建築され,矩体部分の至るところに老朽化が進んでいる。更に,各種機器・装置についても経年劣化に伴う故障が頻発している状況である。安全の確保,緊急性,重要性を踏まえた計画的な改修・補修工事が必要。					
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称					
課題・要望への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容	実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容	実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	平成18年度からの実施にむけて,民間活力の導入を検討する。	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実				
		現状維持				
		方法改善				
		民間委託等				
		縮小				
		統合/終期設定				
		廃止/休止				
2次評価委員会コメント	指定管理者導入に向け検討を進めてください。					

(一般事業)	事業コード	3260020
平成15年度	事業名	発掘調査の円滑化

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 文化財課		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	西川 孝夫		
政策施策	小	6	文化財等の保存活用	記入者氏名	西川 孝夫		
体系	細			電話番号	0797-31-9066	内線	3261
事業期間	昭和23年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	文化財保護法			実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	<input type="checkbox"/> 民間委託委託内容			
事業の概要	公共工事・民間住宅建設に伴って、埋蔵文化財包蔵地内で調査が必要な箇所の発掘調査を行う。 発掘調査は、現場調査、遺物等整理作業、調査結果の公表(報告書の発行等)の3過程に分れる。						
事業の現状	埋蔵文化財の発掘調査により芦屋の歴史を知る意義をPRする。 埋蔵文化財包蔵地内での建設事業予定者との事前協議(時期、調査範囲、費用)を行う。 平成15年度発掘調査件数は21件。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	作業日数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	256日	311日	301日	300日	280日
	結果指標 (2)	指標名	遺物整理個数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	6000個	5760個	5600個	5000個	5000個
単位コスト	1.1千円	1.1千円	1.0千円	1.0千円	1.0千円		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	埋蔵文化財包蔵地内での建設事業予定で、遺物を破壊するもの。					
	対象カバー率	対象数(a)	128件	受益数(b)	21件	比率(b÷a)%	16.40%
	意 図 (対象を主語にして)	建設事業予定者が埋蔵文化財包蔵地で事業を予定していないかを知り、正しく申請を行う。					
大きな目的	文化財の保護の向上						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	進捗率(%)				
		考え方・式	調査面積÷調査必要面積×100				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	100%	100%	100%	100%	100%	
	最終成果 指 標	指標名	公開、展示回数				
		考え方・式					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値	6回	7回	5回	5回	5回		
芦屋市の特色など補足する事項	大規模調査は他の調査機関に委託している。 例 山手幹線 - - - 神戸市教育委員会						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	1,474	住民1人当り(円)	637	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	37.9%	25,028	29,974	21,621	-
	事業費	62.1%	55,486	47,999	35,498	25,000
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	80,514	77,973	57,119	25,000
	国 庫	46.6%	41,250	36,000	26,600	18,750
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	53.4%	39,264	41,973	30,519	6,250
	職 員	48.1%	2.40	2.75	1.85	-
合 計	嘱託・臨時等	51.9%	2.10	3.00	2.00	-
	合 計	100.0%	4.50	5.75	3.85	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	3
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	1	-1
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 年間の単価表の見直し <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 過去のデータの電算化	改善内容 これまで調査したデータをGIS地図に電算入力し,誰でも情報を見ることができるようにする。	総合評価 C B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	積算基準に従って調査をすること。 調査報告書を早期に出すように工夫すること。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	GIS地図情報を完成さす。
		実施期限	平成 18 年 3 月
	(2)	対応内容	積算基準に従って調査をすること。
		実施期限	平成 17 年 3 月
	(3)	対応内容	大規模で受益者負担の調査は他の調査機関に委託する。
		実施期限	平成 17 年 3 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	大規模で受益者負担の調査は他の調査機関に委託する。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	対費用効果も考慮に入れ,他の調査機関への委託範囲を拡大してください		

(一般事業)	事業コード	3260030
平成15年度	事業名	市内文化財の保護

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 文化財課		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	西川 孝夫		
政策施策	小	6	文化財等の保存活用	記入者氏名	西川 孝夫		
体系	細			電話番号	0797-31-9066	内線	3261
事業期間				経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	芦屋市文化財保護条例、同施行規則、芦屋市文化財補助金交付要綱			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	埋蔵文化財試掘調査を行う。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	埋蔵文化財包蔵地内で埋蔵物が建築等で破壊されるかの見極め調査を行う。年間58箇所						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	試掘調査件数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	57件	50件	58件	50件	50件
	結果指標 (2)	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	57件	50件	58件	50件	50件
		単位コスト	165千円	187千円	80千円	100千円	100千円

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	埋蔵文化財包蔵地内で建築等の予定者					
	対象カバー率	対象数(a)	128件	受益数(b)	58件	比率(b÷a)%	45.30%
	意 図 (対象を主語にして)	建設事業予定者が埋蔵文化財包蔵地内で事業を予定していないかを知り、正しく申請を行う。					
大きな目的	芦屋の歴史紐解くため、建築事業予定者の協力を得ながら調査を行い、歴史的、学術的な意義を明らかにしていく。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	記録・保存された箇所数				
		考え方・式	試掘した件数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	57件	50件	58件	50件	50件
		考え方・式					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	269	住民1人当り(円)	116	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	32.7%	2,771	3,410	3,408	-		
	事業費	67.3%	6,640	5,984	7,000	7,235		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	9,411	9,394	10,408	7,235			
財 源 (千円)	国・県							
	市債等							
	その他							
一般財源	100.0%	9,411	9,394	10,408	7,235			
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%	0.30	0.35	0.35	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.30	0.35	0.35	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3		
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	3		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	3	-1		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている 内容 年間の単価表の見直し <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	A	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	調査結果を活用すること。 積算基準に従って調査すること。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	GIS地図上に調査結果を入力し,活用を図ること。				
		実施期限	平成	18	年	3	月
	(2)	対応内容	積算基準に従って調査すること。				
		実施期限	平成	17	年	3	月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	上記の「現在認識している課題」のとおり。			今後の方向性	1次評価	2次評価	
				拡大・充実			
				現状維持			
				方法改善			
				民間委託等			
				縮小			
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	調査結果の公表を早期にできるよう努めてください。						

(一般事業)	事業コード	2410160
平成15年度	事業名	青少年育成事業(小・中学生レクリエーションキャンプ)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会社会教育部
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現		スポーツ・青少年課
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	所管課長氏名	福田 三千男
体系	細			記入者氏名	白川 誠二
事業期間	昭和43年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22 0358 内線 92-200
根拠法令・要綱等	社会教育法, スポーツ振興法			実施主体	市
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金				
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容				

事業の概要	異年齢集団による集団生活・集団活動を通し、豊かな心や自立心を育む				
-------	----------------------------------	--	--	--	--

事業の現状	小学4年生から中学生3年生40人を対象に2泊3日のテント生活を体験する。 キャンプ中の行動は、野外炊事を含め班単位で行動する。 実施場所は、丹波少年自然の家				
-------	--	--	--	--	--

アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	受け入れ可能人数(貸切バス1台に乗れる人数)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	40人	40人	40人	40人	40人
	単位コスト	82,675円/人	73,675円/人	47,300円/人	-	-	
	結果指標 (2)	指標名	参加者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		38人	33人	29人	40人	40人	
単位コスト	87,026円/人	89,303円/人	65,241円/人	-	-		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内在住の小学4年生～中学3年生					
	対象カバー率	対象数(a)	3,000人	受益数(b)	29人	比率(b÷a)%	0.97%
	意図(対象を主語にして)	参加者が、共同生活や野外活動を通して生きる力を育む					

大きな目的	心豊かな生きる力を持つ児童を育成する				
-------	--------------------	--	--	--	--

アウトカム指	中間成果	指標名	参加者数(代替指標)				
		考え方・式	参加者・保護者の満足度				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	38人	33人	29人	40人	40人	
	最終成果	指標名					
		考え方・式					
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値							

芦屋市の特色など補足する事項					
----------------	--	--	--	--	--

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	52	住民1人当り(円)	22	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	71.2%	2,639	2,315	1,430	-		
	事業費	28.8%	820	764	578	800		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	3,459	3,079	2,008	800			
財源	国・県							
	市債等							
	その他	5.8%	152	132	116			
一般財源	94.2%	3,307	2,947	1,892	800			
活動配分(人)	職員	100.0%	0.37	0.25	0.15	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.37	0.25	0.15	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	0	-1	
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		0	-1	
	受益者(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市町 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-3	-5	
	受益者負担(0~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	参加者の健康維持(慣れないテント泊のため,体調を崩しやすい) 野外活動センターで実施していた事業であるが,現在,野外活動センターが使用できないため,規模を縮小して実施している。 費用の応分の負担。					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
	意見,要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	参加費を3,500円に引き上げ。			
		実施期限	平成	9	年	
	(2)	対応内容	参加費を4,000円に引き上げ。			
	実施期限	平成	13	年		
	(3)	対応内容				
	実施期限	平成		年		
その他考えられる改善のアイデア	市子ども会連絡協議会に事業の実施を委託する。					
平成17~19年度の方向性	日頃体験することの機会が少ないテントによる共同生活体験は,体験を通じて子ども自らが社会性,協調性,創造性,自主性などを育むことができる事業である。 本来,野外活動センターで実施していた事業であるが,震災による被害のため施設を使用することが出来ないため,現在丹波少年自然の家で実施している。 参加費は,職員や指導補助員の人件費を除いた費用の1/2を負担してもらっているが,今後負担割合の見直しを図りながら事業を継続する。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	事業の趣旨は理解できるが,参加率から見ても廃止または休止を検討してください。					

(一般事業)	事業コード	2410170
平成15年度	事業名	青少年育成事業(手作り教室等)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	教育委員会 社会教育部		
総合計画	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐむ社会の実現				スポーツ・青少年課		
政策施策	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進			所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細					記入者氏名	白川 誠二		
事業期間	昭和39年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22 0358	内線	92-200
根拠法令・要綱等	社会教育法					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	自然・環境, 郷土, 情報通信技術等への理解を深めるとともに参加者の交流を深める。								
事業の現状	学校完全5日制に対応する事業として土曜日に実施。 小学生を対象に, 囲碁, 将棋, IT教室, クリスマス交流会, ハイキング等を実施。 囲碁, 将棋, IT教室は6回のシリーズとして実施した。 定員を定めて公募している。								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	事業数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	10事業	10事業	7事業	5事業	5事業		
	結果指標(2)	指標名	参加者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	945人	406人	180人	200人	200人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内在住の小学1年生～6年生							
	対象カバー率	対象数(a)	3,800人	受益数(b)	180人	比率(b÷a)%	0.05%		
	意図(対象を主語にして)	自然・環境, 郷土, 情報通信技術等への理解を深めるとともに参加者の交流を深める							
大きな目的	社会性, 協調性, 創造性, 自立心など豊かな心を持つ児童を育成する。								
アウトカム指	中間成果	指標名	児童・保護者の満足度						
		考え方・式	アンケートの実施						
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	指標値								
最終成果	指標名								
	考え方・式								
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

					1世帯当り(円)	59	住民1人当り(円)	25	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)				
	人件費	86.7%	4,117	3,122	1,980	-			
	事業費	13.3%	672	187	304	232			
	他部門経費					-			
	減価償却費					-			
合計	100.0%	4,789	3,309	2,284	232				
財源	市債等								
	その他	2.1%	59	55	49				
	一般財源	97.9%	4,730	3,254	2,235	232			
活動配分(人)	職員	100.0%	0.52	0.35	0.20	-			
	嘱託・臨時等					-			
	合計	100.0%	0.52	0.35	0.20	0.00			

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	0	0	
	市関与(2~ 2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		-2	-2	
	受益者(1~ 1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市町 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 1人当たり経費 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-1	-4	
	受益者負担(0~ 1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~ 3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~ 1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	定員を定めた事業で,当日キャンセルする子どもが多い。(当日キャンセル者へのペナルティーの検討) 児童センター,公民館等でも小学生を対象に事業を実施することがあり,重複しないよう事前調整する必要がある。 学習活動支援整備整備事業により整備したパソコンの活用促進。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	意見,要望内容					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	開催希望が多かった,将棋教室,囲碁教室を開設				
		実施期限	平成	14	年	4	月
	(2)	対応内容	学習活動支援整備整備事業により整備したパソコンの使用状況について会計検査院から活用促進を図るよう指示があったので,子どもパソコン教室を定期的開催する。				
		実施期限	平成	15	年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	学習活動支援整備整備事業の会計監査の指摘を踏まえ,パソコンを活用促進として,定期的に事業を実施するとともに,一般貸出しを検討する。 所管している将棋・囲碁盤,天体望遠鏡等現存備品を使用する事業を継続する。 講師役は引き続き,職員又は地域の有償ボランティアで対応する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント	NPO,ボランティアの協力を得るなど実施方法について検討してください。						

(一般事業)	事業コード	2410220
平成15年度	事業名	青少年保護対策事業(芦屋市留守家庭児童会事業)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現	所管課長氏名	福田 三千男		
	小	1	「エンゼルプラン」子育て支援の推進	記入者氏名	白川 誠二		
	細			電話番号	0797-22 0358 内線 92-200		
事業期間	昭和42年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	児童福祉法 社会福祉法 芦屋市留守家庭児童会事業実施要綱						
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容			
事業の概要	学校の放課後、保護者が就労等により家庭を留守にするため適切な保護育成に欠ける小学1年生から3年生で、保護者から入会申請のあった児童を対象に、集団による遊びや生活を通して児童の健全な育成を図る。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 市内公立小学校 8学級 ・児童定員 総計 345人 在級児童数 (平成15年度年間平均児童数) ・開設時間 平日 学校の放課後から午後5時 学校休業日 午前9時から午後5時 ただし、冬期(11月～2月)は、午後4時30分 ・開設日 土、日、祝日及び8月12日～16日、12月29日から1月3日、3月31日以外の日 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	登録児童数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	263人	295人	321人	285人	345人
	結果指標 (2)	単位コスト	277,243円/人	243,298円/人	247,246円/人	-	-
		指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	保護者が就労等で家庭を留守にするため、適切な保護育成に欠ける小学1年生～3年生児童					
	対象カバー率	対象数(a)	358人	受益数(b)	321人	比率(b÷a)%	89.66%
	意 図 (対象を主語にして)	学校の放課後及び学校休業日に、集団による遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る。					
大きな目的	子育てをしながら就労等の保護者への支援及び当該児童の健全な育成						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	児童の出席率				
		考え方・式	集団による遊びや生活を通して仲間づくりをし、安全な時間を過ごす				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	75.7%	75.9%	76.0%	100%	100%
		指標名	親の安心度				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,292	住民1人当り(円)	991	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	88.3%	78,311	78,014	78,458	-
	事業費	11.7%	2,517	2,212	10,348	2,311
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	80,828	80,226	88,806	2,311
	国 県	10.6%	7,913	8,453	9,440	
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	89.4%	72,915	71,773	79,366	2,311
	職 員	3.3%	1.05	0.79	0.75	-
配 分 (人)	嘱託・臨時等	96.7%	22.00	22.00	22.00	-
	合 計	100.0%	23.05	22.79	22.75	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 通級児童数244人 <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 開設時間, 開設日数の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	- 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市町 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 児童1人当たり経費 <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	0	-1		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし, 過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 児童数に応じた適正な指導員の配置を行なう。 <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 開設日数の拡充 保護者に応分の負担をいただく。	改善内容: 条例を制定し, 平成16年度から土曜日を新たに開設する。 月額8,000円の育成料を負担していただく。 但し, 土曜日を利用する場合1,600円加算	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	開設日数の充実 夏季学校休業日中の8/12~16日の開設 開設時間の繰り上げ及び終了時間の延長 施設の整備			
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称	芦屋市学童保育保護者連絡協議会		
意見, 要望内容	開設日数・開設時間の充実, 施設の充実, 指導員の増員, 安全対策等			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	非常用螺旋階段の設置(2学級)	
		実施期限	平成 15 年 7 月	
	(2)	対応内容	増築による施設面積の拡大(1学級)	
		実施期限	平成 16 年 3 月	
	(3)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
その他考えられる改善のアイデア	開設日数, 開設時間の拡充を検討する。			
	指導員体制の見直し			
	地域を含めた民間活力の導入			
平成17~19年度の方向性	開設日数・開設時間の充実及び指導員体制について検討する。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
2次評価委員会コメント	指導員体制について, 民間活力の導入も含め検討してください。	統合/終期設定		
		廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	3210130
平成15年度	事業名	成人式

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細					記入者氏名	白川 誠二		
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22 0358	内線	92-200
根拠法令・要綱等						実施主体	市		
実施手法			<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先			<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	新成人を祝い・励まし、次代を担う新成人が社会人としての自覚と自己の行動に責任を持っていただく場とする。								
事業の現状	新成人が成人式に積極的に参画する場とするため、新成人の代表による検討委員会を設け、オープニング等アトラクションについて、新成人自らが参加できるものがないか意見を聞いている。 成人式は、毎年1月の第2月曜日(成人の日)にルナ・ホールで実施。								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	対象者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1,024人	1,025人	1,051人	1,037人	1,025人		
	結果指標(2)	指標名	参加者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	700人	650人	700人	1,037人	1,025人		
		単位コスト	4,271円/人	3,539円/人	3,368円/人	-	-		
		単位コスト	6,249円/人	5,580円/人	5,057円/人	-	-		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	二十歳を迎える新成人							
	対象カバー率	対象数(a)	1,051人	受益数(b)	700人	比率(b÷a)%	66.6%		
	意図(対象を主語にして)	新成人を対象に、二十歳をになったことを祝い・励ますとともに社会人としての自覚を促す。							
大きな目的	社会人(大人)になったことを自覚し、自ら責任で生きぬこうとする青年を祝い・励ます。								
アウトカム指	中間成果	指標名	参加者数						
		考え方・式	社会人(大人)になったことを自覚し、自らの行動に責任を持つことを促す						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果	指標名	参加者数						
		考え方・式	社会人(大人)になったことを自覚し、自ら責任で生きぬこうとする青年を社会に送り出す						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	700人	650人	700人	1,037人	1,025人		
		指標値	700人	650人	700人	1,037人	1,025人		
芦屋市の特色など補足する事項	新成人としての決意(志や将来の夢等)を発表する場を設けている。 発表者は原則公募とし、内1名は在日外国人の方を予定している。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)		91	住民1人当り(円)		39	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	72.9%	3,606	2,879	2,579	-		
	事業費	27.1%	768	748	961	1,255		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	4,374	3,627	3,540	1,255			
財源	国・県							
	市債等							
	その他							
一般財源	100.0%	4,374	3,627	3,540	1,255			
活動配分(人)	職員	100.0%	0.45	0.30	0.25	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.45	0.30	0.25	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	0	0	
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている			
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握 <input type="checkbox"/> アンケートから一つの節目として必要との意見が多い <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4	
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えない			
-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 該当者による検討委員会を設け、企画・運営を工夫している。	<input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市町 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 新成人1人当たり経費 <input type="checkbox"/> 把握していない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由 音楽等アトラクションに、当該新成人のグループ等に依頼	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-1	-1	
	受益者負担(0~1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)	<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能			
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である	<input checked="" type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 著名人等に出演依頼する場合、事業の趣旨を説明し、コストがかからないよう依頼している。	<input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	新成人は、久しぶりの同窓会的な気分で参加している新成人が少なく、式典中における私語が多い。				
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	意見、要望内容			
		人生の一つの節目として、成人式の実施は必要である。			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	参加希望者を対象に式典のみ実施(私語などは減少する)				
平成17~19年度の方向性	今後の方向性	1次評価	2次評価		
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
2次評価委員会コメント	実施主体についてさらに検討を行ってください。	統合/終期設定			
		廃止/休止			

(一般事業)	事業コード	3220010
平成15年度	事業名	青少年団体及びリーダー育成事業(青少年リーダーの育成)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
政策施策	小	2	指導者・ボランティアの養成			所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細					記入者氏名	白川 誠二		
事業期間	昭和45年~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22 0358	内線	92-200
根拠法令・要綱等	社会教育法					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	野外活動等の青少年リーダーを養成する。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	高校生・大学生を対象に公募。 活動日 毎週木曜日 19時~21時 救急法(心肺蘇生法)や野外活動等の企画・実施に必要な知識を習得する。 具体的には、市教育委員会が主催する野外活動事業(主に小・中学生レクリエーションキャンプ)において、指導補助員として事業の企画・運営に携わる。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	育成事業実施回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	205回	205回	205回	205回	205回		
	結果指標 (2)	指標名	参加者(実人数)						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	20人	15人	15人	15人	15人		
単位コスト	150,250円/人	127,000円/人	168,733円/人	-	-				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	高校生及び大学生 15人							
	対象カバー率	対象数(a)	3,075人	受益数(b)	15人	比率(b÷a)%	0.49%		
	意 図 (対象を主語にして)	野外活動に必要な知識を習得し、地域・団体で青少年リーダーとして活動する。							
大 き な 目 的	地域の青少年リーダーを育成する。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	活動している青少年リーダー数						
		考え方・式	月1回以上定期的に活動している者						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	12人	7人	10人	15人	15人			
	最終成果 指 標	指標名	地域の指導者数						
		考え方・式							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値									
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	65	住民1人当り(円)	28	平成16.4.1 住民基本台帳
事 業 費 内 訳 (千円)	構 成 %	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人 件 費	100.0%	2,865	1,806	2,531	-
	事 業 費	0.0%	140	99	0	
	他 部 門 経 費					-
	減 価 償 却 費					-
	合 計	100.0%	3,005	1,905	2,531	0
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	3,005	1,905	2,531	0	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.40	0.20	0.25	-
	嘱 託・臨 時 等	0.0%		0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.40	0.20	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	1	2
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 開設時間, 開設日数の拡充		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	- 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 事業内容の工夫 <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市町 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費 <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-1	-2
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし, 過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容: <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 受講生及び担当職員が輪番で実技指導する。	改善内容:	総合評価: D D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	社会人になると仕事等の理由で, 地域で定期的に活動する人が少なくなる。			
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	対象者を, これまでの大学生から高校生以上に拡大した。	
		実施期限	平成 14 年 4 月	
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
			リーダーとして名簿を作成し, 地域の青少年団体などに配布する。	
平成17~19年度の方向性	中・高校生の居場所作り(活動場所)として実施する。 指導者(講師等)は, これまでに養成したOBを活用する。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	育成したリーダーの地域での活躍の場を検討してください。			

(一般事業)	事業コード	3240010
平成15年度	事業名	体育指導委員

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細					記入者氏名	権藤 弘之		
事業期間	昭和36年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第19条、芦屋市体育指導委員規則					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	スポーツ振興に意欲的に取り組む指導専門員を養成し、地域スポーツの振興施策を展開する。生涯スポーツ振興の推進者として教育委員会が委嘱する。上部団体として、(社)全国体育指導委員連合、近畿体育指導委員会、兵庫県体育指導委員会、阪神南地区体育指導委員会がある。								
事業の現状	体育指導委員を設置する。(各コミスクから1名、スポーツクラブから1名、計18名、専門委員7名計25名) 体育指導委員の職務は ・スポーツの実技指導。 ・組織の育成を図ること。 ・スポーツの行事又は事業への協力。 ・生涯スポーツ振興のための指導助言等である。 そのため、体育指導委員は毎週のように地域スポーツのお世話やコーディネーターとしてボランティア活動を行っている。								
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	体育指導委員委嘱数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	25人	25人	25人	25人	25人		
	結果指標 (2)	指標名	定例会議及び実技研修会開催回数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	11回	11回	11回	10回	10回		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	運動・スポーツに興味関心があり体育指導委員による指導を必要とする市民							
	対象カバー率	対象数(a)	72,000人	受益数(b)	63,000人	比率(b÷a)%	87.5%		
	意図(対象を主語にして)	スポーツの情報サービス、イベント開催、地域スポーツクラブの育成、生涯スポーツのリーダー養成							
大きな目的	地域スポーツの振興と週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上								
アウトカム指	中間成果	指標名	派遣人数(延べ人数)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	348人	358人	354人	350人	350人		
	最終成果	指標名	定期的スポーツ実施率						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。芦屋市の週1回以上の定期的スポーツ実施率は全国平均37%と比較して非常に高い。								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	118	住民1人当り(円)	51	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	61.9%	3,257	3,217	2,839					
	事業費	38.1%	2,052	1,732	1,750					
	他部門経費									
	減価償却費									
	合計	100.0%	5,309	4,949	4,589	2,110				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
一般財源	100.0%	5,309	4,949	4,589	2,110					
活動配分(人)	職員	100.0%		0.35	0.30					
	嘱託・臨時等									
	合計	100.0%	0.00	0.35	0.30	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	4
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	0	2
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 体育指導委員委嘱費 <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: 尼崎市(70名)西宮市(113名)	1	-3
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 体育指導委員報酬の見直しと削減 <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 体育指導委員報酬の削減 改善内容: 定例会議参加費を4500円から4,000円に 事業参加費を4,000円から3600円に	総合評価	A B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	資質の向上			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査結果		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	体育指導委員の活動促進(スポ・ツ振興基本計画)	
		実施期限	平成 20 年 3 月	
		対応内容	定例会議における研修	
(2)	実施期限	平成 17 年 3 月		
	(3)	対応内容		
その他考えられる改善のアイデア	実施期限	平成 年 月		
		スポーツクラブ21ひょうご(県事業)においてコーディネーターとしての役割が高まっている。		
平成17~19年度の方向性	継続する	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
2次評価委員会コメント		統合/終期設定		
		廃止/休止		
地域スポーツの振興のために,さらなる体育指導委員の活用を図ってください。				

(一般事業)	事業コード	3240020
平成15年度	事業名	スポーツリーダー認定講習会

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		権藤弘之	
	細					電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
事業期間	昭和59年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体			
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法11条					委託			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先			
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託					委託内容			
事業の概要	スポーツリーダーやスポーツボランティアを養成する講習会の実施								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	スポーツリーダー認定講習会(講義・実習・実技等8～10回)の実施								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	講習会参加人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	62人	80人	83人	80人	80人		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内のスポーツ指導者・スポーツボランティア				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	83人	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	スポーツ指導者・スポーツボランティアの発掘と資質向上				
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率			
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	週1回定期的スポーツ実施率			
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	48	住民1人当り(円)	21	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	87.3%	2,245	2,219	1,612	-				
	事業費	12.7%	224	294	235	300				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	2,469	2,513	1,847	300				
財 源 (千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
活 動 配 分 (人)	一般財源	100.0%	2,469	2,513	1,847	300				
	職員	100.0%		0.25	0.20	-				
	嘱託・臨時等					-				
合計	100.0%	0.00	0.25	0.20	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	3
	市関与(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容:	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	0
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えない	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えない		
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: 1人当たり経費 <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 把握していない	-2	-3
	受益者負担(0~1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)	<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能		
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容:	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 社会環境に適応した講習内容 改善内容: 高齢社会を見据えた中高年向きスポーツを講習した	総合評価	B	D	

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツリーダー認定講習会の実施				
		実施期限	平成	20	年	3	月
		対応内容	コーチ・指導員等の資格取得に対する支援				
	(2)	対応内容	学校スポーツ学外指導者の派遣促進				
		実施期限	平成	20	年	3	月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性		平成18年に開催される「のじぎく兵庫国体」と,その前年の平成17年の開催の「リハーサル大会」を見据えて,スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことのできる人材の養成を目指す。	今後の方向性	1次評価	2次評価		
			拡大・充実				
			現状維持				
			方法改善				
			民間委託等				
			縮小				
			統合/終期設定				
			廃止/休止				
2次評価委員会コメント	講習会の回数,サイクルの見直しを検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3240030
平成15年度	事業名	スポーツリーダーバンク

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細			記入者氏名	権藤 弘之		
事業期間	平成2年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910 内線 92-204		
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第11条、芦屋市スポーツリーダーバンク設置要綱			実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	スポーツリーダー認定講習会受講者や有資格者の中から、希望者を本バンクに登録し、その効果的活用を図る。						
事業の現状	地域に点在する有能な指導者（厚生労働大臣認定健康運動指導士、実践者、文科省スポーツプログラマー、日体協認定各種指導資格保有者等）やスポーツリーダーの名簿を作成することにより指導者を発掘、また地域に情報を提供することで地域の人的資源とする。市主催行事や地域への講師派遣などの効果的活用を図り、地域でのスポーツ活動を促進する。また、スポーツリーダー研修会を開催し、資質の向上を図る。派遣報酬は4,000円/日である。						
アウトプット	結果指標 (1)	指標名	芦屋市スポーツリーダーバンク登録者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	38人	58人	51人	50人	50人
	結果指標 (2)	指標名	研修会参加延べ人数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	54人	68人	66人	70人	70人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市内のスポーツ有資格者（芦屋市スポーツリーダー認定講習会修了者含む）					
	対象カバー率	対象数(a)	150	受益数(b)	109	比率(b÷a)%	72.7%
	意図(対象を主語にして)	資質向上、組織化、市主催行事や住民等の要望により派遣					
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上						
アウトカム	中間成果	指標名	地域スポーツ活動人数				
		考え方・式	リーダー派遣人数及び地域活動出勤人数（延べ人数）				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果	指標名	定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

芦屋市の特色など補足する事項 平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	31	住民1人当り(円)	14	平成16.4 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	93.6%	839	828	1,134	-				
	事業費	6.4%	140	302	77	418				
	他部門経費									
	減価償却費									
	合計	100.0%	979	1,130	1,211	418				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
活動配分(人)	一般財源	100.0%	979	1,130	1,211	418				
	職員	100.0%		0.10	0.15	-				
	嘱託・臨時等									
合計	100.0%	0.00	0.10	0.15	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	5	4	
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない			
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 平成14年度市民意識調査の結果	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		1	2	
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える			
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト 登録者数 <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由 他市よりも登録者数が多い。	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない	-1	-3	
	受益者負担(0~1)	<input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容		課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	講習内容のより一層の検討 これからの少子高齢化社会に対応した人材の育成 公費負担、公平性の確保が難しい。						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	意見、要望内容	スポーツ行政への要望 ・生涯スポーツのリーダーや指導者を育成する(16.7%)					
	(1)	対応内容	スポ-ツリ-ダ-バンクの活用促進				
	実施期限	平成 20 年 3 月					
(2)	対応内容						
	実施期限	平成 年 月					
(3)	対応内容						
	実施期限	平成 年 月					
その他考えられる改善のアイデア	講習内容の精選						
	名簿情報の提供						
平成17~19年度の方向性	継続する				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
					縮小		
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	登録者の有効活用を図ってください。						

(一般事業)	事業コード	3240040
平成15年度	事業名	体育の日の行事

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		権藤 弘之	
	細					電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
事業期間	昭和40年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体			
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第5条, 国民の祝日に関する法律, 体育の日の行事通知								
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称					<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	体育の日を中心とした3日間にスポーツ教室, 新体力テスト測定, 市民啓発セミナー等を開催する								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	市民啓発セミナーの開催・ニュースポーツフェスタ開催・市民参加のスポーツ教室開催・ 体育協会, レクリエーションスポーツ協会への協賛事業開催依頼・新体力テスト測定会の開催								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	参加人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1,140人	1,396人	1,086人	1,200人	1,200人		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	定期的でないスポーツ実施市民及び未実施者					
	対象カバー率	対象数(a)	32,485人	受益数(b)	1,086人	比率(b÷a)%	3.4%
	意 図 (対象を主語にして)	市民のスポーツへの関心を高める					
大 き な 目 的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名					
		考え方・式					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指 標 値		56%					
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し,平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	101	住民1人当り(円)	44	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	89.1%	3,479	3,444	3,494	-
	事業費	10.9%	512	435	426	570
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	3,991	3,879	3,920	570
	国 庫					
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	3,991	3,879	3,920	570
	職 員	100.0%		0.35	0.40	-
合 計	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.00	0.35	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	5	4		
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	1		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 他市 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-2		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input checked="" type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容: 参加記念品を平成16年度より団体準備室経費にて作成予定。 <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	児童・生徒の著しい体力低下 急速な高齢社会の進展 壮年層のスポーツ離れ				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査			
課題・要望等への対応	意見,要望内容	スポーツ行政への要望 ・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)			
	(1) 対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とそのないようの充実に努める)			
	実施期限	平成	20	年	3
(2) 対応内容					
	実施期限	平成		年	
(3) 対応内容					
	実施期限	平成		年	
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	継続する。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
2次評価委員会コメント	民間委託について検討を行ってください。		統合/終期設定		
			廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	3240050
平成15年度	事業名	市民ゴルフ大会

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		権藤弘之	
	細					電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
事業期間	昭和63年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時				
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条					実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 芦屋市体育協会 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容 大会運営								
事業の概要	公益法人である社団法人芦屋カントリー倶楽部の協力と援助のもと市民ゴルフ大会を夏季に実施する。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	平成11年度から体育協会に委託。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	参加人数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	88人	98人	78人	90人	90人		
	結果指標 (2)	指標名	単位コスト						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	29,762円/人	26,429円/人	39,988円/人	-	-		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	ゴルフを愛好する市民							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		78人	比率(b÷a)%			
	意 図 (対象を主語にして)	ゴルフが市民スポーツとして定着することで、スポーツ・フォア・オール(生涯スポーツ)の普及と振興を図る。							
大 き な 目 的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名							
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	80	住民1人当り(円)	35	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	91.0%	2,419	2,390	2,839	-
	事業費	9.0%	200	200	280	200
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	2,619	2,590	3,119	200	
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	2,619	2,590	3,119	200	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%		0.25	0.30	-
	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.00	0.25	0.30	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	6	-3		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 平成13年市民意識調査による(市民要望の13%) <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 事業内容の精選				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	0	0		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	1	-2		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 今年度委託料を半減した。 <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	A	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム,世代間や地域を越えたスポーツ教室,交流会,競技会の開催とそのないようの充実に努める)				
		実施期限	平成	20	年	3	月
		(2)	対応内容				
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	継続する。				今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		
					現状維持		
					方法改善		
					民間委託等		
				縮小			
				統合/終期設定			
				廃止/休止			
2次評価委員会コメント	大会運営主体について検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3240060
平成15年度	事業名	生活の中にひと汗運動

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	福田三千男		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名	権藤弘之		
体系	細					電話番号	0797-22-7910	内線	92-204
事業期間	昭和54年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体			
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第3条					委託			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	市民にひと汗運動カードを配布する。 1日最低15分以上のひと汗運動を行い、得点カードの100マスを埋めた修了者に、表彰状と記念バッヂを贈呈する。								
事業の現状	上記のとおり実施								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	参加者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	197人	125人	130人	130人	130人		
	結果指標(2)	指標名							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	定期的にスポーツを実施してる、またこれからはじめようとしている市民							
	対象カバー率	対象数(a)	32,485人	受益数(b)	130人	比率(b÷a)%	0.4%		
	意図(対象を主語にして)	健康・体力づくりやスポーツ活動の一環として運動・スポーツを生活の中に取り入れるようになること。							
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上								
アウトカム指	中間成果指標	指標名							
		考え方・式							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果指標	指標名	定期的スポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	56%								
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。								

3 事業費・活動配分(コスト)

				1世帯当り(円)	31	住民1人当り(円)	14	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	93.3%	1,677	1,655	1,134	-		
	事業費	6.7%	25	60	81	78		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
合計	100.0%	1,702	1,715	1,215	78			
財源 (千円)	国・県							
	市債等							
	その他							
一般財源	100.0%	1,702	1,715	1,215	78			
活動配分 (人)	職員	100.0%			0.15	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.15	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	6	-1		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input checked="" type="checkbox"/> いずれにも該当しない				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 数字で把握している 昨年度カード回収数(130) <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容:				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	0		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える - 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	-1	-1		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 郵送を極力止めている。				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題		
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称 意見,要望内容	
課題・要望への対応	(1) 対応内容	
	実施期限	平成 年 月
	(2) 対応内容	
実施期限	平成 年 月	
(3) 対応内容		
	実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア		
平成17~19年度の方向性	継続する。 今後の方向性 拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮小 統合/終期設定 廃止/休止	
2次評価委員会コメント	当初の目的は達成されたと思われます。	

(一般事業)	事業コード	3240070
平成15年度	事業名	ニュースポーツ・レクリエーション啓発事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部	
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現		スポーツ・青少年課	
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	福田 三千男	
体系	細			記入者氏名	権藤 弘之	
事業期間	昭和54年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910 内線 92-204	
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条			実施主体		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託	先 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託	名称		委託内容		
事業の概要	地域に出向いての巡回指導講座を実施する。 わが国の実施スポーツ種目第1位の、気軽楽しめるウォーキング講座の実施やその奨励(1日一万歩)を行う。					
事業の現状	地域スポーツの活性化及びスポーツ・フォール・エブリワン(生涯スポーツ)の定着を図る。 平成13年度は元気ウォーク講座を開催、その有志が芦屋市ウォーキング協会を設立した。 平成14年度はより初心者向けのウォーキング教室。平成15年度は気軽体操教室を開催。					
アウトプット	結果指標(1)	指標名	講座参加者数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	650人	129人	176人	150人	150人
		単位コスト	2,922円/人	17,469円/人	11,927円/人	-
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値						
	単位コスト					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	スポーツに関心はあるが定期的には実施していない市民					
	対象カバー率	対象数(a)	9,345人	受益数(b)	176人	比率(b÷a)%	1.9%
	意図(対象を主語にして)	継続してスポーツを実施したくなるような身近な、気軽なスポーツの振興と普及					
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上						
アウトカム	中間成果	指標名	定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
	指標値	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		56%					
最終成果	指標名	定期的スポーツ実施率					
	考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率					
指標値	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	56%						
芦屋市の特色など補足する事項	平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。						

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	54	住民1人当り(円)	23	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	83.9%	1,899	1,881	1,762	-				
	事業費	16.1%	19	375	337	356				
	他部門経費					-				
	減価償却費					-				
	合計	100.0%	1,918	2,256	2,099	356				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他									
一般財源	100.0%	1,918	2,256	2,099	356					
活動配分(人)	職員	100.0%			0.20	-				
	嘱託・臨時等					-				
	合計	100.0%	0.00	0.00	0.20	0.00				

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	6	1		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	0		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えぬ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えぬ				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い、または低い場合の理由	-2	-3		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	ウォーキングに続く市民スポーツの提供 改善内容	気軽体操の実施	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	児童・生徒の著しい体力低下 急速な高齢社会の進展 壮年層のスポーツ離れ						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツ情報(スポーツ施設のネットワーク化とインターネットの活用を進め、多様化、高度化するスポーツ活動に応じたスポーツ情報を提供する。)				
		実施期限	平成	20	年	3	月
		対応内容	スポーツプログラム(各ライフステージに応じたプログラム、世代間や地域を越えたスポーツ教室、交流会、競技会の開催とそのないような充実に努める)				
(2)	実施期限	平成	20	年	3	月	
	(3)	対応内容	ウォーキング環境(人が安全、快適に歩ける町づくりに努める)				
実施期限	(3)	実施期限	平成	20	年	3	月
		その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	継続する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
	拡大・充実						
	現状維持						
	方法改善						
	民間委託等						
	縮小						
2次評価委員会コメント	統合/終期設定						
	廃止/休止						
民間委託を含め実施方法について検討してください。							

(一般事業)	事業コード	3240080
平成15年度	事業名	競技スポーツ推進事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	スポーツ・青少年課			
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細			記入者氏名	権藤 弘之		
事業期間	昭和63年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-7910 内線 92-204		
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第7条, 第14条			実施主体			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	競技スポーツ推進の核となる体育協会やレクリエーションスポーツ協会等と協力して、大会等を実施する。競技スポーツ人口は全人口の5%から10%と想定されるが、競技者のひたむきな姿は市民のスポーツへの関心を高め、活力のある健全な社会の形成に貢献する。また選手の活躍を通じて郷土愛が醸成される。						
事業の現状	競技力向上研修会2回開催(卓球, バドミントン)、阪神地区都市対抗駅伝大会男女別開催。芦屋市単独での開催ではなく、競技スポーツ推進の核となる体育協会やレクリエーションスポーツ協会等と協力することで実施している。						
アウトプット指標	結果指標(1)	指標名	競技力向上実技講習会, 駅伝大会開催数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	4回	4回	4回	4回	4回
	結果指標(2)	単位コスト	393,000円/回	408,750円/回	702,500円/回	-	-
		指標名					
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	体育協会参加競技団体及び競技者					
	対象カバー率	対象数(a)	8,000人	受益数(b)	1,200人	比率(b÷a)%	15%
	意図	体育協会レクリエーションスポーツ協会等傘下競技団体等の競技力向上(対象を主語にして)					
大きな目的	競技スポーツの振興と普及						
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	優秀成績者数				
		考え方・式	県大会以上の広域大会で優秀な成績(第1位～第3位まで)を収めた者の人数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果指標	指標値	183人	79人	171人	190人	200人
		指標名	定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
芦屋市の特色など補足する事項	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値		56%				
平成15年3月にスポーツ振興基本計画を策定し、平成15年度からの5年間(前期)で評価を行うとともに平成20年度から平成24年度まで(後期)基本計画の見直しをすることとなっている。							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	73	住民1人当り(円)	31	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	74.4%	914	902	2,090	-
	事業費	25.6%	658	733	720	962
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	1,572	1,635	2,810	962
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他					
活動配分 (人)	一般財源	100.0%	1,572	1,635	2,810	962
	職員	100.0%		0.10	0.25	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	0.10	0.25	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	1	2		
	受益者(1~1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	-4	-4		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題							
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツ行政への要望・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)・競技力向上のため,優れた指導者の養成や選手の育成強化を図る(7.2%)				
		実施期限	平成	20	年	3	月
		対応内容					
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	継続する	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
2次評価委員会コメント	廃止を検討すること。	統合/終期設定					
		廃止/休止					

(一般事業)	事業コード	3240110
平成15年度	事業名	スポーツ・フォー・エブリワン推進事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	福田 三千男		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	記入者氏名	権藤 弘之		
体系	細			電話番号	0797-22-7910 内線 92-204		
事業期間	平成6年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体			
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法第3条及び第7条						
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	市民のスポーツ活動の啓発。						
事業の現状	スポーツ・フォー・エブリワン(市民ひとりひとりが、それぞれの年齢や生活スタイル、目的に応じて、いつでも、どこでも、気軽に、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる地域社会の実現を目指す運動)の行事の実施や啓発ポスター等を作成する。						
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	啓発ポスター, チラシ, パンフレット配布枚数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	3,000枚	3,000枚	3,000枚	3,000枚	3,000枚
	結果指標(2)	単位コスト	979円/枚	772円/枚	603円/枚	-	-
		指標名					
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	定期的でないスポーツ実施者と未実施者					
	対象カバー率	対象数(a)	72,000人	受益数(b)	50,400人	比率(b÷a)%	70%
	意図(対象を主語にして)	スポーツ・フォー・エブリワン(運動)の趣旨を理解し、運動を定期的に実施するようになること。					
大きな目的	週1回以上の定期的スポーツ実施率の向上						
アウトカム指	中間成果	指標名	スポーツ・フォー・エブリワンの概念を認知している市民の数				
		考え方・式	市民の概数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果	指標値	70,000人	72,000人	73,000人	74,000人	75,000人
		指標名	定期的スポーツ実施率				
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
芦屋市の特色など補足する事項	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
	指標値		56%				

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	47	住民1人当り(円)	20	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	89.2%	2,813	2,219	1,612	-
	事業費	10.8%	122	95	196	107
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	2,935	2,314	1,808	107
財源	国・県					
	市債等					
	その他					
活動配分(人)	一般財源	100.0%	2,935	2,314	1,808	107
	職員	100.0%		0.30	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	0.30	0.20	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	4	4		
	市関与(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えない				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由	-4	-5		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	定期的スポーツ実施者が66%になることを目指す						
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	スポーツ行政への要望 ・スポーツの情報サービスを充実させる(29.4%) ・各種のスポーツ教室やイベントを開催する(25.9%)				
		実施期限	平成	20	年	3	月
		対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	継続する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント	より効果的な啓発方法を検討してください。						

(一般事業)	事業コード	3240160
平成15年度	事業名	海浜公園プール管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		高市 隆己	
	細					電話番号	0797-22 8861	内線	
事業期間	昭和59年7月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市教育委員会		
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則 海浜公園プール管理運営要綱					委託	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	・屋内プール 25メートル温水プール, 子供用変形プール ・屋外プール 50メートル常温プール 上記施設の利用受付, 利用促進(講習会等実施), 安全管理, 設備保全								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・温水プール 開場時間 平日 10:00~21:00 日曜日 9:00~18:00 開場日 1月5日~6月30日, 9月1日~12月26日, 月曜日を除く ・屋外プール 開場時間 平日 10:00~18:00 日曜日 9:00~18:00, 開場日 7月1日~8月31日								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	入場者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	88,559人	88,331人	88,434人	90,000人	90,000人		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	プール利用市民				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	88,434人	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	プール利用市民の健康・体力づくりの増進を図る。				
大きな目的	市民がスポーツを楽しみ, 健康を増進させる。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名				
		考え方・式				
	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値					
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率			
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率				
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値		56%			
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,212	住民1人当り(円)	956	平成16.4.1 住民基本台帳
事 業 費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	11.1%	10,116	10,935	9,557	-
	事業費	78.1%	62,000	71,111	66,928	70,509
	他部門経費	0.0%	0	0	0	-
	減価償却費	10.8%	9,237	9,237	9,237	-
合 計	100.0%	81,353	91,283	85,722	70,509	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	54.8%	48,338	47,900	46,986	
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	45.2%	33,015	43,383	38,736	70,509
	職 員	100.0%	1.10	1.10	1.10	-
	嘱 託・臨 時 等					-
合 計	100.0%	1.10	1.10	1.10	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	5	4
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	1
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える	<input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない 単位コスト 市民1人当たり経費 <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-1	-1
	受益者負担(0~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容	<input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 教室数の拡大 利用者に応分の負担を頂く。	改善内容 教室数を増やす。 教室受講料の値上げ。	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> コストの削減と利用者の増加 指定管理者制度の導入 					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の導入による民間委託の実施 			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入など民間委託を検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3240180
平成15年度	事業名	スポーツ振興基金事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		近田 真	
	細					電話番号	0797-22-0358	内線	92-201
事業期間	平成元年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	芦屋市スポーツ振興基金条例					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託	先		名称		委託内容				
事業の概要	スポーツ賞表彰式事務								
事業の現状	年1回表彰式を行う 表彰状、副賞(ボールペン)の交付 目的実現のための 手段及び実施内容								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	表彰者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	182人	79人	173人	133人	142人		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	公認の広域な大会で優秀な成績をおさめた者。							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		173人	比率(b÷a)%			
	意 図 (対象を主語にして)	公認の広域な大会で優秀な成績をおさめた者を表彰する。							
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興を図る。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	上位入賞件数						
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	61	住民1人当り(円)	26	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	86.1%	2,107	2,089	2,033	-
	事業費	13.9%	431	196	327	389
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	2,538	2,285	2,360	389
	国 庫					
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	2,538	2,285	2,360	389
	職 員	100.0%	0.20	0.20	0.20	-
活 動 配 分 (人)	嘱 託・臨 時 等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.20	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	0	0	
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容			
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	3	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし			
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 高い、または低い場合の理由	-4	-1	
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求められるべき事業ではない <input type="checkbox"/> 負担なし、過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)			
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 コスト削減 改善内容 郵便料の見直し スポーツ賞副賞の見直し	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・基金が減少している。			
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容		
		実施期限	平成	年
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成	年
	(3)	対応内容		
		実施期限	平成	年
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	今後の方向性	1次評価	2次評価	
	拡大・充実			
	現状維持			
	方法改善			
	民間委託等縮小			
	統合/終期設定			
	廃止/休止			
2次評価委員会コメント	対象、事業内容を見直して下さい。			

(一般事業)	事業コード	3240200
平成15年度	事業名	体育館管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	福田 三千男		
	細					記入者氏名	近田 真		
事業期間	昭和47年7月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-0358	内線	92-201
根拠法令・要綱等	芦屋市立体育館・青少年センターの設置及び管理に関する条例, 同施行								
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容								
事業の概要	体育館・青少年センターの管理運営								
事業の現状	開館時間 午前9時～午後9時 休館日 毎月第1及び第3月曜日, 12月27日から翌年の1月3日まで								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	開館日数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	332日	332日	332日	333日	332日		
	単位コスト	344,668円/日	333,798円/日	329,403円/日	-	-			
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	体育館・青少年センターを利用する市民							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		320,465人	比率(b÷a)%			
	意 図 (対象を主語にして)	・体育館・青少年センターを利用する市民に, スポーツ等を行う場所を提供する。 ・市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。							
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツ振興を図る。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	施設の利用者数						
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	192,178人	317,064人	320,465人	335,000人	335,000人			
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率							
年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値		56%							
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	2,822	住民1人当り(円)	1,220	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内 訳 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	3.2%	3,092	3,067	3,467	-
	事業費	52.0%	62,270	58,686	56,827	59,406
	他部門経費	0.0%		0	0	-
	減価償却費	44.9%	49,068	49,068	49,068	-
	合計	100.0%	114,430	110,821	109,362	59,406
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	25.4%	27,386	26,833	27,808	28,180
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	74.6%	87,044	83,988	81,554	31,226
	職 員	100.0%	0.30	0.30	0.35	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
合計	100.0%	0.30	0.30	0.35	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	5	0
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき、または対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない、または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性、緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い		2	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えな		
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い、または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-4	-2
	受益者負担(0~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在、適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人、家庭、地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業、NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託、臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容		課題 減免率の見直し	改善内容 50%減免を30%減免に改正	総合評価	B D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・休館日以外の月曜日の利用率が低い ・指定管理者制度導入による民間委託					
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	一般市民				
	意見、要望内容	開館時間、受付時間の延長				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	民間委託にあわせて開館時間等の延長を検討する。			
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	・指定管理者制度導入による民間委託に向けて事務を進める。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入など民間委託を検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3240210
平成15年度	事業名	中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			記入者氏名		近田 真	
	細					電話番号	0797-22-0358	内線	92-201
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	文化振興財団委託		
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則					委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					事業の概要			
委託						中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場の管理運営			
事業の現状	中央公園野球場 4月から9月 午前7時から午後7時 10月11月3月 午前9時から午後9時 12月から2月 午前9時から午後5時 川西運動場 午前9時から午後9時 芝生広場 午前9時から午後5時 休場日 12月28日から1月4日								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	施設の利用件数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	3,711件	2,205件	2,263件	2,276件	2,276件			
	単位コスト	5,857円/件	10,458円/件	9,746円/件	-	-			
結果指標 (2)	指標名								
	年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値									
単位コスト									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	屋外施設(中央公園野球場, 川西運動場, 芝生広場)を利用する市民				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	2,263件	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	屋外施設を利用する市民に, スポーツ等を行う場所を提供し, 市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。				
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・青少年の健全育成と福祉の増進。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	市民の健康度			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値					
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率			
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		56%				
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	569	住民1人当り(円)	246	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	4.9%	1,122	1,110	1,077	-
	事業費	95.1%	20,614	21,950	20,980	22,707
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	21,736	23,060	22,057	22,707	
財 源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	25.4%	5,315	5,116	5,610	5,316
一般財源	74.6%	16,421	17,944	16,447	17,391	
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3	
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している			
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	1	1	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している			
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり			
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している	-1	-2	
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり			
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 光熱水費の削減,管理運営に係る人件費の削減(財団分)			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 減免率の見直し 改善内容: 50%減免を30%減免に改正	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・指定管理者制度導入による民間委託			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	・指定管理者制度導入による民間委託に向けて事務を進める。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入など民間委託を検討してください。			

(一般事業)	事業コード	3240220
平成15年度	事業名	テニスコートの運営管理

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部	
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	福田 三千男	
体系	細			記入者氏名	近田 真	
事業期間	昭和55年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-0358 内線 92-201	
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則			実施主体	市	
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 財団法人芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容					
事業の概要	テニスコートの管理運営					
事業の現状	供用時間 4月から9月 午前7時から午後7時 10月から3月 午前9時から午後5時 休場日 12月28日から1月4日					
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	開館日数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	357日	357日	357日	358日	357日
	単位コスト	4,963円/日	5,775円/日	6,005円/日	-	-
結果指標(2)	指標名					
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値						
単位コスト						

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	テニスコートを利用する市民				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	6,886件	比率(b÷a)%	
対象・意図	意図	テニスする市民に、テニスコートを提供する。市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。				
	(対象を主語にして)					
大きな目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康・体力づくりの増進。 スポーツ振興を図る。 					
アウトカム指	中間成果	指標名	施設の利用件数			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	9,240件	8,980件	6,886件	5,000件	5,000件
	最終成果	指標名	定期的スポーツ実施率			
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値		56%				
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	55	住民1人当り(円)	24	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	50.2%	1,122	1,110	1,077	-
	事業費	49.8%	650	952	1,067	1,247
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合計	100.0%	1,772	2,062	2,144	1,247	
財源	国・県					
	市債等					
	その他	100.0%	1,772	2,062	2,144	1,247
一般財源		0	0	0	0	
活動配分	職員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 事業の目的は一つに絞ることができない <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確,または高くない	4	1
	市関与(2~2)	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 民間でやるべき,または対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない		
	市民ニーズ(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している	<input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急性(1)	<input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	4
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える	<input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見えな		
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり	<input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い	-4	-2
	受益者負担(0~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり	<input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3)	直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である	<input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容	<input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容		課題 減免率の見直し	改善内容 50%減免を30%減免に改正	総合評価	B D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度導入による民間委託 若葉テニスコートの再開 					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	テニスコート利用者				
	意見,要望内容	若葉テニスコートの早期再開				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	若葉テニスコートの再開に向けての資料収集等を行っている。			
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	指定管理者制度導入による民間委託に向けて事務を進める。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入など民間委託を検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3240230
平成15年度	事業名	市民プール管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
	中	2	生涯学習社会の実現				スポーツ・青少年課		
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援			所管課長氏名	福田 三千男		
	細					記入者氏名	近田 真		
事業期間	昭和41年度～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-0358	内線	92-201
根拠法令・要綱等	芦屋市都市公園条例, 同施行規則					実施主体	市		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金	
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称	財団法人芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容			
事業の概要	市民プールの管理運営								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	開場時間 7月1日から8月31日 平日 正午から午後6時 土日祝 午前10時から午後6時								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	開館日数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	72日	72日	62日	62日	62日		
	単位コスト	429,166円/日	422,972円/日	443,483円/日	-	-			
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市民プールを利用する市民							
	対象カバー率	対象数(a)		受益数(b)	22,643人	比率(b÷a)%			
	意 図 (対象を主語にして)	市民プールを利用する市民に、スポーツ等を行う場所を提供する。 市民の健康・体力づくりの増進や青少年の健全な育成を図る。							
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興を図る。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	施設の利用者数						
		考え方・式							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	27,362人	24,627人	22,643人	25,000人	25,000人			
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率						
考え方・式		週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率							
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値		56%							
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	710	住民1人当り(円)	307	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	3.9%	1,122	1,110	1,077	-
	事業費	76.1%	24,275	23,841	20,916	22,352
	他部門経費					-
	減価償却費	20.0%	5,503	5,503	5,503	-
合 計	100.0%	30,900	30,454	27,496	22,352	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	14.3%	5,231	4,916	3,922	4,907
一 般 財 源	85.7%	25,669	25,538	23,574	17,445	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.10	0.10	0.10	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.10	0.10	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	1
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	0	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-2	-2
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 開業期間の見直し(9月10まで 8月31日まで) <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 減免率の見直し	改善内容 50%減免を30%減免に改正	総合評価 D D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・指定管理者制度導入による民間委託		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	・指定管理者制度導入による民間委託に向けて事務を進める。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	指定管理者制度の導入など民間委託を検討してください。		

(一般事業)	事業コード	3240290
平成15年度	事業名	スポーツ振興基金事業(市長杯・教育長杯事業)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 スポーツ・青少年課		
	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	福田 三千男		
	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	記入者氏名	近田 真		
	細			電話番号	0797-22-0358	内線 92-201	
事業期間	平成元年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	芦屋市スポーツ振興基金条例			委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	市長杯・教育長杯レプリカ交付数						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	各スポーツ団体から年1回、市長杯(成人を対象とした全市規模以上の大会)教育長杯(高校・中学・小学生を対象とした全市規模以上の大会)を行うときにレプリカ・表彰状を交付する。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	市長杯・教育長杯レプリカ交付数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	94個	95個	93個	95個	95個
	結果指標 (2)	単位コスト	18,074円/個	17,684円/個	17,451円/個	-	-
		指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	スポーツ団体が主催する、全市規模以上の大会に参加する者				
	対 象 カ バ ー 率	対 象 数 (a)	受 益 数 (b)	93個	比 率 (b ÷ a) %	
	意 図 (対象を主語にして)	スポーツ団体が主催する、全市規模以上の大会に参加する者に対し、レプリカ・表彰状を交付する。				
大 き な 目 的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツの振興を図る。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指 標 名	競技人口			
		考 え 方 ・ 式				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	最終成果 指 標	指 標 名	定期的スポーツ実施率			
		考 え 方 ・ 式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率			
年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	42	住民1人当り(円)	18	平成16.4.1 住民基本台帳
事 業 費 (千円)	構 成 %	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人 件 費	95.8%	1,615	1,599	1,555	-
	事 業 費	4.2%	84	81	68	70
	他 部 門 経 費					-
	減 価 償 却 費					-
合 計	100.0%	1,699	1,680	1,623	70	
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	1,699	1,680	1,623	70	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.15	0.15	0.15	-
	嘱 託 ・ 臨 時 等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合 計	100.0%	0.15	0.15	0.15	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-4	-3		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・基金が減少している。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	今後の方向性	1次評価	2次評価		
	拡大・充実				
	現状維持				
	方法改善				
	民間委託等				
	縮小				
2次評価委員会コメント	統合/終期設定				
	廃止/休止				
交付基準についての見直しを検討してください。					

(一般事業)	事業コード	3240300
平成15年度	事業名	スポーツ振興基金事業(大会出場支援事業)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現		スポーツ・青少年課		
政策施策	小	4	スポーツ・レクリエーション活動への支援	所管課長氏名	福田 三千男		
体系	細			記入者氏名	近田 真		
事業期間	平成元年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-22-0358 内線 92-201		
根拠法令・要綱等	芦屋市スポーツ振興基金条例			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	全国大会・国際大会に出場する個人・団体への支援。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	全国大会・国際大会に出場する個人・団体に対して、垂れ幕を作成し体育館に掲げる。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	支援団体数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	0件	1件	0件	1件	1件
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					
単位コスト		574,000円/件	-	-	-		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	全国大会・国際大会に出場する個人・団体				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	0件	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	全国大会・国際大会に出場する個人・団体を支援することにより、競技意欲が高まり、スポーツ振興に役立たせる。				
大きな目的	・市民の健康・体力づくりの増進。 ・スポーツ振興を図る。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	競技人口			
		考え方・式				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	8,000人	8,500人	9,000人	10,000人	11,000人
	最終成果 指 標	指標名	定期的スポーツ実施率			
		考え方・式	週1回以上定期的にスポーツを実施する市民の比率			
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値		56%				
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	12	住民1人当り(円)	5	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	100.0%	493	490	478	-
	事業費	0.0%	0	84	0	90
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	493	574	478	90
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
	一般財源	100.0%	493	574	478	90
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等	0.0%	0.00	0.00	0.00	-
	合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 他市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-4	-3		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基金が減少している。 ・対象者が少ない(いない)。 				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	今後の方向性	1次評価	2次評価		
	拡大・充実				
	現状維持				
	方法改善				
	民間委託等				
	縮小				
2次評価委員会コメント	統合/終期設定				
	廃止/休止				

(一般事業)	事業コード	2420070
平成15年度	事業名	青少年愛護センター運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	教育委員会社会教育部 青少年愛護センター		
	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐくむ社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	2	子育て支援のネットワーク化			記入者氏名		福田 三千男	
	細					電話番号	0797-22-0358	内線	92-216
事業期間	昭和36年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市		
根拠法令・要綱等	芦屋市立愛護センターの設置および管理に関する条例, 同施行規則					委託	先		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託内容			
事業の概要	青少年育成愛護委員による街頭巡視を中心に、家庭・学校・地域及び関係機関と連携して青少年の健やかな成長を見守る。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成愛護委員の市内パトロールによる公園や道路等の安全確保及び青少年の非行防止 ・有害環境の浄化(白ポストの設置: 4ヶ所, 回収回数: 月1回, 有害図書等回収冊数: 770冊) ・電話や面談等による青少年の教育相談(相談件数: 31件) ・啓発活動や愛護委員の研修・情報交換等の開催(研修会等の開催回数: 161回) ・警察等の関係機関等との連携 								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	有害図書等の回収冊数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	751冊	994冊	770冊	838冊	838冊		
	単位コスト	18,559円/冊	13,802円/冊	16,940円/冊	950円/冊	950円/冊			
	結果指標 (2)	指標名	相談件数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値		28件	22件	31件	36件	40件			
単位コスト	497,786円/件	623,591円/件	420,774円/件	22,111円/件	19,900円/件				

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	6歳から18歳の青少年及び保護者					
	対象カバー率	対象数(a)	78,831人	受益数(b)	832人	比率(b÷a)%	1.10%
	意 図 (対象を主語にして)	青少年の非行の防止や問題・悩みの解決のために、警察等の関係機関と連携を図りながら愛護センターとしての機能を担う。					
大きな目的	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な愛護活動 ・青少年の健全育成 						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	相談により青少年の健全育成が図られた数				
		考え方・式	愛護センターでの相談件数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	28件	22件	31件	36件	40件	
	最終成果 指 標	指標名	補導をされた青少年の人数				
		考え方・式	補導人数				
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値	223人	207人	333人	333人	333人		
芦屋市の特色など補足する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅都市である。繁華街がない。 ・市内に遊戯施設が少ない。 ・人口に比較して青少年育成愛護委員の数が多。 						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	337	住民1人当り(円)	146	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	93.8%	13,113	12,617	12,237	-
	事業費	6.2%	825	1,102	807	796
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	13,938	13,719	13,044	796
	国 庫	4.1%	533	533	533	533
	市 債 等					
	そ の 他					
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	95.9%	13,405	13,186	12,511	263
	職 員	76.5%	1.30	1.30	1.30	-
	嘱託・臨時等	23.5%	0.40	0.40	0.40	-
合 計	100.0%	1.70	1.70	1.70	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	3
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-3	-4
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 ・関係機関との連携 ・古いウルトラマンステッカーの取替え	改善内容 ・特に警察署との連携を密にした。 ・ウルトラマンステッカーの追加発注をした。	総合評価 B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年愛護センター職員の常駐 ・青少年愛護センターの事務量の増加 ・体育館・青少年センターの指定管理者制度の導入と,愛護センターの関係 			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	青少年育成愛護委員会や愛護協会		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	事務事業の見直し	
		実施期限	平成 年 月	
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
(3)	対応内容			
	実施期限	平成 年 月		
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しをしながら,現状の事務を継続していく。 	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	嘱託職員の活用の検討してください。			

(一般事業)	事業コード	2420080
平成15年度	事業名	愛護委員育成活動事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市 総合計画 政策施策 体系	まちづくりの目標	2	健やかでぬくもりのある福祉社会づくり			所管課	教育委員会社会教育部 青少年愛護センター		
	中	4	子どもたちの心と体を豊かにはぐむ社会の実現				所管課長氏名	福田 三千男	
	小	2	子育て支援のネットワーク化			記入者氏名		福田 三千男	
	細					電話番号	0797-22-0358	内線	92-216
事業期間	昭和36年～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	芦屋市		
根拠法令・要綱等	芦屋市青少年育成愛護委員規則					委託	先 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託内容 青少年育成街頭巡視活動事業		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					事業の概要			
青少年の健全育成と環境浄化の推進を図るために、青少年愛護委員による街頭活動事業を行う。									
事業の現状 目的実現のための手段及び実施内容									
・青少年愛護委員数(人数:132人) ・青少年愛護委員による該当巡視活動(街頭巡視活動回数:607回,活動延べ人数:3,200人) ・青少年愛護委員による地域の環境浄化活動,街頭巡回等による地域青少年の指導等により,青少年の非行を防止し,健全育成を図る。									
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	青少年育成愛護委員街頭巡視活動回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	613回	654回	607回	668回	700回		
	単位コスト	14,316円/回	12,894円/回	13,643円/回	4,491円/回	4,286円/回			
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	6歳から18歳の青少年及び保護者							
	対象カバー率	対象数(a)	78,831人	受益数(b)	78,831人	比率(b÷a)%	100.00%		
	意 図 (対象を主語にして)	青少年の健全育成を図り,あわせてこれを阻害する恐れのある行為から青少年を保護する。							
大きな目的	・積極的な愛護活動 ・青少年の健全育成								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	健全育成が図られた回数						
		考え方・式	各年度の街頭巡視活動の項目別件数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	391件	761件	801件	881件	925件			
	最終成果 指 標	指標名	補導された青少年の人数						
		考え方・式	補導人数						
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	223人	207人	333人	333人	333人				
芦屋市の特色など補足する事項	・住宅都市である。繁華街がない。 ・市内に遊戯施設が少ない。 ・人口に比較して青少年育成愛護委員の数が多。								

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費		構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	214	住民1人当り(円)	92	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	人件費	63.8%	5,776	5,433	5,281	-					
	事業費	36.2%	3,000	3,000	3,000	3,000					
	他部門経費										
	減価償却費										
	合計	100.0%	8,776	8,433	8,281	3,000					
財 源 (千円)	国・県										
	市債等										
	その他										
	一般財源	100.0%	8,776	8,433	8,281	3,000					
活 動 配 分 (人)	職員	64.7%	0.55	0.55	0.55	-					
	嘱託・臨時等	35.3%	0.30	0.30	0.30	-					
	合計	100.0%	0.85	0.85	0.85	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	2		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4		
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり 内容				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 高い,または低い場合の理由	-3	-4		
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・青少年の非行防止と健全育成を図っていくためには,現状の委託を継続するのが望ましいと考える。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	青少年育成愛護委員会,愛護協会			
課題・要望等への対応	意見,要望内容	・講演会や施設見学会等の実施回数の増			
	(1) 対応内容				
	実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	(2) 対応内容				
	実施期限	平成	年	月	
	(3) 対応内容				
平成17~19年度の方向性	・現状の継続	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
2次評価委員会コメント	事務の効率化を図ること。	統合/終期設定			
		廃止/休止			

(一般事業)	事業コード	3120210
平成15年度	事業名	夏休みの事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	1	学校教育の充実			所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	2	教育内容の充実			記入者氏名	山口 保男		
体系	細					電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間	平成8年7月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託	名称					委託内容			
事業の概要	夏休みに幼児児童が豊かな体験学習をする場を提供する								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	夏休みに幼児児童が豊かな体験学習ができるよう自然教室や創作活動等のできる場を提供している。 平成16年度は「子どもの居場所づくり」事業として夏休みに25事業実施予定。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	実施回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	6回	8回	7回	8回	9回		
	結果指標 (2)	指標名	単位コスト						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1,438,000円/回	242,000円/回	279,000円/回	278,000円/回	277,000円/回		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	市内に居住する幼児児童					
	対象カバー率	対象数(a)	6,400人	受益数(b)	239人	比率(b÷a)%	4%
	意 図 (対象を主語にして)	市内の幼児児童が、夏休みに豊かな体験学習をする。					
大きな目的	新しい時代を拓くこころ豊かな人づくり						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	延べ参加者数				
		考え方・式	各事業への参加者の総計				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	延べ参加者数の前年度比				
		考え方・式	当該年度の延べ参加者数 ÷ 前年度の延べ参加者数 平成13年度の指標値は100%とした				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	191人	333人	239人	245人	250人
		指標値	100%	174%	71%	103%	102%
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	50	住民1人当り(円)	22	平成16.4.1 住民基本台帳	
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	92.6%	8,549	1,861	1,805	-	
	事業費	7.4%	80	76	145	20	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
		合計	100.0%	8,629	1,937	1,950	20
財 源 (千円)	国・県						
	市債等						
	その他						
		一般財源	100.0%	8,629	1,937	1,950	20
活 動 配 分 (人)	職員	100.0%		0.30	0.25	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合計	100.0%	0.00	0.30	0.25	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3	
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率156% <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握			
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 増加する体験不足の幼児児童に豊かな体験学習の場を提供する事業 <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要			
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える - 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし			
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間公民館 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-2	
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない			
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 地域の学習グループに指導をお願いし経費をおさえている <input type="checkbox"/> 特に行っていない			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 地域の子どもたち同士だけでなく大人との交流の場を作る 改善内容: 学習グループを講師として招いた	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	学社融合をめざした公民館経営の推進					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	学校への広報			
		実施期限	平成	16年	7月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があると思われるので方法の改善を図る。			今後の方向性	1次評価	2次評価
	芦屋市内の子どもの居場所づくりのために学校や関係各課と連携して経営を進める。			拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
			統合/終期設定			
			廃止/休止			
2次評価委員会コメント	地域との連携を強め,地域の学習グループとの輪を広げるよう努めてください。					

(一般事業)	事業コード	3210040
平成15年度	事業名	講演・講座・学級・教室等の開催

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	山口 保男		
体系	細			電話番号	0797-35-0700	内線 91-510	
事業期間	昭和29年3月～			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	高齢化、国際化、少子化、情報化に対応した様々な学習の機会を提供する。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	年間を通して、市民の学習ニーズおよび市の教育方針にもとづいて、講演・講座・学級・教室等を開催する。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	講演・講座等実施回数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	220回	272回	227回	226回	226回
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					
単位コスト	61,000円/回	32,000円/回	64,000円/回	63,500円/回	63,000円/回		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	20歳以上の市民					
	対象カバー率	対象数(a)	71,000人	受益数(b)	11,457人	比率(b÷a)%	6%
	意 図 (対象を主語にして)	20歳以上の市民に様々な学習機会を提供する。					
大きな目的	生涯学習の推進を図る。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	平均応募率				
		考え方・式	各講座の応募率(応募者数÷募集定員)の平均				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	延べ出席者数				
		考え方・式	各講座等の延べ出席者数の合計				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値	9,730人	10,988人	11,457人	11,460人	11,465人		
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	374	住民1人当り(円)	162	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	70.3%	8,971	3,721	10,192	-
	事業費	29.7%	4,471	4,965	4,298	5,095
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	13,442	8,686	14,490	5,095
	国 県	1.8%		140	260	260
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他	20.3%	1,778	2,321	2,935	2,398
	一 般 財 源	78.0%	11,664	6,225	11,295	2,437
	職 員	100.0%		0.40	1.20	-
嘱託・臨時等						-
	合 計	100.0%	0.00	0.40	1.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3
	市関与(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率261% <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 高齢化、国際化、少子化、情報化に対応した事業である。		
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間公民館 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-2
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 最小限の人員で運営している		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 市民のニーズに合う講座編成 改善内容: 他団体との共催により魅力的な講座を組んだ	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	時代と市民のニーズに合う講座編成			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	職員の資質向上	
		実施期限	平成 16 年 8 月	
	(2)	対応内容	他の課との連携	
		実施期限	平成 16 年 12 月	
	(3)	対応内容	民間活力の導入	
		実施期限	平成 17 年 1 月	
その他考えられる改善のアイデア				
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。 芦屋らしい質の高い講座編成をしていく。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
2次評価委員会コメント	参加者の満足度を把握し,より多くの人に参加できるよう検討してください。			
	統合/終期設定			
	廃止/休止			

(一般事業)	事業コード	3210060
平成15年度	事業名	芦屋川カレッジ

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	山口 保男		
体系	細			電話番号	0797-35-0700	内線 91-510	
事業期間	昭和60年10月~		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条			委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	60歳以上の市民を対象にした高齢者大学。 (昭和60年の芦屋市主要施策として発足)						
事業の現状	必修コース36回、選択コース(国際コース 探求コース)各15回の講義実施。 定員100名。一人当たり51回の講座受講が可能である。 選択コースには聴講生のコースがあり、希望する芦屋川カレッジの修了生が受講している。 内容は、時事問題、法律、文学、科学、音楽等である。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	受講者数(聴講生含む)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	183人	197人	178人	180人	190人
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	学習意欲のある60歳以上の市民。					
	対象カバー率	対象数(a)	22,000人	受益数(b)	178人	比率(b÷a)%	1%
	意 図 (対象を主語にして)	60歳以上の市民に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。					
大きな目的	生涯学習の推進						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	応募倍率(聴講生除く)				
		考え方・式	応募者数÷募集定員				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	延べ出席者数				
		考え方・式	芦屋川カレッジと芦屋川カレッジ聴講生の延べ出席者数の和				
年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	198	住民1人当り(円)	86	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	78.5%	3,390	4,001	6,023	-
	事業費	21.5%	2,161	2,211	1,651	1,913
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	5,551	6,212	7,674	1,913	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	15.8%	676	644	1,211	1,270
一 般 財 源	84.2%	4,875	5,568	6,463	643	
活 動 配 分 (人)	職 員	20.0%		0.05	0.25	-
	嘱託・臨時等	80.0%		0.95	1.00	-
	合 計	100.0%	0.00	1.00	1.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募倍率1.9倍		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 高齢化に対応した事業である。		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	3	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 神間高齢者大 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト	-2	-2
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている 内容: 受講者に適切な受益者負担を求めている。		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 時代に合ったコースの新設	改善内容: 時代に合ったコースや学習テーマを設定した。	総合評価: B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	学習することに生きがいを感じる元気な高齢者を増やしたい。			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	職員の資質向上のための職員研修	
		実施期限	平成	16年 8月
	(2)	対応内容		
		実施期限	平成	年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容		
		実施期限	平成	年 月
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。 時代に合った魅力的な講座を編成することにより生涯学習に励む高齢者を支援する。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	参加者の満足度を把握し,より多くの人に参加できるよう検討してください。			

(一般事業)	事業コード	3210070
平成15年度	事業名	芦屋川セカンド・カレッジ

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	山口 保男		
体系	細					電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条					委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託内容			
事業の概要	芦屋川カレッジ修了生対象の高齢者大学。								
事業の現状	テーマをしばった2つのコースを設け、各100名募集している。 平成15年度のテーマ Aコース「激動の20世紀日本～なぜ「戦争の世紀になったか」 Bコース「身近な「もの」を通して見えてくる東西世界」								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	講座回数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	20回	20回	20回	20回	20回		
	結果指標(2)	単位コスト	333,000円/回	180,000円/回	195,000円/回	194,000円/回	193,000円/回		
		指標名							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	学習意欲を持つ芦屋川カレッジ修了生。							
	対象カバー率	対象数(a)	1,800人	受益数(b)	261人	比率(b÷a)%	15%		
	意図(対象を主語にして)	芦屋川カレッジの修了生がより高度な教養を身に付ける。							
大きな目的	生涯学習の推進								
アウトカム指	中間成果指標	指標名	応募率						
		考え方・式	応募者数÷募集定員						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果指標	指標値	156%	124%	138%	139%	140%		
		指標名	延べ出席者						
		考え方・式	Aコース、Bコースの延べ出席者数						
芦屋市の特色など補足する事項	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	指標値	2,225人	1,958人	1,949人	1,955人	1,960人			

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	100	住民1人当り(円)	43	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	81.3%	5,913	2,874	3,165	-
	事業費	18.7%	740	726	729	734
	他部門経費					-
	減価償却費					-
	合計	100.0%	6,653	3,600	3,894	734
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	20.1%	592	514	783	660
活動配分 (人)	一般財源	79.9%	6,061	3,086	3,111	74
	職員	100.0%		0.35	0.40	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	0.35	0.40	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率138%		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 高齢化に対応した事業である。		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ, 市民の生命, 安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	4	4
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		
効率性 3点	単位コスト(1~ 1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 神間高齢者大 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-2
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在, 適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし, 過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 受講者に適切な負担を求めている。		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 時代に合ったテーマの設定 改善内容: 視野を広げるテーマを設定した	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	継続して学習に励む元気な高齢者を増やしたい。		
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	職員研修による資質向上
		実施期限	平成 16 年 8 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。 時代に合った魅力的な講座を編成することにより生涯学習に励む高齢者を支援する。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	参加者の満足度を把握し, より多くの人が参加できるよう検討してください。		

(一般事業)	事業コード	3210080
平成15年度	事業名	常設展示事業・公民館ギャラリー

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	山口 保男		
体系	細			電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間				経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	市民の学習成果の発表の場を提供すると共に文化意識の向上を図るため常設展示事業・公民館ギャラリーを開設する。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示場でテーマを設定した展示を行う。 ・市民の学習成果の発表の場として公民館ギャラリーを開催する。 						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	常設展示・公民館ギャラリー展示日数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	166日	221日	173日	180日	185日
	結果指標 (2)	指標名	展示グループ数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	21	16	19	20	21

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	社会教育関係団体					
	対象カバー率	対象数(a)	434団体	受益数(b)	19グループ	比率(b÷a)%	4%
	意 図 (対象を主語にして)	社会教育関係団体が展示をすることにより市民の文化意識の向上を図る。					
大きな目的	生涯学習の推進						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	稼働率				
		考え方・式	展示日数÷開館日数 平成13年度～平成15年度の開館日数は305日				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	54%	72%	57%	60%	65%	
	最終成果 指 標	指標名					
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	31	住民1人当り(円)	13	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	95.3%	1,142	2,425	1,150	-
	事業費	4.7%	129	125	57	100
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	1,271	2,550	1,207	100	
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	1,271	2,550	1,207	100	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%		0.25	0.10	-
	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.00	0.25	0.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	3
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 稼働率57% <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 学習成果発表意欲のある市民の増加に対応する事業である。 <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える - 成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間公民館 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-3
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 展示料の徴収実施 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 展示料の徴収 改善内容: 平成16年度より展示料を徴収することにした。	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	開かれた公民館として市民が気楽に展示できるような展示場の経営をめざす。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	公民館ギャラリーのPR
		実施期限	平成 16 年 7 月
	(2)	対応内容	充実した常設展示の実施
		実施期限	平成 16 年 8 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。 平和等のテーマを定めた常設展示を充実させる。 市民の学習成果の発表の場として公民館ギャラリーの有効活用をめざす。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	ギャラリー,常設展示場の有効利用及び利用者を増やす検討を行ってください。		

(一般事業)	事業コード	3210090
平成15年度	事業名	おしゃべり音楽会

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	山口 保男		
体系	細					電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条					委託	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	市民の参画により様々な音楽を聴く場を設け、情操を高める。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	毎月1回土曜日に公民館音楽室を中心に音楽会を開催する。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	開催回数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	12回	14回	12回	12回	12回		
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	20歳以上の市民							
	対象カバー率	対象数(a)	71,000人	受益数(b)	2,347人	比率(b÷a)%	3.3%		
	意 図 (対象を主語にして)	20歳以上の市民が音楽を聴き、情操を高める。							
大きな目的	生涯学習の推進								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	応募率						
		考え方・式	応募者数÷募集人員						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	延べ参加者数						
		考え方・式	参加者の合計						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	2,510人	2,790人	2,347人	2,350人	2,355人		
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	91	住民1人当り(円)	39	平成16.4.1 住民基本台帳	
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	79.9%	11,417	2,990	2,802	-	
	事業費	20.1%	817	837	707	785	
	他部門経費					-	
	減価償却費					-	
		合計	100.0%	12,234	3,827	3,509	785
財 源 (千円)	国 庫						
	市 債 等						
	そ の 他	10.1%			355	540	
		一般財源	89.9%	12,234	3,827	3,154	245
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%		0.30	0.25	-	
	嘱託・臨時等					-	
	合計	100.0%	0.00	0.30	0.25	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 応募率241% <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握		
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 情操の純化を図る事業である。 <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	4
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 阪神間公民館 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-3
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 最小限の人員で運営している。 <input type="checkbox"/> 特に行っていない		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 受講料の改定 改善内容: 受講料を300円から500円にした。	総合評価	B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	地元の音楽家を発掘すると共に質の高い音楽を提供したい。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	地元の音楽家の発掘(年間)				
		実施期限	平成	17	年	3	月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。			今後の方向性	1次評価	2次評価	
	地元の音楽家による質の高い音楽を提供していく。			拡大・充実			
				現状維持			
				方法改善			
				民間委託等			
			縮小				
			統合/終期設定				
			廃止/休止				
2次評価委員会コメント	課題対応に向けて十分な検討を行ってください。						

(一般事業)	事業コード	3210110
平成15年度	事業名	芦屋市ITサポートセンターの運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	山口 保男		
体系	細					電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間	平成14年4月～平成16年3月		経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条および第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条								
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	委託内容 パソコン講座・ヘルプデスク業務		
事業の概要	平成13年度に実施したIT講習後の市民の学習ニーズや様々な相談に応じるためITサポートセンターを運営する。								
事業の現状	平成13年度に実施したIT講習後の市民の学習ニーズに応えるため、年間120回のパソコン講座と年間を通してのヘルプデスク業務を実施。								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	開設日数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値		241日	243日	237日			
	結果指標(2)	指標名							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値							
単位コスト		17,000円/日	38,000円/日	39,000円/日					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	20歳以上の市民。							
	対象カバー率	対象数(a)	71,000人	受益数(b)	1,993人	比率(b÷a)%	3%		
	意図 (対象を主語にして)	20歳以上の市民にIT関連の学習情報を提供する。							
大きな目的	生涯学習の推進								
アウトカム指	中間成果	指標名	パソコン講座応募率						
		考え方・式	応募者÷募集定員						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果	指標名	相談件数						
		考え方・式	電話と来館による相談件数の和						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値		623件	1,482件	1,490件					
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)		232	住民1人当り(円)		100	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内訳 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)			
	人件費	63.5%		1,523	5,695	-		
	事業費	36.5%		2,596	3,276	4,500		
	他部門経費					-		
	減価償却費					-		
	合計	100.0%	0	4,119	8,971	4,500		
財源 (千円)	国・県	36.5%		2,596	3,276	4,500		
	市債等							
	その他							
活動配分 (人)	一般財源	63.5%	0	1,523	5,695	0		
	職員	100.0%		0.15	0.70	-		
	嘱託・臨時等					-		
合計	100.0%	0.00	0.15	0.70	0.00			

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している (パソコン講座応募率361%)				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 情報化社会に対応した事業である				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	4	4		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある (団体名:) <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している (単位コスト:) ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由:	-2	-3		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求められることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容:				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: ITに関する市民のニーズに応える。	改善内容: パソコン講座の年間開催回数を前年度比1.7倍にした。	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	補助金打ち切りによる事業廃止後、市民のIT関係の学習ニーズにどう応えるか。						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	学習グループの育成				
		実施期限	平成	17	年	3	月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア							
平成17~19年度の方向性	補助金打ち切りのため廃止する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等縮小					
		統合/終期設定					
		廃止/休止					
2次評価委員会コメント							

(一般事業)	事業コード	3210140
平成15年度	事業名	公民館図書室の運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 公民館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	山口 保男		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	山口 保男		
体系	細					電話番号	0797-35-0700	内線	91-510
事業期間	昭和42年11月~		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	社会教育法第20条及び第22条 芦屋市立公民館設置条例第3条					委託	先 <input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input type="checkbox"/> 名称		<input type="checkbox"/> 委託内容						
事業の概要	生涯学習の推進並びに教養の向上のため図書室を運営する。								
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	公民館の施設としての図書室を整備し、図書館と連携を図って運営を行う。 ・休日...火・日曜日、国民の祝日 年未年始 開室時間...午前9時30分~午後5時								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	貸出利用者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	10,521人	10,610人	11,802人	11,810人	11,815人		
	単位コスト	587円/人	509円/人	354円/人	350円/人	345円/人			
	結果指標 (2)	指標名							
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値									

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	芦屋市民							
	対象カバー率	対象数(a)	89,000人	受益数(b)	11,802人	比率(b÷a)%	13%		
	意 図 (対象を主語にして)	芦屋市民に様々な学習情報を提供する。							
大きな目的	生涯学習の推進								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	登録者数						
		考え方・式	新規に登録した人の数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	98人	119人	138人	140人	145人			
	最終成果 指 標	指標名	貸出利用冊数						
		考え方・式	今年度貸出利用冊数						
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	27,035冊	23,662冊	30,059冊	30,065冊	30,070冊				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	108	住民1人当り(円)	47	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	52.2%	4,011	3,212	2,181	-
	事業費	47.8%	2,162	2,189	1,998	1,825
	他部門経費					-
	減価償却費					-
合 計	100.0%	6,173	5,401	4,179	1,825	
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	6,173	5,401	4,179	1,825	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%		0.40	0.25	-
	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.00	0.40	0.25	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	4
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 貸出利用冊数30059冊		
	社会環境変化(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 様々な学習情報を求める市民の増加に対応する事業である。		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3
	受益者(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	成果の実績(2~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると見える		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 神間公民館図書 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由:	-2	-2
	受益者負担(0~ 1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: 最小限の人員で運営している。		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 市民サービスの向上	改善内容: 臨時的任用職員の研修	総合評価: B B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	利用者を増やす。 市民の新しい情報提供要求に応えられるような図書を増やしたい。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	時代に合うすぐれた本の定期的購入(年間)
		実施期限	平成 17 年 3 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	効率性において問題があるように思われるので方法の改善を図る。 図書室を時代に合った新しい情報提供の場にしていく。	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント			

(一般事業)	事業コード	3210150
平成15年度	事業名	図書館運営事業(収集整理利用)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 図書館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	赤川 俊雄		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備			記入者氏名	赤川 俊雄		
体系	細					電話番号	0797-31-2301	内線	3297
事業期間	昭和24年～		経常臨時	<input type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	図書館法、図書館設置条例					委託先			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称			<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	資料の収集、整理、保存及び利用に関する業務								
事業の現状	・施設の維持管理 ・蔵書数 ... 346,437冊 ・利用人数(15年度) ... 173,746人 ・資料の収集(選書・発注・受入・装備・整理・保存), 利用(インターネットの活用), リクエスト ・相互利用, 相互協力, 館外奉仕, 障害者奉仕, 予約業務 ・参考調査相談業務 ・開館時間 本館 火～金 9:30～18:00 土・日 9:30～17:00 分館 水～土 9:30～17:00								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	館外貸出冊数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	626,938冊	630,263冊	649,039冊	655,000冊	660,000冊		
	結果指標(2)	指標名	蔵書受入冊数(購入+寄贈)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	13,793冊	14,582冊	14,534冊	10,000冊	12,000冊		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	芦屋市に在住・在勤者及び阪神7市1町在住者, その他市民							
	対象カバー率	対象数(a)	89,000	受益数(b)	27,773人(登録者数)	比率(b÷a)%	31%		
	意図 (対象を主語にして)	・図書資料を収集・整理・保存して, 一般市民の閲覧・貸出などの利用に供する。 ・市民の調査研究, レクリエーションに利用してもらう。 ・子どもの読書推進に資する。							
大きな目的	図書館からの幅広い学習機会の提供により, 住民の生涯学習を支援していく。								
アウトカム指	中間成果	指標名	還元率						
		考え方・式	利用登録者数(登録率)						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	24,337人(28%)	21,029人(24%)	27,773人(31%)	30,000人(33%)	35,000人(39%)			
	最終成果	指標名	生涯学習機会率(定期的な生涯学習の機会を持つ市民割合)%						
考え方・式		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
芦屋市の特色など補足する事項	・資料の収集にあたっては, 児童書, 芸術分野の特色を維持しながら総合的な蔵書構成をめざす。 ・人口10万規模で人口100人当たりの蔵書冊数 全国順位第3位(平成14年)								

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	5,647	住民1人当り(円)	2,442	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	44.7%	127,687	103,620	97,857	-
	事業費	45.2%	84,735	99,620	98,995	94,976
	他部門経費					-
	減価償却費	10.0%	20,969	20,969	21,970	-
合計	100.0%	233,391	224,209	218,822	94,976	
財源 (千円)	国・県		521			
	市債等					
	その他	1.2%	3,133	2,920	2,632	2,466
一般財源	98.8%	230,258	220,768	216,190	92,510	
活動配分 (人)	職員	56.0%	10.60	10.00	10.70	-
	嘱託・臨時等	44.0%	8.20	8.50	8.40	-
	合計	100.0%	18.80	18.50	19.10	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	3	4		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: インターネットによる検索				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	3	3		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 高砂市 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-2	-3		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 人件費を抑制している				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 ・図書館の効率運営について	改善内容 ・費用の軽減(正規職員2名の減員)	総合評価	B	B

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	蔵書数の維持 ボランティア活用による経費節減			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称	意見,要望内容		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	有償ボランティアによる打出分室の運営	
		実施期限	平成 16 年 9 月	
	(2)	対応内容	民間活力による図書館運営	
		実施期限	平成 18 年 4 月	
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容		
		実施期限	平成 年 月	
		高齢者への対応(老人福祉施設等との協力・連携による拡充)		
平成17~19年度の方向性	ボランティアの育成・活用 民間委託による図書館運営の検討	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	民間活力の導入の検討を行ってください。			

(一般事業)	事業コード	3210170
平成15年度	事業名	図書館運営事業(視聴覚ライブラリー)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 図書館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	赤川 俊雄		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	赤川 俊雄		
体系	細			電話番号	0797-31-2301 内線 3297		
事業期間	昭和62年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	図書館設置条例			委託			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	視聴覚教育の調査研究に関する業務 視聴覚教材・教具の製作及び整備と活用						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	市民及び学校並びに社会教育登録団体等がフィルム・レーザーディスク・DVD・CD等の利用に供するため。 ・視聴覚教育についての調査・研究、指導・助言(16ミリ映写機技術講習会開催) ・所蔵本数 16ミリフィルム 376本, 8ミリフィルム 8本, VTR 874本, レーザー・デスク(LD) 1,181本 レーザー・デスク(DVD) 174本, コンパクトデスク(CD) 580本						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	一般利用人数(LD・CD等)(延べ人数)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	3,698人	4,064人	3,815人	4,000人	4,000人
	結果指標 (2)	指標名	学校・登録団体利用者数(延べ人数)				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	3,114人	1,456人	1,774人	2,000人	2,000人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	・芦屋市に在住, 在勤及び在学者 ・学校及び登録団体					
	対象カバー率	対象数(a)	89,000人	受益数(b)	5,589人	比率(b÷a)%	6%
意 図 (対象を主語にして)	・視聴覚教材・教具の製作, 整備して, 学校・団体に活用してもらう。 ・映画会上映や個人利用などレクリエーションに供する。						
大 き な 目 的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により, 住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	ライブラリー利用率				
		考え方・式	ライブラリー利用者数/図書館利用者×100				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	4	3	3	4	4
		指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値							
芦屋市の特色など補足する事項							

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	122	住民1人当り(円)	53	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	94.8%	2,424	3,722	4,479	-
	事業費	5.2%	284	245	248	187
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	2,708	3,967	4,727	187
	国・県					
	市債等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	2,708	3,967	4,727	187
	職 員	100.0%			0.50	-
配 分	嘱託・臨時等	0.0%			0.00	-
	合 計	100.0%	0.00	0.00	0.50	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	-3	-3		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容:メディア規格が陳腐化している。				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-1		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	-2	-4		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容:				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚ライブラリーのメディア規格の陳腐化により,再生機器の部品が入手困難 ・視聴覚教材利用減少 						
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称						
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	市広報等への講習会の開催案内				
		実施期限	平成	17	年	4	月
	(2)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
	(3)	対応内容					
		実施期限	平成		年		月
その他考えられる改善のアイデア	教材等の相互活用						
	教材目録の発行・配布						
平成17~19年度の方向性	視聴覚教育について,必要性はあるものの,市の負担せず現状を維持しながら,運営する。	今後の方向性	1次評価	2次評価			
		拡大・充実					
		現状維持					
		方法改善					
		民間委託等					
		縮小					
2次評価委員会コメント	貴重なフィルムなどの保管方法について検討し,事業縮小に努めてください。	統合/終期設定					
		廃止/休止					

(一般事業)	事業コード	3210180
平成15年度	事業名	図書館運営事業(読書会・研究会・鑑賞会等の主催)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 図書館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	赤川 俊雄		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	赤川 俊雄		
体系	細			電話番号	0797-31-2301 内線 3297		
事業期間	昭和28年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	図書館法, 図書館設置条例			委託先	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			委託内容	ボランティア		
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称			<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託			
事業の概要	市民に多様な学習機会を提供する。						
事業の現状	催物を開催し、市民の利用に供し、その教養・研究等に質す。(選書アドバイス等) ・金曜シネサロン(映画鑑賞) 49回 4,538人 ・折り紙教室 2回 145人 ・子どもおはなしの会 43回 952人 ・絵本の会 43回 1,015人 ・人形劇 1回 200人 ... 他 42回 874人						
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	開催回数(全催物合計回数)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	175回	174回	180回	185回	185回
	結果指標(2)	指標名	参加人数(全催物参加人数)				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	6,953人	7,648人	7,724人	8,000人	8,000人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	・芦屋市に在住・在勤の成人及び乳幼児・保護者					
	対象カバー率	対象数(a)	89,000	受益数(b)	7,724	比率(b÷a)%	8.68%
	意図 (対象を主語にして)	・図書館の利用者を増やす ・物語りや本に親しむ機会にする					
大きな目的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により、住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム指	中間成果	指標名	来館者増加率(催物による増加)				
		考え方・式	催物参加者数/来館者数×100				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果	指標名					
		考え方・式					
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	154	住民1人当り(円)	67	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	98.1%	11,301	14,018	5,846	-
	事業費	1.9%	134	130	115	119
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財源 (千円)	合計	100.0%	11,435	14,148	5,961	119
	国・県					
	市債等					
活動配分 (人)	その他					
	一般財源	100.0%	11,435	14,148	5,961	119
	職員	57.1%			0.80	-
活動配分 (人)	嘱託・臨時等	42.9%			0.60	-
	合計	100.0%	0.00	0.00	1.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高い <input checked="" type="checkbox"/> 数字で把握している 行事ごとの参加人数 <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行う事業ではない <input type="checkbox"/> ニーズが高いとは言えない,または未把握 <input type="checkbox"/> 未把握				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: _____ <input type="checkbox"/> 社会環境の変化にあわせた見直しが必要				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	1		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり _____ <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	-3	-4		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容: _____				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け行事の低年齢者の参加者の増加に対する行事計画 乳幼児向けの読書相談,選書アドバイスの必要性 				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	・特になし		
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
			図書館で行事を開催することにより,その教養・研究等に質し,図書館の利用を図る。		
平成17~19年度の方向性	子ども向けには,乳幼児・子育ての親に読書相談を実施し,参加者人数を増やし,合わせて会の充実を図る。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	映画鑑賞会は廃止すること。				

(一般事業)	事業コード	3210190
平成15年度	事業名	図書館運営事業(資料発行)

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 図書館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	赤川 俊雄		
政策施策	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	赤川 俊雄		
体系	細			電話番号	0797-31-2301 内線 3297		
事業期間	昭和43年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	市		
根拠法令・要綱等	図書館設置条例			委託			
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	・図書館に関する情報及び参考資料の紹介並びに提供業務						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	・図書館だより「みんなの本だな」の発行(毎月1回) ・広報あしやに掲載 ・市内公共施設(9ヶ所)に設置						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	発行部数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	1,000部	1,200部	1,200部	1,200部	1,200部
	結果指標 (2)	指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値					

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	・芦屋市民					
	対象カバー率	対象数(a)	89,000	受益数(b)	1,200	比率(b÷a)%	1%
	意 図 (対象を主語にして)	・図書館に関する関心及び利用・参加を促す。 ・行事の案内、情報提供により図書館への関心、利用・参加を促す。					
大きな目的	・図書館からの幅広い学習機会の提供により、住民の生涯学習を支援していく。						
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	来館者人数				
		考え方・式	利用参加を促す				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	最終成果 指 標	指標値	168,968人	168,250人	173,746人	175,000人	180,000人
		指標名					
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	83	住民1人当り(円)	36	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	100.0%	3,325	5,073	3,223	-
	事業費	0.0%	0	0	0	0
	他部門経費					-
	減価償却費					-
財 源 (千円)	合 計	100.0%	3,325	5,073	3,223	0
	国 庫					
	市 債 等					
活 動 配 分 (人)	そ の 他					
	一 般 財 源	100.0%	3,325	5,073	3,223	0
	職 員	100.0%			0.40	-
配 分	嘱 託・臨 時 等	0.0%			0.00	-
	合 計	100.0%	0.00	0.00	0.40	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	1	-2		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: インターネットの活用				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input checked="" type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	2		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	0	-4		
	受益者負担(0~1) <input type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 印刷を庁内印刷で実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	・紙面等の改善について					
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称					
課題・要望等への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア	新本の情報提供だけでなく,図書館の催し物の開催の案内等,常に新しい情報提供をめざす。					
	発行ページ枚数の検討(ページの減数)					
	ホームページの充実					
平成17~19年度の方向性	ホームページの内容充実の検討			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
			統合/終期設定			
			廃止/休止			
2次評価委員会コメント	啓発媒体の検討を行ってください。					

(内部事務)	事業コード	3210240
平成15年度	事業名	谷崎潤一郎記念館の管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 谷崎潤一郎記念館		
政策施策	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	三好 雄介		
体系	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	三好 雄介		
事業期間	昭和62年10月～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-23-5852 内線		
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金			委託			
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	谷崎潤一郎記念館の維持管理						
事業の現状	谷崎潤一郎記念館の維持管理 ・施設補修 ・各設備等保守点検 ・清掃 ・夜間機械警備						
目的実現のための手段及び実施内容							
アクティブ指標	活動指標	指標名	補修を要する箇所件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	2件	1件	3件	1件	1件
アウトプット指標	結果指標	指標名	補修件数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	2件	1件	3件	1件	1件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	市が管理する谷崎潤一郎記念館				
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b ÷ a) %		
	意図	谷崎潤一郎記念館の設備・施設を良好にし、来館者が安全快適に観覧できるようにする。 (対象を主語にして)				
大きな目的	目的	設備・施設を良好に維持管理し、安全快適に観覧できるようにすることにより来館者の増加を目指す。				
アウトカム指標	中間成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者の満足度			
		考え方・式	より良い施設環境を維持することによる来館者の満足度の割合(%)。未調査のため実績不明。			
	年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
	指標値	不明	不明	不明	不明	不明
最終成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数				
	考え方・式	満足度が向上することによる来館者数の増加				
年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
指標値	15,402人	11,764人	11,718人	15,000人	20,000人	
芦屋の特色など	全国唯一本市に「谷崎潤一郎記念館」がある。					

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	512	住民1人当り(円)	221	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内訳(千円)	人件費	12.1%		2,396	-	
	事業費	60.3%	12,341	7,516	11,956	7,653
	他部門経費	3.4%			676	-
	減価償却費	24.2%			4,792	-
	合計	100.0%	12,341	7,516	19,820	7,653
財源(千円)	国・県	8.1%		1,600		
	市債等					
	その他	0.3%	43	56	56	50
	一般財源	91.6%	12,298	7,460	18,164	7,603
活動配分(人)	職員	100.0%	0.20	0.20	0.20	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.20	0.20	0.20	0.00

4 評価(チェック)

評価視		評価チェックリスト		1次評価	2次評価	
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	0
	受益者(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
	-成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり PRの強化等営業努力が必要。 <input checked="" type="checkbox"/> 特になし				
効率 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多い,または少ない場合の理由	団体名 全国文学館 活動配分	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	-2	-4
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い,または低い場合の理由	団体名 全国文学館 単位コスト	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い		
手段 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1)	<input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない ↳ 内容 事業全体の見直しを行い,コスト削減を図る。				
平成15~16年度に実施した改善内容		課題 機械設備の老朽化	改善内容 平成15年度に空調機器の取替を行う。	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	空調機器の交換が終了し,今のところ施設面で緊急を要するものはない。 コスト削減には開館日数を減らすことしかない。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	民間活力導入の検討。 開館日の変更の検討。(休館日1日 3日) 施設の老朽化が進んでいるので,補修計画を立てることが必要。 *民間活力導入が理想であるが,寄贈・寄託等への対応が難しい。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	美術博物館と合わせて民間活力の導入を検討して下さい。				

(一般事業)	事業コード	3250170
平成15年度	事業名	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現		谷崎潤一郎記念館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援	所管課長氏名	三好 雄介		
体系	細			記入者氏名	三好 雄介		
事業期間	平成12年度～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-23-5852 内線		
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	わが国文学界の権威ある賞として知られる, 中央公論新社主催「谷崎潤一郎賞」の受賞者を招き, 講演会を行う。						
事業の現状	谷崎潤一郎記念館が本市にあることから, 「谷崎潤一郎賞」受賞記念文学事業として取り組み, 中央公論新社・読売新聞大阪本社・本市の共催事業として定着。近畿各地から参加者がある。会場として, ルナ・ホールを利用しているが, 昨年は講演者の日程の都合等でホテル竹園で開催した。						
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	「谷崎潤一郎賞」受賞記念事業参加者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	約600人	約400人	254人	600人	600人
	結果指標 (2)	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	15,402人	11,764人	11,718人	15,000人	20,000人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	近畿圏の谷崎潤一郎作品及び文学愛好者				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	254人	比率(b÷a)%	
	意図(対象を主語にして)	民間活力の導入を図りながら開催する事業として定着してきた。谷崎潤一郎記念館のPRとともに本市が発信する文化事業として民間の持つ豊富なアイデアと人脈を活用しながら事業の充実を図りたい。				
大きな目的	関西(芦屋)から発信する文化事業として定着させ, 谷崎潤一郎記念館の活性化と谷崎文学の拠点として文化振興に寄与する。					
アウトカム指	中間成果	指標名	谷崎潤一郎記念館の周知度			
		考え方・式	事業が谷崎潤一郎記念館のPRにどのような効果があったのか(%)。未調査のため実績不明。			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	最終成果	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数			
		考え方・式	講演会実施による谷崎文学のPRで来館者の増加につながったのか。			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
芦屋市の特色など補足する事項	全国唯一本市に「谷崎潤一郎記念館」がある。					

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円) 26	住民1人当り(円) 11	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	58.6%			599	-		
	事業費	41.4%	721	603	423	751		
	他部門経費	0.0%			0	-		
	減価償却費	0.0%			0	-		
	合計	100.0%	721	603	1,022	751		
財源(千円)	国・県							
	市債等							
	その他	0.0%	0	0	0	0		
活動配分(人)	一般財源	100.0%	721	603	1,022	751		
	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-		
	嘱託・臨時等					-		
合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00			

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	-1	-3		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	0		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない				
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-1	-2		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている ↳ 内容 民間と共催することで経費の削減が図られている <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容		
課題・要望等への対応	(1) 対応内容 実施期限 平成 年 月		
	(2) 対応内容 実施期限 平成 年 月		
	(3) 対応内容 実施期限 平成 年 月		
その他考えられる改善のアイデア			
平成17~19年度の方向性	民間との協力関係の強化。 事業PRの強化。 参加費用負担の検討。		
2次評価委員会コメント	美術博物館と合わせて民間活力の導入を検討して下さい。		
	今後の方向性	1次評価	2次評価
	拡大・充実		
	現状維持		
	方法改善		
	民間委託等		
	縮小		
	統合/終期設定		
	廃止/休止		

(一般事業)	事業コード	3250190
平成15年度	事業名	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現				谷崎潤一郎記念館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			所管課長氏名	三好 雄介		
体系	細					記入者氏名	三好 雄介		
事業期間	昭和62年10月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-23-5852	内線	
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則					実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金		
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	谷崎潤一郎に関する資料の収集・整理・展示等を行う。								
事業の現状	展覧会の開催 ・企画展の開催 1回 ・常設展の開催 1回								
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	企画展の開催回数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	1回	1回	1回	1回	1回		
	結果指標(2)	指標名	企画展の来館者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	2,163人	1,923人	1,863人	3,000人	3,000人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	全国の谷崎潤一郎作品及び文学愛好者								
対象・意図	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		比率(b÷a)%					
	意図(対象を主語にして)	文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰し、谷崎文学に親しむ拠点として建設されており、全国唯一の谷崎潤一郎記念館。白筆原稿・書簡・書籍・愛用品等を展示。谷崎文学の世界を楽しんでいただく。								
大きな目的	谷崎潤一郎文学の業績をしのび、その作品、遺品等に接することを通じて市民の教養の向上を図り、もって市民文化の発展に寄与する。谷崎作品は、各国語にも翻訳されておりさらにPRを充実させることで外国人の来館も期待できる。									
アウトカム指	中間成果指標	指標名	来館者の満足度							
		考え方・式	より良い展覧会を開催することによる来館者の満足度の割合(%)。未調査のため実績不明。							
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
	指標値	不明	不明	不明	不明	不明				
	最終成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数							
考え方・式		より良い企画展を開催することによる来館者数の増加。								
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)				
指標値	15,402人	11,764人	11,718人	15,000人	20,000人					
芦屋市の特色など補足する事項	全国唯一本市に「谷崎潤一郎記念館」がある。									

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円)	146	住民1人当り(円)	63	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	0.0%			0					
	事業費	100.0%	5,246	5,935	5,672					5,953
	他部門経費	0.0%			0					
	減価償却費	0.0%			0					
	合計	100.0%	5,246	5,935	5,672	5,953				
財源(千円)	国・県									
	市債等									
	その他	54.3%	4,027	3,121	3,080	3,417				
活動配分(人)	一般財源	45.7%	1,219	2,814	2,592	2,536				
	職員	#DIV/0!	0.00	0.00	0.00	-				
	嘱託・臨時等									
合計		0.00	0.00	0.00	0.00					

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	-1	1		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	2	0		
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: 全国文学館 <input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	-1	-3		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input type="checkbox"/> 徴収可能)				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 事業全体の見直しの中でコスト削減に取り組む。 <input checked="" type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	来館者の増加のため,PR方法の強化が必要。 展覧会の内容充実					
市民,関係者からの意見等	市民,関係者の名称 意見,要望内容					
課題・要望への対応	(1)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(2)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成	年	月	
その他考えられる改善のアイデア						
平成17~19年度の方向性	PR方法の強化。(ホームページ・記念館ニュースの内容の充実) 民間活力の導入検討。 *民間活力の導入が理想であるが,寄贈・寄託等への対応が難しい。			今後の方向性	1次評価	2次評価
				拡大・充実		
				現状維持		
				方法改善		
				民間委託等		
				縮小		
				統合/終期設定		
				廃止/休止		
2次評価委員会コメント	美術博物館と合わせて民間活力の導入を検討して下さい。					

(一般事業)	事業コード	3250210
平成15年度	事業名	谷崎潤一郎及び記念館に関する資料等の出版事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現		谷崎潤一郎記念館		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援	所管課長氏名	三好 雄介		
体系	細			記入者氏名	三好 雄介		
事業期間	昭和62年10月～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	電話番号	0797-23-5852 内線		
根拠法令・要綱等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則			実施主体	市		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	谷崎潤一郎記念館ニュースの編集及び発行(～15年度年2回,16年度～年1回)						
事業の現状	谷崎潤一郎記念館ニュースは,館のPR紙として谷崎作品に関する解説・研究報告,谷崎潤一郎研究者からの寄稿,展覧会案内,事業PR及び報告,利用案内等掲載している。ホームページとともに貴重なPR手段である。 *平成15年度第38号,第39号 各2,000部発行						
アウトプット指	結果指標(1)	指標名	谷崎潤一郎記念館ニュース発行部数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	4,000部	4,000部	4,000部	2,000部	2,000部
	結果指標(2)	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数				
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	15,402人	11,764人	11,718人	15,000人	20,000人

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	全国の谷崎潤一郎作品及び文学愛好者				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	比率(b÷a)%		
	意図(対象を主語にして)	文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰し,谷崎文学に親しむ拠点として建設されており,全国唯一の谷崎潤一郎記念館。自筆原稿,書簡,書籍,愛用品等を展示。谷崎文学の世界を楽しんでいただく。				
大きな目的	谷崎潤一郎文学の業績をしのび,その作品,遺品等に接することを通じて市民の教養の向上を図り,もって市民文化の発展に寄与する。谷崎作品は,各国語にも翻訳されておりさらにPRを充実させることで外国人の来館も期待できる。					
アウトカム指	中間成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館の周知度			
		考え方・式	谷崎潤一郎記念館のPR効果(%)。未調査のため実績不明。			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	最終成果指標	指標名	谷崎潤一郎記念館来館者数			
		考え方・式	ニュース発行によるPR効果で来館者増につながったか。			
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	30	住民1人当り(円)	13	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	52.0%		599	-	
	事業費	48.0%	804	585	552	585
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
合計	100.0%	804	585	1,151	585	
財源	国・県					
	市債等					
	その他					
一般財源	100.0%	804	585	1,151	585	
活動配分(人)	職員	100.0%	0.05	0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.05	0.05	0.05	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	1	-1
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している		
	優先性, 緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	2	-2
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している		
	- 成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある	-1	-2
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		
	コスト削減取組(1~ 1) <input type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 経費削減のため発行回数を減らす	改善内容 平成16年度から年2回から年1回に発行回数を減らした。	総合評価 D D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	来館者の増加のため,PR方法の強化が必要。		
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称		
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
平成17~19年度の方向性	P R 方法の強化。(ホームページの充実,ニュース内容の充実。)	今後の方向性	1次評価 2次評価
		拡大・充実	
		現状維持	
		方法改善	
		民間委託等	
		縮小	
		統合/終期設定	
		廃止/休止	
2次評価委員会コメント	美術博物館と合わせて民間活力の導入を検討して下さい。		

(内部事務)	事業コード	3210260
平成15年度	事業名	美術博物館管理運営

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市総合計画	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部美術博物館
政策施策	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	三好 雄介
体系	小	1	学習推進体制の整備	記入者氏名	三好 雄介
事業期間	細			電話番号	0797-38-5432
根拠法令・要綱等			平成3年3月~	内線	
実施手法			芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則	実施主体	芦屋市
委託			<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
事業の概要			<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財) 芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の現状			美術博物館の維持, 管理		
目的実現のための手段及び実施内容			美術博物館の維持, 管理 ・施設補修 ・各設備保守点検 ・清掃 ・夜間警備		
アクティブ指標	活動指標	指標名	補修を要する箇所件数		
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)
		指標値	5件	7件	0件
		単位コスト			
		年度	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
		指標値	3件	3件	
アウトプット指標	結果指標	指標名	補修件数		
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)
		指標値	5件	7件	0件
		年度	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)	
		指標値	3件	3件	

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的	対象	美術博物館及び来館者
対象・意図	対象カバー率	対象数(a) 受益数(b) 比率(b ÷ a) %
	意図	美術博物館の設備, 施設を良好に維持管理し, 来館者が安全快適に観覧できるようにする。 (対象を主語にして)
大きな目的		設備, 施設を良好に維持管理し, 安全快適に観覧できるようにすることにより来館者の増加をめざす。
アウトカム指標	中間成果指標	指標名 美術博物館来館者の満足度 考え方・式 より良い施設環境を維持することによる来館者の満足度の割合(%)。未調査のため実績不明。
		年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)
		指標値 不明 不明 不明 不明 不明
	最終成果指標	指標名 美術博物館来館者数 考え方・式 美術博物館来館者の満足度が向上することによる来館者数の増加
		年度 平成13年度(実績) 平成14年度(実績) 平成15年度(実績) 平成16年度(目標) 平成17年度(目標)
		指標値 48,737人 20,831人 24,080人 35,000人 35,000人
芦屋の特色など		

3 事業費・活動配分(コスト)

事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	1世帯当り(円) 1,755	住民1人当り(円) 759	平成16.4.1 住民基本台帳
内訳(千円)	人件費	11.5%		8,065	7,787	-		
	事業費	40.5%	40,038	38,473	27,537	33,155		
	他部門経費	0.0%			0	-		
	減価償却費	48.0%		32,664	32,664	-		
	合計	100.0%	40,038	79,202	67,988	33,155		
財源(千円)	国・県							
	市債等							
	その他	2.0%	2,004	1,273	1,351			
	一般財源	98.0%	38,034	77,929	66,637	33,155		
活動配分(人)	職員	100.0%		0.65	0.65	-		
	嘱託・臨時等					-		
	合計	100.0%	0.00	0.65	0.65	0.00		

4 評価(チェック)

評価視点		評価チェックリスト		1次評価	2次評価			
有効性 4点	対象カバー率(1~1)	<input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	<input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	-2		
	受益者(1~1)	<input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合, または受益が一部に限定						
	成果の実績(2~1)	<input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し, 目標値を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言えない						
	- 成果向上余地(1~1)	成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし						
効率 4点	活動配分(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している <input type="checkbox"/> 他団体より少ない 多し, または少ない場合の理由	団体名 活動配分 <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体より多い	-2	-2		
	単位コスト(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い 高い, または低い場合の理由	団体名 単位コスト <input type="checkbox"/> 他団体と同程度	<input type="checkbox"/> 比較できる団体はない <input checked="" type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い				
手段 4点	手段(1~3)	直営(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 行政職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人, 家庭, 地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業, NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託, 臨時職員等で対応可能である						
	コスト削減取組(1~1)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている <input type="checkbox"/> 特に行っていない 内容: 管理経費の見直しとコスト削減に努めている。						
平成15~16年度に実施した改善内容		課題 委託経費の削減 光熱水費の軽減	改善内容 委託内容の見直しによるコスト削減 臨時休館を設け削減を図る。	総合評価	D	D		

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	機械設備の老朽化				
市民, 関係者からの意見要望等	市民, 関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	施設の老朽化が進むにつれて, 各設備に不具合が生じてきている。 施設の補修計画を立て, 年次計画で改修が必要。 入館者増を図り, 収支の改善を図ることにより市からの負担軽減をする。 民間活力の導入の検討。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
統合/終期設定					
廃止/休止					
2次評価委員会コメント	民間活力の導入の検討を行ってください。				

(一般事業)	事業コード	3250110
平成15年度	事業名	富田碎花顕彰事業管理委託

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 美術博物館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	三好 雄介		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援	記入者氏名	三好 雄介		
体系	細			電話番号	0707-38-5432 内線		
事業期間	昭和62年～		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等				委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法				委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	富田碎花旧居の維持管理及び資料保存・整理・展示を行う。						
事業の現状 目的実現のための 手段及び実施内容	詩人富田碎花は、歌集・詩集・訳詩集・評論集などを世に送り、大正・昭和の詩壇に大きな足跡を残した。戦後も詩集のために全国各地を旅し長編詩「兵庫讃歌」を公にするとともに、校歌や市町歌を作詞、その多彩な文化的業績から「兵庫文化の父」とも呼ばれた。昭和60年4月、ご遺族の意思で残された研究資料のすべてを芦屋市に寄贈された。その後旧居を譲り受け、できるだけ元の姿をとどめた保存整備と資料の保存・整理・展示を行う。						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	開館日数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	98日	99日	99日	98日	99日
	結果指標 (2)	指標名	補修件数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	0件	0件	0件	0件	0件

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	詩人富田碎花に関心を持つ人々				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	1,056人	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	旧居を訪れる方々が、建物のたたずまいや資料展示から情熱の詩人富田碎花の心を感じ取っていただくこと。				
大 き な 目 的	芦屋の豊かな風土は、心のふるさとして多彩な文化を育み、数々の名作を生み出した。兵庫文化の父「富田碎花」の偉業を顕彰し後世へ伝える必要がある。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	富田碎花旧居見学者数			
		考え方・式	富田碎花の業績をしのび訪れる見学者の数。			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	指標値	不明	788人	1,056人	1,000人	1,000人
	最終成果 指 標	指標名	富田碎花旧居見学者の満足度			
		考え方・式	より良い施設環境を維持することによる見学者の満足度(%)。未調査のため実績不明。			
年 度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
指標値	不明	不明	不明	不明	不明	
芦屋市の特色など補足する事項						

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	74	住民1人当り(円)	32	平成16.4.1 住民基本台帳
内 訳 (千円)	事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)
	人件費	4.2%		620	120	-
	事業費	95.8%	4,539	4,627	2,755	2,050
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
合 計	100.0%	4,539	5,247	2,875	2,050	
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他					
一 般 財 源	100.0%	4,539	5,247	2,875	2,050	
活 動 配 分 (人)	職 員	100.0%		0.05	0.01	-
	嘱託・臨時等					-
	合 計	100.0%	0.00	0.05	0.01	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	0		
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 管理人の処遇				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	-1	-2		
	受益者(1~1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名: _____ <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体はない ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト: _____ <input type="checkbox"/> 把握していない <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由: _____	-3	-2		
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input checked="" type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない				
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input checked="" type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容: 事業全般にわたり精査しコスト削減を図っている。(管理人経費・資料整理業務) <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	地元自治会等に管理を委ねることを検討。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア	ボランティアの活用				
	地元自治会による運営				
平成17~19年度の方向性	管理について地元自治会等との協議が必要。	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
2次評価委員会コメント	縮小				
	統合/終期設定 廃止/休止				

(一般事業)	事業コード	3250230
平成15年度	事業名	美術博物館展示等委託事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 美術博物館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	三好 雄介		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			記入者氏名	三好 雄介		
体系	細					電話番号	0797-38-5432	内線	
事業期間	平成3年3月～		経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則					委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金								
委託	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託		名称	(財)芦屋市文化振興財団		<input type="checkbox"/> 民間委託	委託内容		
事業の概要	美術及び歴史に関する展示事業等を開催する。								
事業の現状	目的実現のための手段及び実施内容 展覧会等の開催 ・特別展 美術部門特別展, 歴史部門特別展 2回 ・小企画展 3回 歴史企画 6回 常設展 6回 ・公募展 3回 ・アートフリーマーケット (2日間) 2回								
アウトプット指	結果指標 (1)	指標名	特別展開催回数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	4回	2回	2回	2回	2回		
	結果指標 (2)	指標名	特別展来館者数						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	35,432人	7,079人	11,695人	20,000人	20,000人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対象	美術及び歴史(美術博物館)に関心を持つ人々。							
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)		11,695人	比率(b÷a)%			
	意図 (対象を主語にして)	より良い展覧会事業等を開催することにより, 来館者に満足を得てもらい, 来館者の増加及び教養の向上を図る。							
大きな目的	より良い展覧会事業等を開催することにより, 来館者に安らぎと満足感を得てもらう。来館者の増加及び教養の向上を図り, 文化の振興及び発展に寄与する。								
アウトカム指	中間成果指標	指標名	美術博物館来館者数						
		考え方・式	より良い展覧会を開催することによる来館者の増加。						
		年度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	指標値	48,737人	20,831人	24,080人	35,000人	35,000人			
	最終成果指標	指標名	美術博物館来館者の満足度						
		考え方・式	より良い展覧会等を開催することによる来館者の満足度の割合(%)。未調査のため実績不明。						
年度		平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)			
指標値	不明	不明	不明	不明	不明				
芦屋市の特色など補足する事項									

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	827	住民1人当り(円)	358	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 (千円)	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
	人件費	19.2%		6,081	6,141	-
	事業費	80.8%	53,764	29,601	25,916	23,863
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
合計	100.0%	53,764	35,682	32,057	23,863	
財源 (千円)	国・県					
	市債等					
	その他	28.0%	27,888	5,146	8,983	13,400
一般財源	72.0%	25,876	29,036	23,074	10,463	
活動配分 (人)	職員	100.0%		0.90	0.92	-
	嘱託・臨時等					-
	合計	100.0%	0.00	0.90	0.92	0.00

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い	0	0
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である		
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している		
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している		
	優先性、緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い	-1	1
	受益者(1~1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している		
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している		
	-成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり		
効 率 性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある	-1	-1
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である		
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている		
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている		
平成15~16年度に実施した改善内容	課題 来館者の増加を図る。	改善内容 PRを積極的に行うなど入館者増を図る。3,200人強の増加につながった。	総合評価 D D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題			
市民、関係者からの意見要望等	市民、関係者の名称	芦屋市立美術博物館を守る会、美術評論家連盟、大阪歴史学会等	
	意見、要望内容	芦屋市立美術博物館の存続を求める陳情書(コレクションの確保、具体の継続)	
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	(3)	対応内容	
		実施期限	平成 年 月
		・展示内容の見直し。 ・ホームページ等を活用した積極的なPR活動。 ・館員の意識改革を図り、親しまれる美術博物館を目指す。 ・来館者へのアンケート分析。	今後の方向性
平成17~19年度の方向性	策定した「基本方針」に基づき、展覧会事業の見直しを行う。 限られた予算の中で、より魅力的な展覧会事業が実施できるよう知恵を絞って行く。 民間活力の導入が望ましいが、寄附・寄託の取り扱い等館蔵品の扱いが難しい。	拡大・充実 現状維持 方法改善 民間委託等 縮小 統合/終期設定 廃止/休止	
2次評価委員会コメント	民間活力の導入の検討を行ってください。		

(一般事業)	事業コード	3250250
平成15年度	事業名	教育普及活動委託事業

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり			所管課	教育委員会社会教育部 美術博物館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現			所管課長氏名	三好 雄介		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援			記入者氏名	三好 雄介		
体系	細					電話番号	0797-38-5432	内線	
事業期間			経常臨時	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	<input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則					委託	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金					委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容		
事業の概要	館における学習活動の推進及び幼稚園・小学校等と連携し、教育普及活動を行っている。								
事業の現状	館の資料や特色を生かして「文化教室」「体験教室」「美術鑑賞教室」を行う。 16年度からは、ミュージアムカレッジと称して1年間の講座を開催。 館の展示事業にあわせてコンサートや講演会などを開催する。								
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	事業実施数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	8本	7本	10本	10本	10本		
	結果指標 (2)	指標名	参加者数						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
		指標値	4,458人	3,985人	4,923人	4,500人	4,500人		

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	成人から幼児まで全市民対象。							
	対象カバー率	対象数(a)		受益数(b)	4,923人	比率(b÷a)%			
	意 図 (対象を主語にして)	美術や歴史に親しみ、理解するための学習活動として実施しているもので、生涯学習活動の場として美術博物館に親しむ素地を培っておく。							
大きな目的	市民に芸術・文化に親しむ機会の提供であり、学校園等との連携は美術に親しむ素地を培っており、心豊かな社会の実現に寄与している。								
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	参加者の満足度						
		考え方・式	教育普及事業に参加することにより得る満足度(%)。未調査のため実績不明。						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
	最終成果 指 標	指標名	美術博物館来館者数						
		考え方・式	美術・歴史に興味を持ち美術博物館に来られる方の数。						
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)		
指標値	48,737人	20,831人	24,080人	35,000人	35,000人				

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	86	住民1人当り(円)	37	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費 内 訳 (千円)	人件費	9.9%		338	328	-
	事業費	90.1%	3,818	4,189	2,998	3,285
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
	合計	100.0%	3,818	4,527	3,326	3,285
財 源 (千円)	国 県					
	市 債 等					
	そ の 他	3.6%	0	91	121	0
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	96.4%	3,818	4,436	3,205	3,285
	職 員	100.0%		0.05	0.05	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	0.05	0.05	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価		
妥当性 8点	目的妥当性(2~ 2) <input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	4	-1		
	市関与(2~ 2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である				
	市民ニーズ(2~ 1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している				
	社会環境変化(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容				
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる				
有効性 4点	対象カバー率(1~ 1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	1	-2		
	受益者(1~ 1) <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定				
	成果の実績(2~ 1) <input type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える <input checked="" type="checkbox"/> 実績値または目標値が未記入 <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える <input type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていないと言える				
	-成果向上余地(1~ 1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効 率 性 3点	単位コスト(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある 団体名 <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している 単位コスト ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが高い 高い,または低い場合の理由	0	-2		
	受益者負担(0~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし,過少 (<input type="checkbox"/> 徴収不能・見直し不能 <input checked="" type="checkbox"/> 徴収可能) <input type="checkbox"/> 負担を求めるべき事業ではない				
	手段(1~ 3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)で対応可能である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等で対応可能である				
	コスト削減取組(1~ 1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取り組みを行っている ↳ 内容 事業内容を精査しコスト削減を行っている。 <input type="checkbox"/> 特に行っていない				
平成15~16年度に実施した改善内容	課題	改善内容	総合評価	D	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	幼稚園・小学校との連携は進んでおり,今後は中・高・大との連携や他の社会教育施設・機関・団体との連携が課題。活動に携わる多彩な人材の確保。				
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称				
課題・要望等への対応	(1)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(2)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成	年	月
その他考えられる改善のアイデア					
平成17~19年度の方向性	出前講座の開催 見学会や体験学習の充実 学習支援ボランティアの育成と導入	今後の方向性	1次評価	2次評価	
		拡大・充実			
		現状維持			
		方法改善			
		民間委託等			
		縮小			
		統合/終期設定			
		廃止/休止			
2次評価委員会コメント	民間活力の導入を検討して下さい。				

(一般事業)	事業コード	3250270
平成15年度	事業名	公募展

部	長	次	長	課	長

1 事業概要(ドウ)

第3次芦屋市	まちづくりの目標	3	人と文化を育てるまちづくり	所管課	教育委員会社会教育部 美術博物館		
総合計画	中	2	生涯学習社会の実現	所管課長氏名	三好 雄介		
政策施策	小	5	芸術・文化活動への支援	記入者氏名	三好 雄介		
体系	細			電話番号	0797-38-5432 内線		
事業期間	市展(昭和23年~)		経常臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	実施主体	教育委員会		
根拠法令・要綱等	芦屋市立美術博物館条例, 同施行規則			委託	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金						
委託先	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称 (財)芦屋市文化振興財団 <input type="checkbox"/> 民間委託 委託内容						
事業の概要	芦屋市展(昭和23年~), 童美展(昭和25年~), わたしの芦屋展(平成12年~)の公募展を開催する。						
事業の現状	芦屋市展・・・プロ・アマを問わず西日本一円から各部門に応募がある。(平成15年度入館者2,492人) 童美展・・・小学校就学前の子供の絵の展覧会で, 近畿一円から応募がある。(平成15年度入館者3,886人) わたしの芦屋展・・・市民参加型の公募展で隔年に実施。(平成15年度入館者1,302人)						
アウトプット 指 標	結果指標 (1)	指標名	公募展開催回数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	2回	3回	3回	2回	3回
	結果指標 (2)	指標名	公募展応募点数				
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)	平成17年度(目標)
		指標値	8,250点	8,117点	8,098点	8,000点	10,000点

2 事業成果(アウトカム)

事業の目的 対象・意図	対 象	美術愛好家及び幼児				
	対象カバー率	対象数(a)	受益数(b)	8,098点	比率(b÷a)%	
	意 図 (対象を主語にして)	プロからアマチュアまで絵画等美術を通じて自己表現をしていただく機会であり, 生涯学習機会の提供を図る。				
大きな目的	市展・童美展とも歴史は長く, その果たしてきた役割は非常に大きい。美術を通じ, 市民の芸術・文化活動の機会をより多く提供する。					
アウトカム 指 標	中間成果 指 標	指標名	公募展応募点数			
		考え方・式	公募展に応募する点数。			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)
	最終成果 指 標	指標名	出品者の満足度			
		考え方・式	展覧会に出品することによる満足度(%)。未調査のため実績不明。			
		年 度	平成13年度(実績)	平成14年度(実績)	平成15年度(実績)	平成16年度(目標)

3 事業費・活動配分(コスト)

		1世帯当り(円)	106	住民1人当り(円)	46	平成16.4.1 住民基本台帳
事業費	構成%	平成13年度(決算)	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(予算)	
内 訳 (千円)	人件費	13.8%		338	568	-
	事業費	86.2%	3,830	2,132	3,558	2,824
	他部門経費	0.0%			0	-
	減価償却費	0.0%			0	-
	合計	100.0%	3,830	2,470	4,126	2,824
財 源 (千円)	国 庫					
	市 債 等					
	そ の 他	35.0%	0	0	1,445	1,150
活 動 配 分 (人)	一 般 財 源	65.0%	3,830	2,470	2,681	1,674
	職 員	100.0%		0.05	0.07	-
	嘱託・臨時等					-
合計	100.0%	0.00	0.05	0.07	0.00	

4 評価(チェック)

評価視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価	
妥当性 8点	目的妥当性(2~2) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い	2	1	
	市関与(2~2) <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法律等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 市民の基本的な生活の維持に必要である			
	市民ニーズ(2~1) <input type="checkbox"/> 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ↳ <input type="checkbox"/> ニーズが高い <input type="checkbox"/> 数字で把握している			
	社会環境変化(1~1) <input type="checkbox"/> 事業に関わる社会環境の変化に適応している 内容: 歴史が長く選ばれる作品はその時代・時代を反映したものである。			
	優先性,緊急性(1) <input type="checkbox"/> 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
有効性 4点	対象カバー率(1~1) <input type="checkbox"/> 対象カバー率は高い <input type="checkbox"/> 他団体と同程度 <input type="checkbox"/> 他団体よりカバー率が低い	4	3	
	受益者(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 事業意図と受益者は整合している <input type="checkbox"/> 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
	成果の実績(2~1) <input checked="" type="checkbox"/> 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 実績値から成果があがっていると言える			
成果向上余地(1~1) 成果があがっていない場合 <input type="checkbox"/> 成果向上策あり <input type="checkbox"/> 特になし				
効率性 3点	単位コスト(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> 比較できる団体がある ↳ <input type="checkbox"/> 他団体の数字を把握している ↳ <input type="checkbox"/> 他団体よりコストが低い	-1	-1	
	受益者負担(0~1) <input checked="" type="checkbox"/> 負担を求めることができる事業である ↳ <input checked="" type="checkbox"/> 現在,適正な負担あり			
	手段(1~3) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について <input type="checkbox"/> 正規職員による執行が義務づけられている <input type="checkbox"/> 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である <input type="checkbox"/> 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である			
	コスト削減取組(1~1) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組みを行っている 内容: 事業内容を精査。			
平成15~16年度に実施した改善内容	課題: 構成に偏りがあるとされている。 改善内容: 新たに具象部門を設ける。審査員の偏りを改善する。	総合評価	B	D

5 今後の対応(アクション)

現在認識している課題	応募作品や審査員の構成に偏りがあり,今後も改善が必要である。 今後も運営基本方針に沿った改善を図り市民の参加しやすい環境づくり。			
市民,関係者からの意見要望等	市民,関係者の名称 意見,要望内容			
課題・要望等への対応	(1)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(2)	対応内容	実施期限	平成 年 月
	(3)	対応内容	実施期限	平成 年 月
その他考えられる改善のアイデア	童美展への民間資本導入			
平成17~19年度の方向性	市民も参加しやすい環境づくり。	今後の方向性	1次評価	2次評価
		拡大・充実		
		現状維持		
		方法改善		
		民間委託等		
		縮小		
		統合/終期設定		
		廃止/休止		
2次評価委員会コメント	美術博物館の民間活力導入を検討する中で検討してください。			

芦屋市

〒659 - 8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 総務部行政改革推進室

電話（直通）0797 - 38 - 2005

F A X 0797 - 31 - 4841

E-mail info@city.ashiya.hyogo.jp